

Gakugei



2022





Index

- 02 学長からのメッセージ
- 04 G-BRIDGE
- 06 教職の魅力ってなんだろう？
- 08 教育支援課程 学生座談会
- 10 せんせいのーと
- 12 さあ東京学芸大学で学ぼう
学校教育系って何？
教育支援系って何？
どんな免許や資格がとれるの？
どんなことを学ぶの？
- 15 学校教育系 専攻・選修の特色
- 16 学校教育系についての説明
- 47 教育支援系 コースの特色
- 48 教育支援系についての説明
- 64 卒業後の進路
- 66 もっと学びたい人は
- 68 取得可能な免許・資格
- 70 国際交流と留学
- 74 キャリア（教職・教育支援職）支援
- 80 東京学芸大学で学んだこと
- 82 学生生活支援
- 84 学芸大の自主ゼミ
- 85 サークル図鑑
- 88 学芸いいとこ MAP
- 90 学芸大の学食
- 91 東京学芸大学概要
- 95 大学までのアクセス
- 96 学生募集要項等の請求方法・授業料
- 97 ノート型パソコンの必携について・
問い合わせ



SIAA マークは ISO22196 法
により評価された結果に基づ
き、抗菌製品技術協議会ガイド
ラインで品質管理・情報公開さ
れた製品に表示されています。



学長からのメッセージ

東京学芸大学長 國分 充

有為の教育者を 養成する学芸大学

高校生のみなさん、本学、東京学芸大学に関心をもってくれてどうもありがとうございます。学芸大学は、教育者を養成する単科大学です。将来の職業と結びついた大学教育を行うという点で、他の一般大学とちょっと違っていています。教育者と言って、すぐに思い浮かぶのは、学校の先生でしょう。学芸大学では、教師の他に、教育支援職も教育者のうちに含んで考えています。教育支援職とは、まだ残念ながら広く知られるには至っていない言葉ですが、学校の外部にあって、学校現場と協働して、子ども・教師とその活動を支えていくような仕事を言います。よく知られているものには、スクー

ル・カウンセラー、スクール・ソーシャルワーカー、博物館等の学芸員などがあります。学芸大学では、学校の先生を養成する課程と並んで、そうした教育支援職を養成する課程を、我が国で初めて2015年につくりました。そうした教育支援職も含めて、本学が創設時から掲げている使命＝“有為の教育者の養成”を進めています。

教員養成系大学で最大規模、 そしてフル装備の学芸大学

学芸大学のような単科の教員養成系大学は、全国に11あります。その中で、学芸大学は、1学年の学生定員1010名と、我が国で最大規模を誇ります。実習を行う附属学校も、幼稚園から

高校、国際中等学校、特別支援学校と11あり、これも最大規模です。学芸大学は、淵源をたどると、戦前の師範学校に至ります。戦後、様々な教育改革が行われた時に、東京にあった4つの師範学校と2つの女子部が一緒になって学芸大学となりました。附属学校の多さは、実習機関ですので本学の学生規模に合わせてということがもちろんあるのですが、戦前の師範学校がそれぞれにもっていた附属学校が本学の附属学校となったということも関係しています。また、学芸大学には、学部卒業後の学びのための大学院も、教職大学院と修士課程があり、その上の博士課程も、近隣の3大学（埼玉大学、千葉大学、横浜国立大学）と連合大学院という形もっています。さらに、特別支援学校の教員免許を取得できる特別支援教育特別専攻科もあります。こうしたフル装備の教員養成系単科大学は本学以外ごくわずかです。

少人数教育の学芸大学

本学には、教育学や教育心理学、教科の指導法などを専門とする教員はもちろん、人文学、社会科学、自然科学、芸術、スポーツなど多様な専門分野の教員を多数擁しています。そして、一人の教員が担当する学生数は、1学年当たり5人を越えないようにしています。学生と教員の距離が非常に近く、面倒見のよい教員が多いということは、本学の誇るべき特徴です。また、高等教育には、少人数の教育でないと伝わらない内容が必ず含まれており、それが専門性なのですが、本学は、その点で非常に有利な状態となっています。

コロナ禍と学芸大学— 確かな応援団のいる学芸大学

昨年来のコロナ禍は、大学教育にも大きな影響を与えています。本学は、感染防止対策を徹

底し、昨年の秋学期からは、対面と遠隔の授業割合を5:5にし、この4月からは、7:3にして行うことにしています。去年は、アルバイトができないなどで経済的に困窮する学生が出てきました。そこで、そうした学生を支援するための緊急支援金をホームページで募ったところ、多くの方々からご寄付を頂くことができ、2ヶ月も経たずに目標額である1,000万円に達することができました。おかげで、困っている学生100人に10万円ずつを配ることができました。何かあった時には本学を支援してくれる応援団がちゃんといるということです。まことにありがたく、これも本学の強みのひとつです。

恵まれた学習環境にある 学芸大学

大学のある小金井キャンパスは、新宿から最寄り駅まで30分足らずという立地でありながら、日比谷公園の二倍ほどの広さを持ち、豊かな緑に囲まれています。

キャンパス中央にある食堂を兼ねたコミュニケーションホールは学生の交流の場として大いに活用されています。また、正門正面には2,500平米のウッドデッキ（けやき広場）があり、学生のみならず地域の方々の憩いの場にもなっています。

附属図書館は学生の主体的な学修をサポートしています。共同学習や活発な討論ができるスペース「ラーニングコモンズ」の確保、学外者や地域との交流を目的としたカフェの設置など、従来の図書館とは一味違う空間を生み出しています。なお、ラーニングコモンズのさらなる充実のため、現在も増築工事を行っています。

このキャンパスで、みなさんと出会い、みなさんとともに活動しながら、我が国の教育を先導する拠点大学となり、広く海外にも成果を発信していく大学となっていきたいと思います。教職員一同、みなさんをお待ちしています。



くるくるさーくる 学芸大にはたくさんの部活・サークルがあります。その活動の様子をインタビュー形式で紹介します。



遊びは最高の学び！子どもに関わる「ヒト」「モノ・コト」「コミュニケーション」を社会に発信しています。

WEB OPEN CAMPUS オープンキャンパスでご紹介している学科紹介のコンテンツをウェブ上でもご覧いただけます。

とことん、教育！
とことん、学芸！

G - BRIDGE

未来の教育を創る「まなびと」たち

みちしるべ 学芸大の現役学生が卒業生の先輩に聞きたいことを聞いてみるインタビューシリーズです。今後、交流イベントなども企画していきます！(株)ノヴィータと共同開催。



きみは何を学ぶ科

「勉強」して遊ぼう！ コロナ禍でも小中高生の学びを止めないために、学芸大の有志が楽しく学べて役立つ情報を集めて紹介します。

きみは何を学ぶ科 学芸大ではどんなことを学べるのか？毎回1つの学科にスポットを当て、たっぷり紹介します。

学芸ライフスタイル Caudex 学芸大生
 はどんな生活をしているの？大学での学びや日々の
 生活の様子まで、生の声をお届けします。



コンソーシアム型研究開発プロジェクト
 経済的に困難な家庭状況にある児童・生徒を支援す
 ための様々な方策を開発、提案しています。



「教師」の魅力発信プロジェクト 「教師
 の魅力」を社会に伝えるために、クラウドファンディ
 ングでプロモーション映像を作成しました。



G E
 をつなぐ！

とことん、「教育」に取り組んでみたいと考えている皆さんに、
 まずは、とことん、「学芸」のことを知ってほしい！
 そして、とことん、「学芸」のことを好きになってほしい！
 そこで、とことん、「学芸の魅力」をお伝えするために、
GAKUGEI BRIDGE のはじまり、はじまり！



とことん、「学芸」を知りたい方は
 SNS への登録も
 よろしくをお願いします！

せんせいのと
SENSEI NOTE

せんせいのと 学芸大の教員ってどんな
 人？専門分野や経歴、授業などについて、インタ
 ビュー形式で紹介します。



EXPLAYGROUND 新しい公教育のモデル構
 築という目標をたてながら、教員も学生も児童生徒も
 地域の人も入り混じって、「好き」を起点に、「好き」を
 愉しむ活動をしています。




EXPLAYGROUND





2030年の社会に対応する
 次世代対応型教育をこどもたちへ


次世代教育研究推進機構 NGE 2030 年
 の世界を生きる子どもたちのコンピテンシーの育成と
 評価に関する研究活動を行っています。





 小学校 全科 1～5年
勉強が苦手な子が少しずつできるようになり、「先生のおかげで算数できるようになった。」1年間担任でありがとう。」といった言葉。先生って本当に子供から学ぶことが多く楽しい。


 小学校 数学教育 6～10年
クラスみんなで考えをつないで新しい発見をしていく。教科を問わず楽しい時間です。


 小学校 全科 1～5年
修了式の日、子どもたちが教室の黒板にメッセージを書いてくれた。日々、子どもと全力で対峙する分、様々なことを学べる職業だと思う。自分が考えた授業を楽しくに受け、子どもがたくさん考えてくれた。


 小学校 理科 1～5年
教員は子どもをやる気にさせる仕事だと思っています。子どもたちが何度も何度も挑戦している、それを一番近くで応援することができるのが教員の魅力だと思います。


 小学校 全科 6～10年
「今まで運動は苦手だったけど、先生の体育で、こんなに運動が楽しいんだと思いました。体育が大好きになりました！」と言ってもらった。


 小学校 理科、書写、体育、外国語 6～10年
教師として現場で働くことは、辛いことといえは嘘になるけれど幸せです。子どもたちのために少しかけて役に立つこと心がけています。次世代を担う子どもたちと一緒に成長していきましょう。


 小学校 全科 1～5年
保護者の方から、「先生のお陰で娘は勉強が好きになりました。ありがとうございます。」というメッセージを頂いて嬉しかったです。


 小学校 国語 6～10年
学校は人生の通過点。社会に出るための準備期間。そこに携わるという責任感は大変。でも何より大人になっても本気で感動できるのもこの職の魅力だと思う。


 小学校 全科 10年以上
初めての「できた！」の感動を、一番近くで観られる、そして一緒に喜べる。

 小学校 図画工作 10年以上
子供達と共に学び合うだけでなく、同僚と共に題材や単元を練り合う日々は刺激的で新鮮。


 小学校 全科 1～5年
子どもの小さな成長を感じることが喜びです。


 小学校 全科 1～5年
同じ日は二度とない。毎日変化のある楽しい仕事です。

 小学校 全科 1～5年
クラス替えがない進級だけ、私は別の学年を受け持つことになりました。けれど、修了式の日には子供たちから「ありがとうございます」メッセージ集をもらい、嬉しい思いになりました。


 小学校 美術 6～10年
美術は心を耕す教科だ!!と生徒に気付かされました。女子教員ではないからこそその子らしさが出せる、無心になれるそんな素敵な教科が美術だと今、働いて感じています。現場には毎年発見があって楽しいですよ!!


 小学校 全科 10年以上
もちろん、日々忙しく辛いことがありますが、子供達が成長していく姿を見た時や子供達が楽しそうに話しかけてくる時、保護者の方に「先生で良かったです。」と言われた時にはなんて素晴らしい職業なんだと感じます。

 小学校 全科 10年以上
1日たりとも同じ日がない刺激のある日々を過ごせます。


 小学校 全科 1～5年
毎日、何かしら起こるので、飽きません。なにより子どもってかわいい。


 小学校 国語 6～10年
「嬉し泣き」が沢山できる職業!人と関わりながら成長を共にし、自分も成長できる。職業として終わりや完璧がない楽しさがあります。

 小学校 家庭科 10年以上
ずっと若くいられます。


 小学校 小学校英語 6～10年
教科を教えるだけでなく、クラブを教えることができ、自分の経験を生かすことができる。自分がやってきた新体操、ダンスを教えるという事は会社勤めではできない経験。夏休みが1ヵ月ある。


 中学校 社会 6～10年
先生のクラスになって良かったと言ってもらえるかけがえのない生徒に出会えた。

 中学校 数学 6～10年
①子どもが変わる瞬間、成長する瞬間を間近で見られること。


 中学校 理科 1～5年
生徒たちはいつも真っ直ぐな眼差しを向けてくれる。全力で向き合えば、全力で応えてくれる。


 中学校 音楽 6～10年
合唱コンクールにむけて、学校全体が熱を帯びていく様子に感動します。生徒の成長はもちろんです。先生方が自分のクラスを応援するために試行錯誤したり、生徒が担任の先生に感謝したりする姿に心打たれます。

 中学校 社会 1～5年
大変なこともたくさんあるけれど、それが吹っ飛ばすくらいうれしいことがたくさんある職業です。


 中学校 社会 1～5年
「これまで社会が一番苦手だったけど、先生の授業を受けて、少し楽しいと思えるようになった!」と言われた。


 中学校 家庭科 10年以上
卒業式を迎えるたびに嬉しいような悲しいような複雑な気持ちになります。子どもたちと一緒に濃密な時間を過ごし、立ったり笑ったりした日々を思い出だけで泣けてきます。

 中学校 数学 10年以上
分からなかったことが分かるようになる、できなかったことができるようになることを支え、励まし、伸ばす仕事です。子供が少しずつ成長し、大人になっていく姿を実感できるときが、やりがいを感じる時です。


 中学校 音楽 6～10年
子どもや保護者の方、同僚の先生、地域の方などいろいろな人や出来事から一生懸命、成長し続けることができ、そしてそれは仕事というよりも生きる上での喜びであると思います。


 中学校 国語 10年以上
日々色々な驚きや発見があること、そして生徒たちのそばで共に学び、成長できること。もちろん大変なこともあるけれど、何かを達成した時の生徒の笑顔や、目標に向かう姿をそばで見られることも教職の醍醐味です。


 中学校 美術 10年以上
子供から大人への成長過程に毎日関わることができること。その日々の中に感動があり、毎日が感動。


 中学校 社会 1～5年
全校生徒 30人の小さな学校で大変なことだらけですが、子どもたちが黒板いっぱいメッセージを書いて私の誕生日を祝ってくれました。小規模校も捨てたもんじゃない!!


 中学校 家庭科 1～5年
大変なこともあるけれど、理想を言い続けられる、求められる数少ない仕事だと思う


 中学校 社会 10年以上
信じられないくらい成長する生徒にたくさん出会える。人間の可能性を信じていることができる。

 中学校 英語 10年以上
子どもたちの成長を支え、見守る仕事はとてやりがいがあります。子どもたちのために一緒にがんばりましょう。

 中等教育学校 数学 1～5年
「先生の授業は、考えることが多くて、よくわからなくなるけど、面白い!」と言われた。

 補習授業科 全科 1～5年
担任するクラスは国際色豊かで思いもよらない意見や感想がたくさん出ます。大人でも気が付けない視点を得ることは多様性と可能性いっぱいの子どもの中でしか味わえない最高の楽しみです!

 特別支援学校 家庭科 6～10年
毎日の変化は少ないけど、毎日コツコツ積み重ねて、できるようになった時の感動は凄!!

 特別支援学校 美術 10年以上
卒業生に会った時、学校での学びが自立や社会参加に役立っていると実感した時、彼や彼女の人生の大事な時期や岐路に携われた事を誇りに思います。

教職の

教職について や楽しかった 現役の先生に

魅力って なんだろう？ うれしかったこと エピソードなどを 聞いてみました。

- | | | |
|--|--|---|
|  <p>高校
理科(生物)
1～5年</p> <p>担任としての卒業式は何にも変えられない思い出深い1日になります。それまでの大変さや辛さが全部、嘘のように消えてしまいます(笑)寂しいけれど、教員として1番嬉しく幸せな日だと思います。</p> |  <p>高校
数学
1～5年</p> <p>卒業式の日まで最後ひたすら冷たい態度をしてきたのに、卒業式で3年間1番指導した生徒から感謝の手紙をもらった。</p> |  <p>高校
理科
1～5年</p> <p>多くの人と出会い、笑ったり、泣いたり、色んな話をしたりすることができて楽しい。</p> |
|  <p>高校
理科(生物)
1～5年</p> <p>生物は暗記科目だと思っていたけど先生の授業でそうじゃないことがわかりました！と言ってもらえた！</p> |  <p>高校
数学
10年以上</p> <p>子どもたちの成長に関わることで、自らも成長できます。</p> |  <p>高校
地歴公民(世界史)
10年以上</p> <p>生徒から世界史を学んで良かった。と言われたり、担任した生徒たちからこのクラスで良かったと言われたりした時が嬉しい。</p> |
|  <p>高校
保健体育
6～10年</p> <p>教え子が、大学卒業後、理学療法士になり、「部活のサポートをしたい」と、母校でもない学校の、自分がやっていた部活でもない子達を診てくれた。そうやって繋がるのかと思ったら、嬉しくなった！</p> |  <p>高校
保健体育
10年以上</p> <p>6年間の民間企業を経て、教職の道へ転職し12年が経ちました。教職に大変な事はありませんが、生徒の反応や成長など日々の生活が新鮮で楽しく、民間で働いていた頃と比べると格別充実しています。</p> |  <p>高校
数学・情報
6～10年</p> <p>私の授業や宿題をちゃんとこなしていれば、力がつく生徒自身が感じて卒業してくれたことがとても嬉しかった。また、進路指導や特別活動を通して、「やればできる」を生徒自身に教えられることが嬉しい。</p> |
|  <p>高校
数学
1～5年</p> <p>今年卒業する子たちが、卒業式の時に、「数学は苦手だったけど先生の授業は好きでした」「一年生の時から先生の授業を受けたかったです」と言いに来てくれて、頑張っておかったと思います。</p> |  <p>高校
数学
10年以上</p> <p>先生みたいな教員になりたいと学芸大を第一志望で受験してくれた。</p> |  <p>高校
数学
1～5年</p> <p>自分の言動や行動が、たくさんの人に喜ばれたとき、こんなにやりがいのある仕事はないと思う。毎年幸せな気持ちになる。</p> |
|  <p>高校
数学
6～10年</p> <p>一生青春でいられます。子どもたちと共に好きなことをして成長できる素晴らしい仕事です。</p> |  <p>高校
日本史
1～5年</p> <p>「日本史って“おもしろい”」その言葉が聞いただけで教員をやっている本当に良かったなと思いました。</p> | |
|  <p>高校
美術
1～5年</p> <p>生徒がたくさん未来を見せてくれる</p> |  <p>高校
数学
6～10年</p> <p>「人間を作る」正解がなくて、一生挑戦できる仕事</p> | |
|  <p>高校
英語
10年以上</p> <p>中高一貫校で勤務している時、中1の始めのHRで話したことを今でも覚えているという手紙を高3の卒業式に書いてくれた生徒がいた。成長ぶりと昔のことを覚えてくれたことに身の引き締まる思いがして涙が出た。</p> |  <p>高校
家庭科
10年以上</p> <p>食物の分野を学んで、日々の食事がとても大切だと気づいてくれたこと！</p> | |
|  <p>高校
国語
1～5年</p> <p>教師として働き始めてまだ数日だけど、宝物として取っておきたくなるような出来事に溢れる日々！</p> |  <p>高校
地理歴史(日本史)
10年以上</p> <p>教育は共育です。生徒とともに学び、成長し、未来への扉を開いていく仕事。教師となり24年目の春。毎年魅力が増しているような気がします。</p> | |
|  <p>高校
英語
10年以上</p> <p>教育は非常にクリエイティブな仕事です。人を創る、未来を創る、同時に新しい自分を創ることができます。</p> |  <p>高校
英語
10年以上</p> <p>教師の仕事は未来を創る仕事、天然資源に恵まれない日本が世界と対等に付き合うためには結局は人材作りしかない！それに関われるのが教師！</p> | |
|  <p>高校
英語
10年以上</p> <p>教科では、考えなかったような、はつとする質問を受けて刺激されます。更に先生の姿を見て英語教師になったと言われるのも嬉しい。また部活やクラスの生徒が成長して、その近況を知らせに来てくれるのも嬉しいです。</p> |  <p>高校
英語
1～5年</p> <p>生徒に「先生のおかげで英語ができるようになった」と言われたこと。</p> | |
|  <p>高校
英語
10年以上</p> <p>卒業生が、「先生のあの時の言葉があったから頑張れた」と言ってくれたこと。それはやって良かったと思えた瞬間でした。</p> |  <p>高校
英語
1～5年</p> <p>子どもたちを支えているようで、子どもたちの澄んだ心や笑顔、彼らの成長のそばに居られることによって教えられることがたくさんあります。</p> | |
|  <p>高校
英語
10年以上</p> <p>在学中は扱いに苦労するような生徒でも、卒業して成長した姿を見ると、人間の一生に携わっている仕事だと思ひ、やりがいを感じる。</p> |  <p>高校
英語
10年以上</p> <p>10年やってもまだまだゴールが見えず、もっともっと成長したい、できるはず！と思わせてくれる仕事。</p> |  <p>高校
数学
6～10年</p> <p>自分が生徒の時に味わった感動や思い出以上の出来事がたくさんあり、やりがいのある仕事です。素な仕事ではないですが、人の人生を大きく変えることができる可能性を持った素晴らしい仕事だと思います！</p> |
|  <p>高校
英語
6～10年</p> <p>近い将来の日本を背負っていく中高生の成長を近くで支援できること。おかげさ言えば、教育に従事することは究極の社会貢献ではないかと感じる。</p> |  <p>大学
幼児造形
6～10年</p> <p>人の夢を応援できる仕事が教職。具体的にサポートできることは嬉しい。</p> |  <p>大学
外国語
1～5年</p> <p>多くの人々の人生や価値観に影響を与えられるという点で、とても魅力的で責任のある仕事だと思う。私は、教科そのものの知識よりもその学習を通じた思考力の育成をより意識しています。</p> |
|  <p>幼稚園
幼稚園
10年以上</p> <p>「保護者に依存しなければ生きていけなかった子供達が、だんだんと自立していく過程に関わって、幸せだと思う。</p> |  <p>特別支援学校
小学校全科
10年以上</p> <p>毎日そばで子どもの成長を見られて、感動できる仕事</p> |  <p>特別支援学校
小全
10年以上</p> <p>保護者や生徒に「先生に会えて良かった」と言ってもらえるときが一番嬉しいです！</p> |

「教師」の魅力発信プロジェクト「先生のおわりとはじまりの授業」(本編&対談編)

定年退職を迎える先生の最後の授業。一方、先生として教壇に立つ初めての授業。そんな貴重な瞬間を撮影することで、「教師」という職業の現場の一片が見える。

プロモーション映像
YouTubeで
配信中！

【本編】

URL : 
https://youtu.be/f2Zic3Ev2YU

【対談編】

URL : 
https://youtu.be/zotCfrUIqjs

教育支援課程

★ 学生座談会

E類教育支援課程の先輩に、
あれこれ語ってもらいました!



村井佑美佳

- ① 表現教育
- ② 社会保険労務士事務所
- ③ 私立鎌倉女子学院
高等学校



- 人と接するのが好きで、人を笑顔にできるような仕事に就きたいと思っていたから。
- クラスメイトに学芸大のパンフレットをもらったことがきっかけ。

野崎 信吾

- ① 生涯スポーツ
- ② 東京都障害者
スポーツ協会
- ③ 宮崎大宮
高等学校



- 地域づくりやボランティア活動に関わりたと思ったから。
- 幅広くスポーツ分野の職を見たいと思ったから。
- 文化人類学に興味があり、専門的に学べる近隣の国立大学だったから。



教育支援課程に進学した理由は?

- 学校でも家庭でもない学びが持つ居場所に興味を持っていたから。
- 演劇ワークショップのような教育と演劇のことが学びたかった。
- 高校の情報の授業がきっかけで関心をもった。
- 学校の中での心理支援職に関心があり、スクールカウンセラーになりたかったから。
- 大学のウェブサイトで見た「求める学生像」を読んで魅力を感じた。

松澤 柚季

- ① 多文化共生教育
- ② 東京大学(職員)
- ③ 国立高校



①: コース ②: 進路 ③: 出身高校



教育支援課程の魅力や特徴って？

- 教育支援についての客観的な視点、幅広い知識を得ることができる。
- 様々な専門分野の学生と一緒に学び、活動することができる。
- めざす職に就く前に、いろいろな領域の観点を知り学ぶことができる。
- いろいろな教育支援職について学べる。将来スクールカウンセラーとして働いたときに、自分が支える側というだけではなく、さまざまな人と支えあえると実感できた。
- 教育に関心が高い学生や、教員を目指す学生との交流ができる。
- E類の様々なコースの学生との学びを通して、いろいろな専門の人と一緒にできることがあるということを知った。

諏訪ひかり

- ① 生涯学習
- ② 常葉大学(職員)
- ③ 静岡県立清水東高等学校



三國こもも

- ① カウンセリング
- ② 新宿区立中落合子ども家庭支援センター(心理職)
- ③ 新潟県立新潟高等学校



- 学校の中や生徒に対してだけではない支援をすることができる。(例えば体育の授業だけではなくおとなや高齢者、障害者など幅広く、スポーツの魅力を伝え支援できる)
- 多様なコースの学生との交流を通して、自分の専門の活かし方が広がる、視点が広がる。
- まだ確立していない、いい意味であいまいな教育支援職だからこそ、これから自分たちでつくっていく魅力がある。



学びがどう進路につながった？

- 大学での4年間の学びを通して、困っている人が最初に頼る行政機関で働くことが自分に向いていると思い、公務員になった。
- 未来を見据えた支援、教育を支援する人を支える仕事をしたいと思うようになった。
- 学んだことを地元を持ち帰って活かしたい。たいした悩みではなくても気軽に相談しやすく、本当に何か相談したいときにはすぐに力になってあげられるスクールカウンセラーになるために、大学院に進学する。

向井 怜奈

- ① ソーシャルワーク
- ② 東京都(福祉職)
- ③ 鹿児島県立甲南高校



泉澤 惇

- ① 情報教育
- ② 株式会社 ジャストシステム
- ③ 東京学芸大学 附属国際中等教育学校



- 「どんな人でもスポーツはできる、好きになれる」という生涯スポーツで学んできたことを最も活かせると思って障害者スポーツ協会に決めた。多くの人に障害者スポーツを知ってもらいたい。
- 研究室で活動してきたことが就職に生きた。今の学校で求められる主体的・対話的で深い学びをICTを使ってどう教育していくのか、そういう支援に関わりたいと思い、教育とIT両方やっている企業をさがした。
- 実習の授業を通して、自分のやりたいことが見えるようになった。地元の私立大学が地域貢献や地域連携に力を入れていて、学んだことが活かせると思って大学法人への就職を決めた。



西村 徳行

教職大学院 教育実践創生講座
美術・工芸教育サブプログラム担当

専門について教えてください。

専門は美術科教育学です。図画工作科や美術科の授業づくりを研究する授業論や、授業計画の枠組について考えるカリキュラム研究（例えば小学校6年間の図画工作科の授業をどのように計画するのか）を行っています。いま興味があることは、つくったりみたりしながら、造形的な見方や考え方がどのように育っていくのかということです。授業を実践したり観察したりしながら、研究を進めています。また学生を対象とした教員養成の他に、研修などを通して現職の先生たちを教える教師教育も行っています。

学生（高校生）の皆さんに期待することは？

今はコロナ禍で大変な状況ですが、いろいろな人やモノと出会って自分の価値観を広げてほしいなと思っています。学芸大は全国から人が集まっていてそれぞれ持っているものが多様であると思うので。大学の4年間は皆さんにとってとても大切な時期です。大学ではいろいろなことができるので、どんどんチャレンジしてください。何でも前向きに楽しんでいけるエンジンのようなものを育ててほしいと思います。



小西 円

留学生センター

専門について教えてください。

専門は日本語教育です。日本語教育といってもいろいろな切り口がありますが、私は主に言語の切り口で研究を進めています。母語話者は母語のルールを意識することなく母語を使用することができ、そのルールを明示的に説明することが難しいものなのですが、私たちが使っている日本語のルールをあぶりだして、どのように学習者に提示すればいいかを考えたりします。また、学習者が二つ目、三つ目の言語として日本語を学ぶ際に、どんなふうに日本語のルールを獲得し、使えるようになっていくのか、ということも研究しています。

学生（高校生）の皆さんに期待することは？

自分のことを深く知るためには、他者との交流が必要です。自分と違う価値観を知ること、自分のアイデンティティを揺さぶり、見つめ、確立させることができるはず。多様な人々が暮らす豊かな社会を実現するためにも、若い間にそのような経験を積んでほしいです。学芸大学には様々な留学生がいますし、留学生と一緒に受けられる授業もあります。ぜひ留学生と交流をしてみてください。



露木 信介

人文社会科学系 社会科学講座
社会福祉分野

先生のご専門について教えてください

医療ソーシャルワークです。ソーシャルワークとは、福祉に関する相談援助の総称で、私は、保健医療分野が専門領域となります。大学教員の前は、医療機関で働いていました。例えば、ひとり親が入院する時、自宅に残る子どもはどこで生活をしたらいいのか、給食費はどうしたらいいのか、様々な問題が生じます。これらの問題が解決されない場合、治療が必要なが分かっている、「手術（入院）を拒否」する親もいます。ソーシャルワークでは病気を診断したり、直接的に治療したりしませんが、患者や家族が安心して治療を受けられるようにサポートをする役割を担っています。

学生（高校生）の皆さんに期待することは？

君が「何もしなくても」、『誰か』が未来や世界を変えていくでしょう。しかし、その知らない『誰か』に、君の未来や生活・人生を預けていいのか？

この時、〈SOHZO〉する力が大切で、ひとつは〈想像〉、もうひとつは〈創造〉です。大学では、ネットで得られる「正解」ではなく、広い教養から〈SOHZO〉される「答え」を見つけ出してほしいと思います。その「答え」は、君の【独自性】です。『誰か』が造る未来に受動的であるのではなく、自らの未来を、自らで、能動的に〈SOHZO〉してください。そして、そのヒントや、学びの機会が学芸大では準備されています。



今井 慎一

自然科学系 技術・情報科学講座
技術科学分野

専門について教えてください。

制御工学です。制御という言葉自体は皆さん聞いたことがあるのではないのでしょうか。制御はあまり表立っては見えないものですが、身近な家電（冷蔵庫、エアコン等）でも使用されています。この制御をどのように調整すればいいのかを新しく開発することが私の研究テーマとなっています。制御の内容は、現在中学校技術・家庭科の技術分野で学習する单元にもなっていますので、「制御」について興味を持っていただけたら幸いです。

学生（高校生）の皆さんに期待することは？

何事にも、興味・関心をもつ学生になってほしいです。学芸大のキャンパス内にファボラボと呼ばれる自分の思い描いたものが作れる施設が整備されつつあります。この施設は、学芸大生はもちろんのこと、近隣の住民の方にも使えるサービスになるみたいですので、是非利用してもらい新しい出会いや発見を見つけて欲しいと思っています。

せんせいのーとの
フルバージョンはこちらから





さあ 東京学芸大学で学ぼう

東京学芸大学には、学校教育系と教育支援系があります。

学校教育系って何？

学校教育系は学校の先生をめざす人のための課程です。

全4課程から成り、それぞれで幼稚園教諭、小学校教諭、中学校・高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭を主として養成します。

教育支援系って何？

教育支援系では学校と連携したり協働して教育にたずさわる、教育支援職（48・49ページ参照）をめざす人のための課程です。全7コースから成り、それぞれで博物館、劇場、図書館などや海外で様々な支援をする公務員などを主として養成します。

どんな免許や資格がとれるの？

学校教育系の全ての選修・専攻では、卒業と同時にその専門に応じた教員免許に必要な要件を満たすことができます。また、教育支援系の一部のコースでは、単位を積み上げることによって、その専門に応じた教員免許取得をめざすことができます。（詳しくは68ページをご覧ください。）

教員免許以外の資格として、学校図書館司書教諭や学校司書、公民館・図書館・博物館などの社会教育施設、教育委員会で学校教育を支援するための資格（司書、学芸員、社会教育主事・社会教育士）の取得をめざすことができます。また、幼児教育選修では保育士の資格の取得、ソーシャルワークコースでは社会福祉士の資格の取得及びスクールソーシャルワーカーの認定をめざすことができます。（詳しくは69ページをご覧ください。）

東京学芸大学・教育学部

学校教育系



初等教育教員養成課程

国語選修（日本語教育コースを含む）・社会選修・数学選修・理科選修・音楽選修・美術選修・保健体育選修・家庭選修・英語選修・学校教育選修・学校心理選修・国際教育選修・情報教育選修・環境教育選修・ものづくり技術選修・幼児教育選修



中等教育教員養成課程

国語専攻・社会専攻・数学専攻・理科専攻・音楽専攻・美術専攻・保健体育専攻・家庭専攻・技術専攻・英語専攻・書道専攻



特別支援教育教員養成課程

聴覚障害教育専攻・言語障害教育専攻・発達障害教育専攻・学習障害教育専攻



養護教育教員養成課程

養護教育専攻

教育支援系



教育支援課程

教育支援専攻

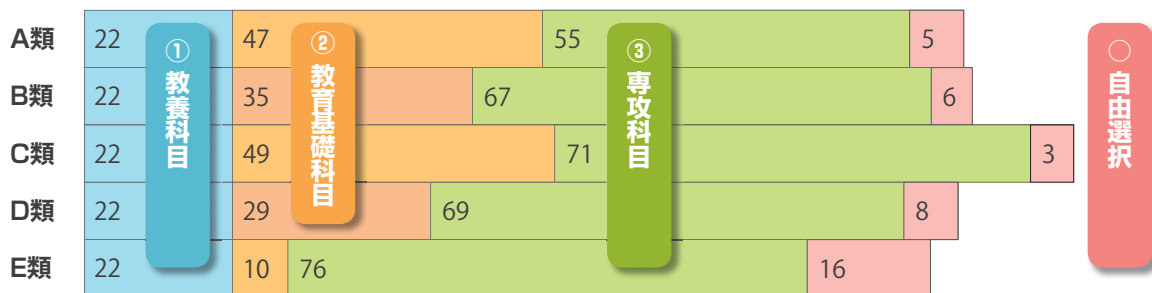
- 生涯学習コース（生涯学習サブコース・文化遺産教育サブコース）
- カウンセリングコース
- ソーシャルワークコース
- 多文化共生教育コース（多言語多文化サブコース・地域研究サブコース）
- 情報教育コース
- 表現教育コース
- 生涯スポーツコース

どんなことを学ぶの？

東京学芸大学では、学校教育系も教育支援系も「教養科目」、「教育基礎科目」、「専攻科目」という3つの科目群を通して広く深く学んでいきます。

入学した課程によって、4年間で学ぶ科目の割合が異なります。授業科目の詳細については東京学芸大学ウェブサイトの「授業ガイド」でご覧いただけます。

卒業に必要な単位数と科目群



※専攻（選修・コース）により単位数は異なる場合があります。

① 深い教養を身に付ける「教養科目」

広い視野、深い教養、豊かな人間性を養うための科目です。教養科目には3つの領域があります。

1 総合学芸領域

現代社会に生き、将来の日本・世界を創造する役割を担う学生のために多様な視点から学修の素材を提供する領域で、「日本国憲法」、「人権教育」、「情報」をはじめ、「心の科学」や「現代の企業」、「メディアリテラシー」、「身近な現象と化学」、「古典文学」、「心の健康とストレス管理」など、様々な科目を学ぶことができます。

2 健康・スポーツ領域

身体に関わる教養と技能を身に付け、大学生活の充実を図る領域で、「スポーツ・フィットネス実習」と「ウェルネス概論」が必修です。

3 語学領域

語学領域では、英語での発表を通し意見交換を行うことを目的とする「英語コミュニケーション」や各種外国語科目（ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語、イタリア語、スペイン語）を学ぶことができます。

② 教育について学ぶ「教育基礎科目」

学校や社会で「教育」に携わるために必要な基礎を学ぶ科目です。人は何をどのように学び成長していくのか、学びをサポートするためにはどのような考え方や技術が必要なのか、教育の制度はどのようなになっているのかなど、様々な角度から「教育」への理解を深めていきます。

学校教育系では、教師とは何か、教職とは何かについて理解し、教師としての心構えを準備する「教職入門」や、教育心理について学ぶ科目、子どもを取り巻く「こころ」の問題に対応するための知識の獲得やカウンセリングマインドの育成をめざす「教育相談の理論と方法」、大学での教職についての学びの集大成として、4年間を振り返り、教師として働くための最後の準備を行う「教職実践演習」などを学びます。

教育支援系では、「教育」という人間の営みに関わる理念や思想を学ぶとともに、現代教育の諸課題についてその歴史的経緯をも含めて構造的に捉えることを企図する「教育基礎論」や、現在の学校教育の現状を踏まえて、教育心理学の視点から教育の問題をいかに分析し、いかに解決を図っていくかについて考察する「教育と発達の心理学」など、教育支援を学ぶための土台となることについて学びます。

また、教育実習も教育基礎科目の中に含まれており、教員免許を取得する上でもとても大切な科目となります。

③ 専門分野について学ぶ「専攻科目」

国語や数学などの教科や、特別支援教育、養護教育、カウンセリングなど、各選修・専攻・コースの専門分野について、深い知識、高い技能、そして自ら考え実践する力を身に付けるための科目です。

学校教育系に開設している「授業観察演習」では上級生の教育実習の録画映像を視聴し、グループワーク・ディスカッション等を行います。これにより、教育実習に行く前に実際の様子を知ることができます。

また、教育支援系に開設している「教育支援演習」では、各コースの学生が討論や観察を通して共に学び、教育現場をめぐる課題解決に取り組む力を身につけることができます。

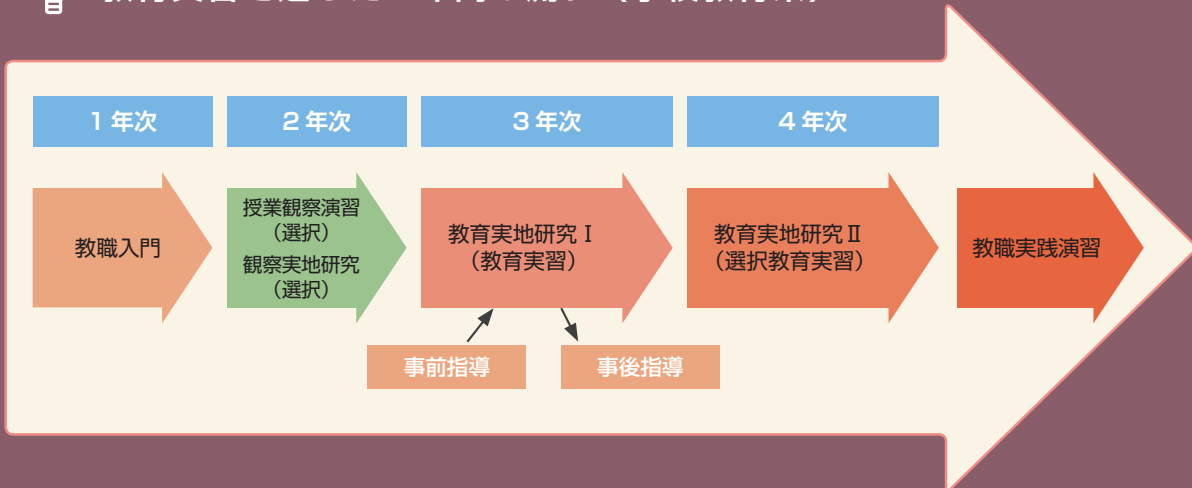
A類の学生は小学校の教科を学んだ上で、自身の所属する選修の専門分野について学びます。B・C・D・E類の学生も自身の所属する専攻・コースにおいて、専門分野について深く学びます。

また、4年間の学びの集大成として「卒業研究」を行います。

○ 学びの裾野を広げる自由選択

自身の選修・専攻・コースの分野を超えて、幅広い知識や技術を身に付けるために、他の選修・専攻・コースで開設している授業を受けることも可能です。

💡 教育実習を通じた4年間の流れ（学校教育系）



教育実習を実際に行うのは3年次ですが、それまでには授業の中で学校参観を行う「教職入門」や、実際の学校現場において教育実習生が授業を行っている映像を視聴し、グループワークやディスカッションを行う「授業観察演習」や、附属学校で教育実地研究 I の様子を参観し、次年度の教育実習への問題意識を高める「観察実地研究」により、教育実習の様子を知ることができます。また、各教科の指導法なども学び、1・2年次から準備を行います。

3年次には「事前指導」として、指導計画を作成したり、実際に模擬授業を行ったりしたうえで、附属学校で行う教育実習「教育実地研究 I」に臨みます。また、「事後指導」でフォローアップを行ないます。

4年次には公立学校等で行う教育実習「教育実地研究 II」があり、最後には4年間の総まとめとして「教職実践演習」を行います。「教職実践演習」ではすでに教職についている先輩方の講話や、教科についての更なる深化などを、グループディスカッション等を通して行います。



学校教育系

専攻・選修の特色

初等教育教員養成課程《A類》

- 18 国語選修（日本語教育コースを含む）
- 19 社会選修
- 20 数学選修
- 21 理科選修
- 22 音楽選修
- 23 美術選修
- 24 保健体育選修
- 25 家庭選修
- 26 英語選修
- 27 学校教育選修
- 28 学校心理選修
- 29 国際教育選修
- 30 情報教育選修
- 31 環境教育選修
- 32 ものづくり技術選修
- 33 幼児教育選修

中等教育教員養成課程《B類》

- 34 国語専攻
- 35 社会専攻
- 36 数学専攻
- 37 理科専攻
- 38 音楽専攻
- 39 美術専攻
- 40 保健体育専攻
- 41 家庭専攻
- 42 技術専攻
- 43 英語専攻
- 44 書道専攻

特別支援教育教員養成課程《C類》

- 45 聴覚障害教育専攻
- 言語障害教育専攻
- 発達障害教育専攻
- 学習障害教育専攻

養護教育教員養成課程《D類》

- 46 養護教育専攻



これからの学校を創る先生をめざす



学校教育系の目的

学校教育系は、幼稚園・小学校の先生をめざす人のための初等教育教員養成課程（A類）、中学校・高等学校の先生をめざす人のための中等教育教員養成課程（B類）、特別支援学校の先生をめざす人のための特別支援教育教員養成課程（C類）、養護教諭（保健室の先生）をめざす人のための養護教育教員養成課程（D類）の4つの課程から成ります。広い範囲での先生を養成していますので、将来、学校の先生として働きたいと思っている人に最適な課程群です。学校教育系では、そのために教員免許の取得が卒業の条件となっています。



東京学芸大学ならではのポイント

東京学芸大学の学校教育系は、全国の国立教員養成系大学・学部の中で最も定員規模の大きい教員養成課程となっており、広い範囲での教員免許種に対応した課程構成となっています。

学校教育系でのカリキュラムは、卒業後にすぐに自信をもって教壇に立てるように、多くの実践を経験できるものになっています。教育実習については、3年次に教育実地研究Ⅰ（必修科目）として東京学芸大学附属学校・園での実習を、4年次には、教育実地研究Ⅱ（選択科目）として、都内の公立学校・園、母校等での実習を行うことができます。また、複数の教員免許の取得を希望する学生に対しては、4年次の後半に選択実習（選択科目）として、基礎実習や応用実習と異なった学校種の実習を行うこともできます。このような豊富な実習カリキュラムにより、高い実践力のある先生を養成しています。

A類においては、小学校の教科を学んだ上で、自分の所属する選修についての専門分野を学びます。それらの専門分野には、国語・数学・理科・社会・音楽・美術・保健体育・家庭・英語・ものづくり技術など全教科に対応する専門分野が揃っています。このように小学校の先生でも、いずれかの教科についての専門性も兼ね備えることで、小中一貫校においても活躍できる先生の養成を目指します。また、A類で学べる専門分野には、学校教育・学校心理・情報教育・国際教育・環境教育などもあります。これらは、学校教育現場での現在抱える課題に応じた分野であり、それらについての専門性をもつことにより、高い教育課題対応能力を備える小学校の先生も養成しています。さらに、A類の幼児教育選修では、専門性の高い幼稚園の先生も養成しています。

B類、C類、D類においては、教員養成系大学ならではのカリキュラムにより高い実践力を獲得するとともに、自分の所属する専攻に関する専門分野について深く学ぶことで、専門性の高い先生を養成しています。また、東京学芸大学には多くの大学教員が在籍し、それぞれ異なった専門分野をもつため、選択できる専門分野が非常に多様です。

以上のようなカリキュラムを学生に提供することにより、高い実践力と専門性を持ち、教育現場においてリーダー的存在になれる先生の養成を、東京学芸大学では行っています。



学校教育系

学校の先生として働きたいと思っている人のための課程群

初等教育教員養成課程（A類）

幼稚園・小学校の先生を養成する課程です。
全教科の幅広い知識・技能、優れた実践力に加え、特定の教科や横断的領域に関する専門性の習得をめざします。

中等教育教員養成課程（B類）

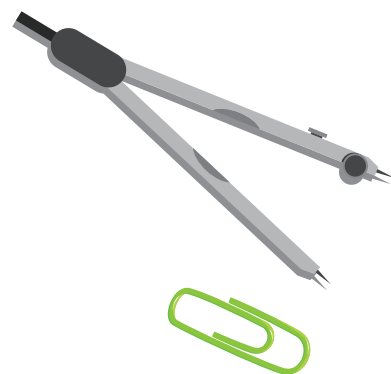
中学校・高等学校の教科の先生を養成する課程です。
教科に関する高度な専門性の習得や優れた教育実践力の習得をめざします。

特別支援教育教員養成課程（C類）

特別支援学校の先生を養成する課程です。
特別支援教育に関する高い専門性と優れた実践力の取得や習得をめざします。

養護教育教員養成課程（D類）

養護教諭（保健室の先生）を養成する課程です。
健康相談や健康教育、保健指導等が実践できる専門的知識と技術の取得をめざします。





初等教育教員養成課程

国語



国語科の講義では学生同士で話し合いながら授業を進める授業が多くあります。

ことばの森を探索し、真の教育力を培う。

国語を得意とする小学校教員の養成をめざしています。日本の言語文化に対する広範な教養と高い言語能力・豊かな言語感覚を備えた指導力あふれる教員を育成します。2年次からは国際化する教育現場に即した日本語教育コースも設けられています。中学校・高等学校国語の教員免許も取得できます。

4年間の学び

A類国語の学びは、教科教育学としての国語科教育学の領域と、それを支える基礎科学としての日本語学、日本文学（古典文学・近代文学）、中国古典学、日本語教育学の全6領域で構成されています。これら6領域の授業のどこに比重をかけるかは基本的に自由です。それらの履修の仕方によって自分なりの国語教育観がつけられ、その国語教育観によって次の履修科目が決まってきます。1年次では諸領域の基本的な概念と枠組を、日本語学概論、日本文学概論、日本文学史、中国古典文基礎、日本語教育概論の講義で学びます。2年次からは、より専門性を深めるために、1年次の基礎をふまえて自らが調査研究してきたことを発表する演習科目が6領域で開設されています。特に日本文学は上代・中古・中世・近世・近代・現代のように時代別の演習の授業を履修できます。他にも、日本語文法、日本語音声、日本語教育と言語学、言語習得と発達など、日本語に関する科目も豊富です。あわせて、それらの知識に基づきつつどのように指導するかを「国語科教材論」「初等国語科教育法」などで体系的に学びます。3年次からは自分が属する研究室で卒論に向けての準備が始まるので、2年次後半までにどの領域のどのようなテーマを深く究めたいか決めることになります。そして、4年次では4年間の学びの集大成として研究室の教員の指導を受けながら卒業論文をまとめます。

先輩からのメッセージ

「文学は社会で役に立たない」とよく言われます。しかし国語選修では文学をはじめとする国語を専門的に学ぶこと

で、その知識を教師としての指導に生かすことができます。特に1年生から参加できる自主ゼミでは、自分の興味のある分野を先生や友達、先輩、後輩とともに専門的に学び、更に学びを深めることが可能です。私自身児童文学ゼミに所属していますが、教育実習においてその知識を授業作りに生かすことや、児童文学を通して生きていく上で大切な視点や考え方を学ぶことができていると思っています。このように本選修では、教師としての指導技術はもちろん、自主ゼミを通して国語を専門的に学べるだけでなく、意味をもって国語を学べるのが魅力です。

(大石朋香 4年)



A類国語科では自主ゼミを通して、自らの研究を主体的に深めています。

特色ある科目

国語選修入門セミナー、国語科教材論、児童文学、国語科と情報、日本語文法、日本語音声、中国古典文学概論、中国古典文献概論、言語習得と発達、日本語教育と言語学、日本語教育教材開発論



巡検風景（三島市）：地理学の臨地研究の授業で源兵衛川の湧水について説明を受ける場面。

身近な生活から社会を知ろう。

本選修には歴史学・地理学・哲学・法学政治学・経済学・社会学・社会科教育学の7分野があり、それらを幅広く学べます。2年生からいずれかの分野に所属して勉強を深めます。そこで学んだ知識や考え方等は、児童が主体的に取り組む学習を創造するなど、教員としてのバックボーンになります。

4年間の学び

1年次：社会選修入門セミナーで高等学校までとは異なる大学での勉学の方法について学びます。あわせて7つの各分野の必修・選択必修の概論科目を履修し、社会科の基礎的な概念や考え方を学びます。

2年次：7つの分野のいずれかに所属し、各分野の特色ある専攻選択科目を中心に履修していきます。これは基礎知識に基づいて応用力を獲得し、「社会に強くなること」を目的とします。これと並行して教職科目の初等社会科教育法等を履修し、社会科の考え方や教育・教材開発に関わる方法論、授業研究などに関して学びを深め、「社会科に強い」小学校教員として応用できる実践力を養います。

3年次：所属分野でのより進んだレベルの演習等に参加し、体系的な学修を深めていきます。9月には附属小学校での教育実習があります。それまでに学んだ知識やスキルを活かして授業を創っていきます。その経験・反省を基に、「社会科教材論」を通して教材研究を深めます。

4年次：学生生活の集大成となる質の高い卒業論文の完成をめざします。選択で6月を中心に公立小学校での教育実習を受けることができます。

本選修の重要な特色は、演習を中心とする少人数教育です。教員や仲間とともにを行う社会や社会科に関する議論を通じて学問の楽しさを実感できるでしょう。

先輩からのメッセージ

“社会”という言葉は、学問分野によって定義や捉え方が異なり、国・地域・自治体・コミュニティなどさまざまな意味を有しています。しかしいずれにせよ、多様な人々と協働することで現代社会の問題を解決し、新たな価値

を創造していくことが求められています。だからこそ4年間の学生生活では、社会科7分野の学びを通じた多面的・多角的な考察と、特定分野のより専門的な学びにもとづく深い考察とを繋げていくことが重要であると私は考えます。こうした力は、新たな主権者を育てる教員はもちろんのこと、社会を担う一人として生きる私たちにとっても必要不可欠です。人々を包み込む“社会”という言葉および実態の豊かさや多様性に触れることができる社会科の学びに、皆さんも身を投じてみませんか。

（小松圭太 2020年度卒業生）



模擬授業：教職実践演習で武士の登場をテーマに模擬授業をする場面。

特色ある科目

社会選修入門セミナー、社会科と情報、社会科カリキュラム論、社会科教材論、社会科地域教材論、地域調査法、臨地研究、哲学と宗教、心の哲学と知識論、歴史学文献講読、日本史研究、教育と法、刑法、経済学基礎演習、経済学基礎、地域を探る社会調査、ジェンダーの社会学



初等教育教員養成課程

数 学



数学科の学生の解答例の発表

学ぼう、伝えよう、美しい数学の世界。

学生の数学的能力の育成と、小学校教員としての資質の養成を目的とする。小学校算数の内容を考察し、数学教育の理論と実践についての素養を身につけ、数学に対する興味と理解を深め、自然や社会に対して自らの頭で論理的に考える態度を育てる。

4年間の学び

大学の数学は、高校までの直観的な説明とは異なり、一步一步階段を上るように緻密な論理を積み重ねて学習していく。物事を論理的に理解し、他人に明快に表現できるように努力でき、物事に対し自分の言葉で考え、表現できるように養成する。大学の数学の基礎となる基礎数学、線形数学、微分・積分学を1年次で学ぶ。基礎を踏まえて代数学I、II、幾何学I、II、解析学I、II、確率・統計I、IIのそれぞれの専門分野の基本を2年次で勉強する。1、2年次で学んだ基礎的な数学の内容を踏まえて、数学分野においては、代数学各論、幾何学各論、解析学各論、確率特論、統計特論など現代数学の内容を3年次に勉強する。数学教育分野においては、初等算数科教育法、算数科教育臨床といった算数の授業をどのように行うかという実践の基本を学び、算数科教育研究、初等算数科教材論で、小学校での算数をどのように体系的に教えているかを学ぶ。その上で、自分がより深く学びたいものを選び、卒業研究として4年次に学ぶ。

先輩からのメッセージ

この選修では小学校教員を目指すことを目的に、算数・数学の専門性を高める大学数学や小学校における各教科の指導法、教員になるために必要な資質・能力等について学ぶことができます。また、小学校だけでなく中高の数学の免許も取得可能なので、小学校での指導法を踏まえて中高数学の授業における工夫を考えたり、小学校と中学・高校の指導の繋がりを意識しながら学習指導や教材研究について深く考えたりすることができるのもこの

選修の特徴です。

「大学数学」と「数学教育学」の二つの視点から教育について考えることができるこの学科で、算数・数学の楽しさを伝えられる教師と一緒に目指してみませんか。

(野上沙帆 4年)



ゼミでの議論風景

特色ある科目

線形数学、微分・積分学、基礎数学、位相数学I、II、代数学I、II、幾何学I、II、解析学I、II、確率・統計学I、II、代数学各論、幾何学各論、解析学各論A、B、確率特論I、統計特論I、数学カリキュラム論、初等算数科教材論、算数教育臨床



生物学実験：DNA塩基配列の違いでイネの品種を見分ける実験

感じよう自然の不思議さ、育てよう科学する心。

自然科学を理解し、子どもにわかりやすく伝えるとともに、子どもから理科の力を引き出せる能力をもつ教員を養成します。理科教育の本質を学び、仲間とともに科学のおもしろさを伝えるためにはどうすればよいかを考えることができます。

4年間の学び

自然科学の学習は、基礎から始め徐々に高度な内容へと段階を経て学び、専門性を高めていきます。この特質を考慮して、理科に関わる自然科学の全領域と理科教育学にわたる充実した科目群が、1年次から4年次の各学期に順を追って開設されています。理科教育学・物理学・化学・生物学・地学の各教室に所属して、それぞれの専門性を高めながら教員としての資質を養います。講義以外に実験・実習・演習という形態の授業科目があり、より能動的に関わって学ぶことが求められています。1年次には、物理学・化学・生物学・地学の基礎となる講義と実験を履修します。2年次には、教職に関する科目とそれぞれの専門性を高める専攻に関する科目の学習が本格的に始まります。3年次には、教職に関する科目・専攻に関する科目ともに、1、2年次の学習事項を基に発展的な内容を学習します。ゼミや実験等、研究室での活動が本格化するのもこの時期です。また、秋には附属学校での教育実習があります。理科教育の指導法や技術を生かし、科学的な見方・考え方を子どもに伝える機会となり、それまで学んだことを実践し振り返ります。4年次には、指導教員の下で卒業研究を行います。未知の領域で自ら真理を探究する中で、自然科学への理解と科学的な見方・考え方をさらに深めます。

先輩からのメッセージ

本選修では、1・2年次に講義や実験、野外実習等を通して物理学・化学・生物学・地学の基礎を学びます。小中学校理科の内容のみに留まらず、より幅広い内容を学ぶことに

なるため、高い専門性を身につけることができます。そして、3・4年次には物理学・化学・生物学・地学・理科教育学のいずれかの分野の研究室に所属し、卒業研究に取り組みます。私は、生物学の研究室に所属し、大腸菌を用いてタンパク質や遺伝子に関わる分野の研究をしています。教育学部でありながら、教職に関わる学習に加え自然科学系の本格的な研究にも取り組むことができるところが、本選修の魅力だと思います。ここで得た高い専門性や試行錯誤した経験が、この先教員として生きていく上での自信に繋がるでしょう。

(山本和奏 4年)



科学教材開発研究論：小学生を対象とした実験教室の立案と準備

特色ある科目

理科選修入門セミナー、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎地学、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験



初等教育教員養成課程

音楽



「入門セミナー」におけるアレクサンダー・テクニーク実習

心を育む音楽の力、音楽の世界を広げる。

本選修では、小学校全教科の学習内容や指導法を学ぶとともに、音楽の専門的な知識や技術を習得することができます。音楽に対する深い愛情、豊かな感受性、柔軟な社会性を備えた小学校教員の養成を目的としています。

4年間の学び

本選修では、音楽の基礎的な知識と技能を幅広く学ぶと同時に、小学校全科の学習指導に関する内容を学べるようにカリキュラムが組まれています。1、2年次には小学校の音楽科教員としての土台となる音楽的資質、知識を高めるための授業として、一つの専門に特化する形態ではなく、声楽・ピアノ・管弦打楽器・作曲・音楽学・音楽科教育の基礎的な科目を幅広く学びます。更に初年度春学期には音楽選修入門セミナーとして、4年間の学びに必要な文献の探し方や楽曲解釈、ピアノの構造や扱い方、発声法、演奏における体の使い方など、適宜外部より専門家を招き学びます。また興味に応じて和楽器・邦楽歌唱法・民族音楽などの科目も選択できます。2年次からは、音楽以外の教科に関する科目の履修を開始します。3・4年次では教育実習関連の授業が始まり、音楽科を中心とした小学校教育の理論・実践的な学びを深めます。並行し多くの学生が中学校・高等学校の音楽教員免許取得を希望し履修しております。3年次には声楽・ピアノ・管弦打楽器・作曲・音楽学・音楽科教育の実技と理論に関する6つの分野から自分の興味のある専門分野一つを選択し、4年次秋学期に行われる卒業演奏、または卒業論文発表に向けて取り組んでいきます。本選修の特色は、レッスンなど演習を中心とするものが多く、教員との距離が近いことが挙げられます。4年間を通して、音楽の楽しさを実感できることと思います。

先輩からのメッセージ

「音楽は学校教育に必要か？」と問われたら、あなたはどのように答えますか。必要性というものはお人それぞれであり、一概に“正解”はないと思います。これまでの音楽との関

わり方は、専門分野を主軸とした一面的なものだった人が多いでしょう。一言に音楽といっても、実際は多くの顔・性格から成り立っていて、それぞれに魅力があります。本選修では多面的・多角的に音楽と関わり、更に各教科の指導法についても学びます。それらで得た広い視野・知見から、音楽について考えさせられる場が多く用意されていますので、レッスンや演奏会、海外研修、各教科での講義など、様々な体験を通じて一緒に音楽の価値・教育的側面等について考えてみませんか。
(山本航 2020年度卒業生)



新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行われた合唱講習会

特色ある科目

音楽選修入門セミナー、基礎声楽実技Ⅰ、基礎声楽実技Ⅱ、合唱、ソルフェージュⅠ、基礎ピアノ実技Ⅰ、基礎ピアノ実技Ⅱ、基礎管弦打実技Ⅰ、基礎管弦打実技Ⅱ、作曲法Ⅰ、作曲法Ⅱ、指揮法、音楽学概論A、音楽学概論B、音楽学概論C



様々な色を使ってグループで描く演習。

図画工作で教員になる、未来をつくる。

本選修では、美術の専門的な技能や理論を学ぶことを通して、豊かな発想力や高い指導力を備えた図工を得意とする小学校教員や、図画工作専科の教員の育成をめざしています。また、中学校美術、高校美術、高校工芸の教員免許も取得可能です。

4年間の学び

1年次には美術の基礎力を養うための必修科目と図画工作科及び美術科教育に関する科目を履修して、図画工作科及び美術科教育に対する興味、関心及び理解を深めてもらいます。この間に、自分が絵画、彫刻、デザイン、工芸、造形芸術学、美術科教育のどの領域に興味や関心が持てるかを探ることが重要です。2年次には1つの領域を選び、必修科目である「美術演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。この授業は美術の専門的な知識や技能を段階的に積み上げていくことが目的となっています。また、それぞれの領域の選択科目を履修することで、教員としての幅広い視野を持つこともできます。3年次には「美術演習Ⅲ・Ⅳ」を履修し、卒業研究を行うために更なるスキルアップを目指すことも可能です。また、1、2年次に学んだ知識や技能を基盤として教職科目を履修していきます。3年次の後期には附属学校での教育実習があり、今までの成果を生かして授業に取り組みます。4年次には卒業研究に取り組みます。4年間の集大成として相応しい卒業制作および論文発表を行います。美術の造形活動や理論研究を通じて図画工作科及び美術科教員としての資質や能力を磨き、創造的な視野を持った教育実践を行えるような人材になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

本選修の魅力は、様々な美術の領域に「広く」触れ、さらには教育の視点をもって、自身の興味のあることを「深く」学ぶことができる点です。1年次には、絵画・彫刻・デザイン・工芸・造形芸術学・美術科教育と様々な領域の専門

的な知識や技能を学び、身に付けることができます。また2年次からは、研究室に所属し、興味・関心のあるテーマを研究することができます。さらに、3年次の教育実習は、それまでの学びを活かせるともに、講義だけでは学べない、学校現場や児童の実態を知ることができます。このように、本選修は、広く美術に触れ、実践を通しながら、自身の問題意識を研究に活かせる環境があります。ぜひ本選修で、自分のやりたいことを見つけ、仲間とともに学びを深めていきませんか？
(石川ひかり 2020年度卒業生)



紙を使った造形ワークショップ。

特色ある科目

図画工作・美術科と情報、図画工作科教材論、図画工作科カリキュラム論、美術選修入門セミナー、図画工作科基礎、絵画基礎Ⅰ、彫刻基礎Ⅰ、デザイン基礎Ⅰ、工芸基礎Ⅰ、西洋美術史概論、美術演習Ⅰ、美術演習Ⅱ、日本東洋美術史概論



初等教育教員養成課程

保健体育



児童が楽しむための指導法を考えながら体験的に学びます。

体育を核にして小学校教育を考える。

小学校で教えるさまざまな教科の中から、特に体育を専門的に学ぶことを柱にして小学校教員を養成しているのが本選修です。講義と実技の双方からなる多種多様な授業を通じて、小学校における教育全体の理解へ迫り、教員としての資質を磨き、指導力を養成することがこの選修の特徴となります。

4年間の学び

1年次：専門的な体育実技や保健体育分野における基礎学問を学習し、「教職入門」で教職の世界へ第一歩を踏み出します。2年次：「運動生理学概論」「スポーツ社会学」などにより多くの保健体育分野の基礎学問を学習します。また、「保健体育科教材研究」「保健体育科模擬授業演習 A」などの授業を通して、保健体育の教材研究や授業方法の学習や教育実習の準備が始まります。さらに、体育を含め各教科の指導法の学習が始まります。夏季休暇中には、2日間の集中授業で3年次の教育実習の映像を観察する「授業観察演習」があり、翌年の教育実習の具体的なイメージを持つ機会があります。3年次：「保健体育科演習」など教育実習に直接関わる科目を履修し、教育実習の「事前指導」を通じて研究課題を決めていきます。初めての教育実習は附属小学校で行い、教材研究や授業実践を行う力を高めていきます。実習終了後には「事後指導」で実習の振り返りをし、4年次の選択実習での課題を設定します。4年次：それまでに得た知識や視点からテーマを決め、卒業研究として論文作成と発表を行います。また、選択で公立小学校での教育実習を履修できます。秋学期には4年間の学びの集大成である「教職実践演習」を受講し、社会に出るための最後の準備をします。以上のように、4年間を通して教育全体の理解へ迫るといふ本選修のめざす学習活動を行います。

先輩からのメッセージ

本選修では、講義、実技ともに、小学校教員になるために不可欠な資質・能力を高める深い授業が行われています。保健体育・初等教育の基礎学習や模擬授業の実践などのひとつひとつの授業で、常に小学生の立場になって考え、学んでいます。

その過程で、専門性の高い知識とともに「児童を第一に考えた授業づくり」のための指導力、思考力などが身につきます。さらに専門とする競技の異なる学生同士が集う中で、個々の能力を活かした協力的な課題解決や活発な意見交流が実技の授業で行われ、仲間の高い志と様々な夢に強い刺激を受け、日々自己を更新し続けています。質の高い学び保障されている本学で、ともに学びましょう。

(篠田晃里 3年)



小学校の授業を想定して学生が指導案を作成し、模擬授業を行います。

特色ある科目

保健体育選修入門セミナー、保健体育科演習、人体解剖生理学、学校保健学概論、衛生・公衆衛生学、体育・スポーツ心理学、野外環境教育学、体づくり運動 A、器械運動 A、陸上 A、水泳 A、表現運動、ソフトバレーボール、サッカー A、ソフトボール A、バスケットボール A



炊き込みご飯、アジの塩焼き、味噌汁、炊き合わせの実習風景

生活の自立を支援できる教員になろう。

本選修では、家庭科を中心とした専門的な知識や技能の修得を通して、子どもの生活自立を支援できる小学校教員を養成します。衣食住をマネジメントし、家族や地域と連携して、自立して生活できる力を育成する家庭科の専門性を、小学校での指導に活かすことができます。

4年間の学び

1年次では、入門セミナーで、大学での学びや家庭科を専門とする小学校教員となる意義を学びます。専門科目としては、衣、食、家庭経営学に関する科目を履修し、被服の機能と被服材料や歴史的変遷や基礎的縫製技術（含む被服製作）、食品の調理性（含む実習）、人生をデザインするための意思決定論の基礎や消費者問題の現状を学びます。2年次には、教職に関する科目が始まり、初等家庭科教育法では、小学校家庭科の内容や指導法について学びます。専門科目としては、住居と保育に関する科目も開講され、住居の役割や機能、歴史的変遷と生活の変化、住まいの管理、乳幼児の発達や生活（含む家庭支援センターへの訪問）についても学びます。衣と食については、1年生での学びを基に、被服管理や洗剤の特性（含む実験）、日本の伝統文化としての和裁の技能（被服製作演習）、栄養学（含む実習）を学びます。また、教育の情報化についての基礎的な事項や家庭科でのICT活用についても実践的に学びます。3年次には、教育実習に向けて、事前指導での授業参観などを通してより具体的に実習に臨む準備をします。2年から3年にかけて、小学校で学ぶ各教科の指導法や教科の内容に関する科目も学んでいきます。4年次には、卒業研究に取り組みます。各々のテーマに沿って、4年間の学びの集大成として論文を仕上げます。

先輩からのメッセージ

A類家庭選修では、小学校教員の知識のほかに、家庭科についてより深い知識や技能を獲得することができます。保育、家族、衣食住、家庭経営など、幅広い家庭科の分野を学習します。授業は講義だけではなく、被服製作、食物実験、保育

実習など実践を通して学べることも魅力的です。また、この家庭選修は他の学科と比べて人数が少なく、仲良く助け合いながら楽しく家庭科について学ぶことができます。私はこの学科に入り、家庭科についての専門知識や技能、様々な小学校教員のスキルを学び、より小学校教員への希望が膨らみました。皆さんも一緒にこの大学で、この学科で充実した大学生活を送りませんか？皆さんの入学をお待ちしています。

（高田茜 4年）



学校給食の実習ーパン、肉団子スープ、イワシのピザ風、豆スナック、牛乳

特色ある科目

家庭選修入門セミナー、家庭経営学、栄養学概論、被服学Ⅰ、住居学、児童学Ⅰ、家庭科と情報、家庭科教材論Ⅰ、家庭科教材論Ⅱ、家庭科カリキュラム論



初等教育教員養成課程

英語



マザーグースをリズムよく言えるよう練習中

英語と出会う楽しさを小学生に。

小学生の学び方の特徴を理解し、その力に寄り添う英語の授業ができる人材を育てます。カリキュラムは英語学、英米文学文化、英語教育学を含む多様で体系的な科目から構成されています。在学中に中・高の英語の免許も取得することができます。

4年間の学び

1年次には主に英語運用能力を高めるための科目と、英語学、英米文学文化、英語教育学の基礎を学ぶための科目を履修します。2年次から小学校英語に関する科目の履修が始まります。合わせて他教科の指導法や教科内容についての学習も始まります。3年次には小学校英語に関する学びをさらに深め、言語学習に関する理論を学びながら高い実践的な指導力も身に付けることを目指します。また、附属小学校での教育実習があり、ありのままの児童の学習や学校生活の様子を観察し、教員生活の実際を経験します。4年次には、東京都の公立小学校での教育実習の機会があります。また、これまでの学びの集大成として卒業論文を英語で執筆します。卒業論文は英語学、英米文学文化、英語教育学の中から分野を選び、自ら決めたテーマで書き上げます。

小学校の英語教育は新学習指導要領で大きく変わる分野と言われていますが、流行に流されることなく、言葉の教育の本質を見つめ、専門性の高い指導力をつけることを目指しています。

先輩からのメッセージ

小学校で英語が教科化されてはや1年が経ちました。今、小学校英語教育は変化の最中にあります。初めて英語に触れる児童が多い小学校で大切にすべきことは何か？楽しいだけで終わらない授業を作るために意識すべきことは何か？など、様々な英語教育の疑問に対し、それぞれが答えを持ち行動できるように私たちは日々学習しています。本選修では殆どの授業が少人数制で行われるため

意見の交換が活発で、生徒同士や先生方との距離が近いことが特色です。また、現職の教員をされている方々、大学院で日々研究をされている方々とお話できる機会もあり、先の見通しを立てやすいことにもつながります。似た志を持つ学友と切磋琢磨し、英語教育の専門家である先生方から教えを受け、自分の世界を広げる大学生活を送ってみませんか。

(平野旭 4年)



子どもに英語で話すのは思っているほど簡単ではありません。

特色ある科目

英語読解、英会話、英作文、英語音声学概論、現代英語学、イギリス文化概論、アメリカ文化概論、英米文学概論、英語科と情報、小学校英語教育概論、小学校英語教育演習、英語科と異文化理解、初等外国語教育法、初等英語科研究



前代未聞？ 野外活動にリモート参加

子どもと学ぶ、子どもに学ぶ。

学校教育選修では、教科指導の能力に加えて、古今東西の教育事情や教育のあり方に影響を及ぼす学校内外の諸要因について高い見識を持ち、現在の学校に適應するのみならず、新たな学校のあり方を模索・構想・提言・実現できる教師の養成をめざしています。

4年間の学び

1年次は、学校教育選修の学修の中心となる教育学の5領域（教育哲学・教育史・教育方法学・教育経営学・教育社会学）の基礎を学びます。また、教職・教育実践研究への入門となる授業を履修します。2年次は教育学の基本文献をゼミ形式で読むことで、研究の基礎的能力や協働する力を身に付けます。3年次は「特講」と「演習」と呼ばれる教育学の専門授業に参加し、研究室での活動も開始します。附属小学校での教育実習にも取り組みます。4年次は卒業論文作成のための主体的な探究が中心となります。公立小学校での教育実習を経験することで、教職で必要とされる知識や技能をさらに身に付けることも期待されます。

こうして、学校教育選修の学生は4年間で次のことを身に付けることができます。

- (1) 個々人の能力や性格の把握にとどまらず、子どもたちがどんな社会（時代）を生活している（生きてゆく）のかを知って授業に反映させる、視野の広い子ども理解。
- (2) チャイムが鳴ったら席に着く、教師の指示に従う、といった授業の前提条件を意図的に整えるための原理や技術。
- (3) 各教科の独自性を尊重しつつ、必要に応じて教科の枠を超える授業づくりの発想・構想力。
- (4) 教科教育に含まれないが学校教育を支える大きな力を発揮している諸活動（学校行事や給食・清掃など）に注目してその意義を正當に評価するセンス。
- (5) 学校を広く社会の中に位置付けてとらえ、子どもの成長を見守る大人の協働を実現するマネジメント力。

先輩からのメッセージ

私はこの選修で各教科に加えて5領域から成る教育学の基礎を学んできました。「教育とは何か?」「学校って何だろう?」「良い授業とは?」「人を育てるとは何か?」この選修は、このようなすぐに答えの出ない問いに、ひたむきに粘り強く考えることが得意になる、そんな場所です。広い視野からより良い教育を想像・創造できるような人になるために、素敵な先生方や、同じ志を持った仲間と共に、議論し合い、学び続けます。各教科に加え、教育学という学問に触れるのは、容易な道のりではありませんが、教科だけに縛られない教育そのものの魅力に、どっぷりと浸かる大学生生活に挑戦してみませんか。

（下田紗矢 4年）



リモートで対面授業の模擬授業

特色ある科目

学校教育選修入門セミナー、教育学研究入門、教育基本文献講読Ⅰ、教育基本文献講読Ⅱ（外国語活用科目）、教育実践研究、教育実験観察法、教育調査法



初等教育教員養成課程

学校心理



学校心理を学んだ教員の強みについて考える学生（グループディスカッション）

心を知る教師が教育を変える。

学校心理選修では、学習や生活全体にわたる、児童生徒の「生きる力」を育むために教師として必要な心理学の専門知識を学習します。学力を高め、発達障害を含む発達の個人差に対応し、いじめや不登校のないクラスづくりを進めるなど、多様な教育課題に取り組むために役立つ心のしくみについての専門知識と実践力を育成します。

4年間の学び

学校心理選修では、人の記憶・学習・理解・動機づけのメカニズムを解明する「教授・学習、認知心理学」により、子どもが学習につまずいたときに、具体的な支援の方法を示すことができます。「社会心理学」により、子どもが互いに尊重し合い、個性の輝くクラスをつくることができます。「発達心理学」により、学年に応じた心の成長を理解することができます。「臨床心理学」により、子どもが悩んでいるときに、心の声に耳を傾けることができます。

小学校教員免許への道のりは、1年次の「教職入門」、2年次からの各教科の「教科教育法」、「授業観察演習」、3年次で「教育実地研究Ⅰ」（附属学校での教育実習）、さらに4年で「教育実地研究Ⅱ」（協力学校での教育実習）へと続きます。学校心理学の道のりは、1年次の「心理学概論」と「心理学統計法」に始まり、2年次には、「授業実践の心理学」や心理学各領域の概論、さまざまな心理学研究技法の授業があります。3年次には各心理学の演習科目と「教育心理学実験」があり、研究室配属、そして、4年での卒業研究と続きます。2つの道のりはお互いに独立ではなく、1年次からの学校見学や教育実習などで問題意識を育み、それを解決する心理学の研究手法と専門知識を学び、さらに、教育実習などに生かして行くという、「スパイラルな学び」により実践的な力をつけることができます。

先輩からのメッセージ

「子どもの力を引き出すためにはどう働きかけるか」「子どもが問題行動をとってしまうのはなぜなのか」学校心理選修では心理学の観点から、指導方法や子どもたちへの関わり方について学びます。1, 2年次に学んだ心理学の理論を用いて、3, 4年次には授業分析を行ったり、教育実習で実際に指導に活かしてみたりと、4年間で理論と実践を往還することができます。学校心理選修の最大の特徴は「一つの教科

に縛られない」ことであると私は考えます。心理学の理論はすべての教科において活用することができ、また授業外の様々な場面（生活指導や教育相談など）でも応用することができます。私が4年間心理学を学んできて気付かされたのは、「教師がとった行動は子どもに大きな影響を与える」ということです。教師の働きかけで子どもを良い方向にも悪い方向にも導くことができます。だからこそ、心理学の視点から子どもの行動の背景をとらえたり、対応について考えたりすることが非常に大切なのです。私は春から小学校の教壇に立ちます。これまで学んできた心理学の理論は子どもたちや保護者と接するうえで役立つだけでなく、今後自身の教師としての技能を高めていくうえでも役立つと確信しています。みなさんも、学校心理選修で「教育」を心理学の視点から考えてみませんか？

（安斎快 2020年度卒業生）



学校心理を学んだ教員の強みについて考える学生（全体共有）

特色ある科目

3年春学期の「教育心理学実験」では、1年次より学んだ「教授・学習、認知心理学」「社会心理学」「発達心理学」「臨床心理学」の各領域からテーマを選び、1年次に学んだ統計法や実験法、2年次の質問紙調査法などの技法を駆使して自分たちで研究を仕上げます。



初等教育教員養成課程

国際教育



「Cross-cultural Ideas and Activities」の授業で留学生と白熱討論

世界的視野にたって日本の教育にとりくむ教師

本選修では、国の内外を問わず、すべての子どもたちが、お互いを尊重し協力しつつ、ともに生きることができるような人間形成に取り組む教員の養成をめざします。そのために人間の多様性と共通性を踏まえた教育実践を、国際的視野から追及します。

4年間の学び

1年次、「国際教育選修入門セミナー」「国際教育基本文献講読」「国際理解教育論」などで、教育学・心理学の学問的基礎を身に付け、Cross-cultural Ideas and Activitiesなどの選択科目で、留学生と英語での共習体験をします。2年次は、「国際教育交流史」「比較教育思想論」「国際教育政策論」「国際教育とプロジェクト」「海外・帰国児童生徒教育論」「異文化間心理学」などの専門科目を学び、「国際教育臨床」においてプレゼンテーション能力を向上させます。3年次は、「国際教育演習A～F」において研究法を学び、「国際教育特別研究」で各自の基礎研究を卒業論文にまとめます。附属学校での教育実習とその「事前・事後の指導」において、教育実践力を身に付けていきます。3・4年次は、「比較教育学研究」「教育開発と教育協力」「日本教育史特講」「外国人児童生徒教育」などで、専門的な議論を深めます。4年次は、「卒業研究」「教職実践演習」や、選択実習において、教育の理論研究と実践研究の総まとめをします。思考力、表現力の基礎を備えた人、他人の意見や情報を鵜呑みにしないで疑問を問いかかけながら、自分の考えを確立し、その考えを仲間と共有できる人に、この選修に来てもらいたいと思います。

先輩からのメッセージ

モノや人の往来だけでなく、人々の考え方やアイデンティティの多様性が重視されている今日の社会において、多角的な視点から物事を捉える力や、相手の考えを理解しようとする態度が求められています。また新型コロナウイルスの影響により、様々な活動が制限され、厳しい状

況下にある今だからこそ、世界全体が協力し合いどんなことができるのか、考えていかなくはなりません。私たちは、授業を通して日本だけでなく世界に目を向け、色々な立場に立って「教育」について考えています。そしてクラスのなかで、互いの感じたことや意見を共有することで、新たな考えや価値観を得られました。皆さんも共に、国際教育について考えていきませんか？

(国際教育選修 2年一同)



いざという時は、一致団結。こどもを守る、地球を守る！

特色ある科目

「国際教育選修入門セミナー」「国際教育基本文献講読」「国際教育特別研究」「国際教育とプロジェクト」「異文化間心理学」「比較教育思想論」「国際教育政策論」「国際教育交流史」「国際教育演習A～F」



初等教育教員養成課程

情報教育



教育実習における電子黒板を活用した授業

デジタルネイティブな子どもたちのために。

変化の激しい社会の中でも想像的に未来を自ら築くための情報活用能力を児童に身につけさせる教育力、ますます重要となってきた教育の情報化を学校内で指導・推進できる実務能力をもつ教員になるために、情報科学・情報工学・教育工学の知識や技能を体系的に学ぶことができます。

4年間の学び

現学習指導要領では言語能力に並んで情報活用能力を学習の基盤として定義し、その力を育むためのプログラミング教育も開始されました。そして、一人一台の学習者用コンピュータの整備も行われ、教育の情報化を先導する教員の必要性がますます高まっています。

情報教育選修では、小学校の先生になるために必要な知識や技術と共に情報工学・情報科学・教育工学分野を教育の視点から学びます。1年次からE類情報教育コースの学生と共に計算機システムの仕組み、プログラミングやアルゴリズム、情報工学・情報科学・教育工学の基礎となる数学を学び、また、教育の情報化の三要素である情報教育、授業におけるICT活用、校務の情報化について学んでいきます。3年次からはE類情報教育コースの学生と共に研究室に所属し、研究室それぞれの専門分野を学んで、4年次には卒業研究に取り組みます。

また、3年次に附属学校で、4年次の地域の公立学校で行う教育実習では、ICT活用を実践するプログラムが用意されています。教育実習それぞれを振り返る授業を通して、ICT活用と情報教育の総まとめをしていきます。

先輩からのメッセージ

ここ数年、急激に教育の情報化の必要性が叫ばれるようになってきているのは、誰しもが感じていることだと思います。2020年度から小学校においてプログラミング教育が必修化されました。また、GIGAスクール構想により、小・中・特支等の児童生徒に学習者用端末の1人1台導入、校内通信ネットワークの整備が実現されます。コロナ禍では、さらにその必要性が浮き

彫りになりました。A類情報教育選修には、これからの教育界で「教育×情報」のプロフェッショナルとして第一線で活躍し続けられる教員になるための学びが詰まっています。特に「授業におけるICT機器活用」や「情報教育概論」では、教育の情報化について実践的に学ぶことができました。東京学芸大学A類情報教育選修でしかできない学びが皆さんを待っています。
(山田葵 4年)



コンピュータを用いた授業の様子

特色ある科目

教育情報化教材論、教育情報化臨床、教育と情報、授業におけるICT活用、情報教育概論、情報数学基礎、計算機システム概説、プログラミング、プログラミング演習、ソフトウェアシステム概論、情報メディア論



里山で人と自然の関わりを学ぶフィールドワーク／地域の環境学と農的体験 I

フィールドから環境を探る。

文系・理系の枠を超えて、領域横断的・総合的に「環境」について学ぶことができます。座学だけでなく、様々なフィールドで実物に触れ、手足を動かし、心と頭を働かせた観賞・観察・測定・調査を通して、体験的に環境リテラシーを身につけ、1人1人の個性に応じた環境マインドを養うことをめざします。

4年間の学び

1、2年次では、教職に関する科目に加えて、「環境」を理解するために自然科学と社会科学の基礎的な知識を学びます。生態系生態学、河川生態学、魚類生理学、植物生態学、保全生態学、景観生態学、環境経済学、自然地理学、環境教育学などの環境に関わる幅広い分野の基礎を学びます。また、野外に出て自然環境を自ら観察・測定・分析し、環境を理解する方法を学び、環境問題を解決するための手段を考えていきます。3、4年次では、それまでの学びを基礎とした実験や実習を通して、さらに環境について理解を深めます。また、3年次には教育実習があります。学び、身につけた知識を教育現場で実践し、「環境を教える」ことについて自分なりの答えを模索する機会になります。そして4年次には、環境教育選修における学びの集大成として卒業研究に取り組みます。

環境教育選修における実践の場は教育実習だけではありません。知識や経験を基に、地域の人達に自然環境を伝える技術・方法を考え、実践する機会もあります。また、子どもたちと触れあい、環境を保全する仕組みについて考える場など、実践する機会には困りません。環境教育選修は、豊富な教育環境を活用して多くを感じ、考え、そして身につけることで、魅力的・個性的な環境教育観を持った人に成長してもらうことを期待しています。

先輩からのメッセージ

「環境」と聞くと、自然、暮らし、地球温暖化など様々なワードが思い浮かぶと思います。環境教育選修では、このように様々な視点から「環境」についてアプローチし、学びを深めていくことができます。文理の枠を超え、自然科学や

社会科学の基礎的な学びから、景観生態学や社会環境調査法など専門的な学びまで、幅広く取り組みます。

また、座学にとどまらず、実際に外に出てフィールドワークを行う授業が多いことも大きな特徴です。山梨県の山村で民泊をしたり、大学内にある農園では実際に農業を体験できます。このような活動の中で、その土地の自然や文化に触れ、仲間と協力しながら学び合うことができます。みなさんも、私たちと一緒に「環境」について学んでみませんか。

(原田朋佳 4年)



解説パネルづくりのためのサトイモの観察／博物館と展示の活用

特色ある科目

自然環境調査法 A/B、社会環境調査法、地域の環境学と農的体験 I/ II、地球環境論、河川環境論、展示論、環境と産業社会、環境保全生態学、都市環境論、環境教育概論、自然体験学習論、自然体験、エコスクール論、環境教育実習 I/ II、博物館と展示の活用



初等教育教員養成課程

ものづくり 技術



木材加工の授業では試作・設計を繰り返して、作品を完成させます。～ものづくり実験室にて～

豊かな“ものづくり力”をもつ教師になろう。

テクノロジーやサイエンスに関する強固なバックグラウンドを持った「ものづくり」をすることができる小学校教員を育てることを目標とする選修です。この目標を達成するため、ものづくりの技術の基礎的な科目や科学などを、広範囲に学習するカリキュラムとなっています。

4年間の学び

1年次には、製図、木材加工、金属加工等の授業を通して、工学的デザイン（設計）プロセスに基づいた設計・試作・製作に関するものづくり技術、また情報技術に関する基礎的な能力を身につけます。希望する場合は、中学校の技術科教員になるための基礎知識である数学・物理学・情報工学についての基礎知識に関する学習も行います。2年次には、1年次の学習内容を踏まえ、小学校の教員になるため、幅広い知識を習得します。小学校で教える各科目の教育方法や教育内容に関する科目も履修するようになります。3年次には、2年次の学習内容を発展させ、小学校教員になるために必要なさらなる学習を行います。2年次・3年次では各専門科目の基礎事項を学ぶと共に、実験・実習により、基礎的な知識・技能を活用し、企画・創造力を高めることができるようなプロジェクト型・問題解決型の授業を行います。また3年次初頭に、卒業研究のために研究室への配属が行われ、研究室のゼミ等により卒業研究に向けての準備が始まります。3年次の9月～10月には附属学校での教育実習があります。4年次には卒業研究が実施されます。設定した卒業研究の課題に関し、約1年をかけてじっくりと研究します。卒業研究は究極の課題学習です。自主性を発揮して挑んで下さい。

ものづくり技術特有の問題解決型の学習や卒業研究を通して、主体的に企画・創造力を高めていくことができる人になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

一年次から、木材や金属の加工が体験でき、プログラミング・学校にある農園を使った農業など幅広い分野の“ものづくり”が学習できる学科です。近年の小学校の変化に合

わせた内容になっており、私を含め学科の友人は必修の授業を楽しみに学校に来ていました。

“ものづくりって何？そんな教科あるの？”と思われることが多い学科ですが、算数における立体の作成・社会における街づくりの模型作成・理科における“勘違い”を減らすモデル作成など、いろいろな教科で“目に見えるものの作成”が必要とされています。子供たちの直面している“わからない”を解決する力が“ものづくり”にはあると感じました。この選修での学びは確実に有為な教員につながります。

（神田雄一 4年）



ものづくりの基本となる様々な加工方法を身に付けます

特色ある科目

ものづくり技術入門セミナー、工業数学Ⅰ、工業物理学Ⅰ、情報とものづくり、ものづくり教育臨床、ものづくり教育と教材、電気とものづくり



大学の授業では、学生同士で話し合いながら、学びを深めていきます(教材研究の様子)。

幼児教育の未来を創る保育者になろう。

幼児教育選修では、幅広く、深い理論の学びと、豊かな実践の学びを融合し、高い力量を持つ保育者を養成します。幼児教育の不易の課題と今日的課題に対応できる専門性を備えた保育者、幼児教育の未来を創る保育者の養成をめざしています。

4年間の学び

1年次には主に幼児教育や発達の基礎的な理論を学ぶための科目と、音楽、造形、運動などの基礎的な知識や技術等を身に付けるための科目を履修します。附属幼稚園にも訪問し、幼稚園の環境づくりを実地で学びます。2年次には、保育内容(健康、人間関係、言葉など)の専門的な科目の履修が増えます。これらの科目は1年次の秋学期から3年次の春学期にかけて履修し、遊びや生活における幼児の姿を理解し、具体的な活動を通して総合的に指導するための知識や技術等を学びます。また、附属幼稚園のクラスに入り、グループで実習を行う授業もあります。保育を参観し、幼児の興味を捉えて自分たちで教材を開発し、それを使って実際に保育を行います。3年次の春学期には附属幼稚園での観察実習があり、数日かけて幼児と保育の様子を記録し、それをもとに多面的に幼児を理解する手法を学びます。幼児教育のカリキュラムや発達心理学の理論など、教職の高度な専門的学習も同時に進められます。秋期には3週間の教育実習があり、小金井園舎と竹早園舎に分かれて、それまでに学んだ知識や技術等を生かして自ら日々の保育を構想し、実践する機会があります。4年次には卒業研究で卒業論文に取り組みます。幼児や保育に関わるテーマを設定し、研究室に入って1年かけてじっくり探求し、論文にまとめます。4年間を通して、幼児の世界や保育の営みの豊かさを深く知り、他者と経験を交流して協同的に学んでいく保育者になってほしいと思います。

先輩からのメッセージ

一生に一度の「幼児期」は人格形成の基礎を培う大切な時期です。子どもが健やかに成長していける環境をつくり、その確かな育ちを支えることが私の感じてきた幼児教育の魅力です。授業では、発達や歴史等の基礎的な理論の他、子育て支援や障害理解等の専門的内容まで幅広く学ぶこと

ができます。また、附属幼稚園との交流も多く、実際に子どもたちと関わりながら学ぶことができます。きめ細やかなご指導をして下さる先生方、設備の整ったピアノ練習室、保育士資格や小学校教員免許も取得できる幅広い学び等の環境は、保育者を目指して進む私たちを支え、時には不安を抱えて立ち止まる私たちの追い風となってくれます。幼児教育専修は少人数のため学年を超えて仲が良く、いつも笑いが絶えません。この素晴らしい環境で共に保育を学び、有意義な大学生活を送りましょう! (相岡あすか 4年)



1年次の「音楽表現Ⅱ」では、附属幼稚園で音楽を通じた交流をします(歌の発表の様子)。

特色ある科目

幼児教育選修入門セミナー、乳幼児心理学、幼児教育学、音楽表現Ⅰ/Ⅱ、保健体育Ⅰ/Ⅱ、美術Ⅰ/Ⅱ、ピアノ基礎Ⅰ/Ⅱ、保育内容「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現A/B/C」、幼児教育と情報、保育内容総論、保育原理、幼児教育心理学、保育者論、幼児体育特講
詳しくは幼児教育選修のウェブサイトをご覧ください。
「東京学芸大学 幼児教育」で検索



中等教育教員養成課程

国語



中等国語科教育法では実際に授業体験をしながら具体的に指導法を学んでいます。

ことばの森を探索し、真の国語力を培う。

本専攻は、中学校・高等学校の教育現場で活躍できる、高い専門性をもった国語科教員の養成を目的としています。中等教育における学習内容と指導法を学びつつ、日本語、日本文学、中国古典などの日本の言語文化に対する認識を深め、高い言語能力と豊かな言語感覚を備えた指導力あふれる人材を育成します。

4年間の学び

B類国語の学びは、教科教育学としての国語科教育学の領域と、それを支える基礎科学としての日本語学・日本文学（古典文学・近代文学）・中国古典学の全5領域から構成されています。これら5領域の授業のどこに比重をかけるかは基本的に自由です。それらの履修の仕方によって自分なりの国語教育観がつくられ、その国語教育観によって次の履修科目が決まってきます。1年次ではこれら諸領域の基本的な概念と枠組を、日本語学概論、日本文学概論、日本文学史、中国古典文学概論、中国古典文献概論の講義で学びます。2年次からは、より専門性を深めるために、1年次の基礎をふまえつつ自らが調査研究してきたことを発表する演習科目が5領域で数多く設けられています。特に日本文学は上代・中古・中世・近世・近代・現代のように時代別の演習の授業を履修できます。他にも、日本語文法、日本語音声、日本語教育と言語学、言語習得と発達など、日本語に関する科目も豊富です。あわせて、それらの知識に基づきつつどのように指導するかを「国語科教材論」「中等国語科教育法」などで体系的に学びます。なお、3年次からは自分が所属する研究室で卒論に向けての準備が始まるので、2年次後半までにどの領域のどのようなテーマを深く究めたいか決めることになります。そして、4年次では4年間の学びの集大成として研究室の教員の指導を受けながら卒業論文をまとめます。

先輩からのメッセージ

B類国語科の特色は、やはり演習の授業が多いことかなと感じます。座学だけではなく、それを生かした調査発表・

模擬授業を通して、将来教壇に立つために必要となる、各分野の専門的な知識を身につけることができます。また、全20を超える自主ゼミでは、1年生から先輩に交じり、高いレベルの議論へ参加することができ、自分の興味のある分野を見つけ、研究を深めていくきっかけにもなります。地方から進学してきた私にとって、全国から集まってきた同じ志を持つ仲間たちとの出会いは、自らの国語教育観を揺るがす刺激的な出来事でした。「ことばの森」へと分け入る4年間は、皆さんの「当たり前」をガラリと変えてくれる4年間になるはずですよ。（三枝竜太郎 4年）



B国では自主ゼミに複数入って研究を主体的に深める人も多いです。

特色ある科目

国語専攻入門セミナー、中国古典文基礎、国語科と情報、国語科教材論、現代日本語文法、日本語教育教材開発論、言語習得と発達、異文化間教育、日本語音声、児童文学、中学書写



授業風景：社会学の教員から指導を受けて課題に取り組んでいる場面。

深い知識と思考力で社会を探究しよう。

本専攻には歴史学・地理学・哲学・法学政治学・経済学・社会学・社会科教育学の7分野があり、それらを幅広く学べます。2年生からいずれかの分野に所属して研究を深めます。そこで学んだ知識や考え方を踏まえて、生徒が多面的・多角的に追究する学習を創造するなど、専門に強い教員になることをめざします。

4年間の学び

1年次：社会専攻入門セミナーで、高等学校までとは異なる大学での勉学の方法について学びます。あわせて7分野の必修の概論科目を履修し、社会科の基礎的な概念や考え方を学びます。

2年次：7つの分野のいずれかに所属し、各分野の特色ある専攻選択科目を中心に履修していきます。これは基礎知識に基づいて応用力を獲得し、「社会に強くなること」を目的とします。これと並行して教職科目の中等社会科教育法等を履修し、社会科の考え方や教育・教材開発に関わる方法論、授業研究などに関して学びを深め、「社会科に強い」教員として応用できる実践力を養います。

3年次：所属分野でのより進んだレベルの演習等に参加し、体系的な学修を深めていきます。9月には附属学校での教育実習があります。それまでに学んだ知識やスキルを活かして授業を創っていきます。その経験・反省を基に、「社会科教材論」を通して、教材研究を深めます。また、中等社会科・地理歴史科教育法や中等社会科・公民科教育法の授業で、実践力をさらに養います。

4年次：学生生活の集大成となる質の高い卒業論文の完成をめざします。選択で公立中学校・高等学校等での教育実習を受けることができます。

本専攻のカリキュラムの重要な特色は、演習を中心とする少人数教育です。教員や仲間とともに行う社会や社会科に関する議論を通じて学問の楽しさを実感できるでしょう。

先輩からのメッセージ

私は、社会科と子どもが好きだったので、この学科に入学しました。中学校・高等学校の教員には、社会科の様々な分野に対する高い専門性が求められます。授業やゼミの中でこうした専門的な知識・理解を深め、模擬授業や

教育実習などを通して実践的な力も高めることができます。私は歴史学のゼミに所属し、ゼミのメンバーと様々な文献を読み、討論しながら、日本近現代史に関する理解を深めることができました。また、同じ学科には社会科や教育に興味・関心が強い仲間が多いので、互いに切磋琢磨しながら成長できる環境が整っています。

中学校・高等学校の教員になる学生もいる一方で、教育について学んだことを生かし、地方公務員や企業に就職する学生もいます。

(寺西真輝 2020年度卒業生)



模擬授業：教職実践演習で長篠の合戦をテーマに模擬授業をする場面。

特色ある科目

社会専攻入門セミナー、社会科と情報、社会科カリキュラム論、社会科教材論、社会科地域教材論、自然環境、臨地研究、哲学と宗教、心の哲学と知識論、日本史演習、西洋史基礎講義、教育と法、刑法、経済学基礎演習、経済学基礎、地域を探究する社会調査、ジェンダーの社会学



中等教育教員養成課程

数学



目指すべき授業について、小学校と中学校の授業ビデオを見て議論しています。

学ぼう、伝えよう、美しい数学の世界。

学生の数学的能力の育成と、中学校・高等学校教員としての資質の養成を目的とする。中学校・高等学校の数学の内容、数学教育の理論と実践についての素養を身につけ、数学に対する興味と理解を深め、自然や社会に対して自らの頭で論理的に考える態度を育てる。

4年間の学び

大学の数学は、高校までの直観的な説明とは異なり、一步一步階段を上るように緻密な論理を積み重ねて学習していく。物事を論理的に理解し、他人に明快に表現できるように目指し、物事に対し自分の言葉で考え、表現できるように養成する。1年次に、大学の数学の基礎となる基礎数学、線形数学、微分・積分学を学ぶ。2年次に、基礎を踏まえて代数学 I, II、幾何学 I, II、解析学 I, II、確率・統計 I, II のそれぞれの専門分野の基本を勉強する。3年次に、基礎的な数学の内容を踏まえて、数学分野においては、代数学特論 AI, AII, BI, BII、幾何学特論 AI, AII, BI, BII、解析学特論 AI, AII, BI, BII, C, D, E、確率特論 I, II、統計特論 I, II 等現代数学の内容を勉強する。数学教育分野においては、中等数学科教育法 I, II, III, IV、数学科教育臨床といった数学の授業をどのように行うかという実践の基本を学び、数学教育研究、数学カリキュラム論で、中学、高校での数学をどのように体系的に教えているかを学ぶ。その上で、自分がより深く学びたいものを選び、卒業研究として4年次に学ぶ。

先輩からのメッセージ

「数学」と「数学教育」の2つの領域には、共通する部分と独自の部分があるといわれ、どちらの観点も数学科教員を目指す上では欠かせないものです。B類数学科では、より発展的な数学に触れることで自らの専門性を高めるとともに、教育の歴史や理論、指導法、教材研究といった数学教育に関する内容も、幅広く深く学んでいきます。附属学校での授業見学や教育実習を始めとしたリアルな

現場の様子を体験できる機会も充実しており、実践的な経験とともに学習を進めることができます。また本学科には中・高の数学科教員を志望する学生が多く集まり、同じ目標を持った仲間との交流も大きな刺激になります。皆さんもぜひ、理想の教師像を目指して一緒に勉強していきましょう！

(玉城樹 4年)



4年次の卒業研究では、お互いに発表しながら勉強・研究をします。

特色ある科目

線形数学、微分・積分学、基礎数学、位相数学 I, II、代数学 I, II、幾何学 I, II、解析学 I, II、確率・統計学 I, II、代数学特論 AI, AII, BI, BII、幾何学特論 AI, AII, BI, BII、解析学特論 AI, AII, BI, BII, C, D, E、確率特論 I, II、統計特論 I, II、数学カリキュラム論、数学科教材論、数学科教育臨床



中等理科教育法Ⅰ：中学校理科「化学変化と物質の質量」を題材にした模擬授業

自然科学の奥深さを伝える教員になろう。

専門性の高い物理、化学、生物、地学を学び、自然科学のおもしろさを生徒にわかりやすく伝えるとともに、科学的探究心を育てることのできる能力をもった教員を養成します。自然科学の謎解きに真正面から向きあえ、その楽しさを仲間と分かちあえます。

4年間の学び

自然科学の学習は、基礎から始め徐々に高度な内容へと段階を経て学び、専門性を高めていきます。この特質を考慮して、理科に関わる自然科学の全領域と理科教育学にわたる充実した科目群が、1年次から4年次の各学期に順を追って開設されています。物理学・化学・生物学・地学の各教室に所属して、それぞれの専門性を高めながら教員としての資質を養います。講義以外に実験・実習・演習という形態の授業科目があり、より能動的に関わって学ぶことが求められています。1年次には、物理学・化学・生物学・地学の基礎となる実験を行います。また、2年次にかけて各分野の基礎となる講義も履修します。2年次には、教職に関する科目とそれぞれの専攻に関する科目の学習が本格的に始まります。3年次には、教職に関する科目・専攻に関する科目ともに、1、2年次の学習事項を基に発展的な内容を学びます。ゼミや実験等、研究室での活動が本格化するのもこの時期です。また、秋には附属学校での教育実習があります。理科教育の指導法や技術を生かし、科学的な見方・考え方を生徒に伝える機会となり、それまで学んだことを実践し振り返ります。基本的な内容を教える中で、自らの専門分野の学びを深めることもできます。4年次には、指導教員の下で専門的内容の卒業研究を行います。未知の領域で自ら真理を探究します。

先輩からのメッセージ

理科の教員になるためには物理学、化学、生物学、地学の基礎的な知識が必須になります。本専攻では、1・2年

次には、教育系の授業だけでなく、必修で4分野の実験・概論・演習、そして選択科目で基礎があり、高校で履修していなかった科目であっても基礎的な内容から、大学レベルの内容まで学ぶことができます。3・4年次には、一般的な理系学部と同様に研究室配属が行われ、卒業研究を行います。研究室では専門分野についての知識を深めることや科学的なプロセスに基づいた思考力を身に付けることができます。4年間で4つの分野の幅広い知識と専門分野の深い知識、この両者を身に付けることができるのは本専攻の最大の魅力です。

(植村真勝 4年)



1年次の物理学実験：光学に関する実験のひとつコマ。

特色ある科目

理科専攻入門セミナー、物理学概論、物理学演習、物理学実験、化学概論、化学演習、化学実験、生物学概論、生物学演習、生物学実験、地学概論、地学演習、地学実験



中等教育教員養成課程

音楽



「民族音楽演習」では世界の民族音楽の知識と演奏技術を学びます。

心をつなぐ音楽の力、音楽の深さを伝える。

本専攻では、音楽全般について広く学ぶとともに、各自が1つの領域を選択して専門の内容を深め、それぞれの個性を磨いていきます。音楽に対する深い造詣、高い指導力、幅広い教養を備えた中学校・高等学校教員の養成を目的としています。

4年間の学び

本専攻では、入試において選択した各自の専門分野をより深く学ぶことを通じ、中学校・高等学校音楽科教員として必要な教科の知識と力を養うことを目的としてカリキュラムが組まれています。また1、2年次には自分の専門分野のみではなく、声楽・ピアノ・管弦打楽器・作曲・音楽学・音楽科教育の基礎的な科目も幅広く履修します。更に初年度春学期には音楽専攻入門セミナーとして、4年間の学びに必要となる文献の探し方や楽曲解釈、ピアノの構造や扱い方、発声法、演奏における体の使い方など、適宜外部より専門家を招き学びます。また興味に応じて和楽器・邦楽歌唱法・民族音楽などの科目も選択できます。これらの授業は、内容に応じ少人数のグループレッスンから大人数の合唱・合奏まで多様な形態で行います。3・4年次では教育実習関連の科目を履修し、音楽科教育の理論・実践的な内容を深めます。同時に、各自の専門性を深める科目や、興味に応じた科目を選択していきます。4年次の卒業研究では、卒業演奏や卒業論文に取り組み、大学での学びを総括します。本専攻の特色は、レッスンなど演習を中心とするものが多く、教員との距離が近いことが挙げられます。4年間を通して、音楽の楽しさを実感できることと思います。

先輩からのメッセージ

この学科の魅力の一つは、自己のポテンシャルを発揮できる機会が多くあるところです。私自身、専攻は声楽ですが、指揮のレッスンのピアノ伴奏をしたり、吹奏楽やオーケストラでトランペットを吹いたり、専攻に限らず様々な

場面で得意なことや学びを生かせる環境がそろっています。大学での「学び」とは、これらアウトプットの場も含め自ら行動を起こして得られるものだと思います。その点に関して、学生が主体となって行う自主ゼミの多さも魅力の一つです。自分の好きなことや学びたいことに対して同じ熱量で応えてくれる仲間は、貴重であり大切な存在です。4年間この学科で学べたことは、自分の理想とする教師像に近づくための最良の道であったと思います。
(國元美乃里 2020年度卒業生)



新型コロナウイルス感染症に留意しながら対面での実技授業を行っています。

特色ある科目

音楽専攻入門セミナー、基礎声楽実技Ⅰ、基礎声楽実技Ⅱ、合唱、ソルフェージュⅠ、基礎ピアノ実技Ⅰ、基礎ピアノ実技Ⅱ、基礎管弦打実技Ⅰ、基礎管弦打実技Ⅱ、作曲法Ⅰ、作曲法Ⅱ、指揮法、音楽学概論A、音楽学概論B、音楽学概論C



「ふれる・もつ・かんじる」展 美術棟ギャラリーにおける学生ワークショップ (2019/12/15)

美術。その限りない可能性を追求しよう。

本専攻では、美術科教育学、絵画、彫刻、デザイン、工芸、造形芸術学などの高度で専門的なカリキュラムによって、美術の専門領域での高い指導力と、深い造詣を兼ね備えた中学校の美術や高等学校の美術・工芸の教員養成を行っています。

4年間の学び

1年次には美術のそれぞれの領域の基礎力を養うための必修科目と美術科教育に関する科目を履修して、美術科教育に対する興味、関心及び理解を深めてもらいます。この間に、自分がどの領域に興味や関心が持てるかを探すことが重要です。2年次には1つの領域を選び、必修科目である「美術演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。この授業は美術の専門的な知識や技能を段階的に積み上げていくことが目的となっています。また、それぞれの領域の選択科目を履修することで、教員としての幅広い視野を持つこともできます。3年次には「美術演習Ⅲ・Ⅳ」を履修し、卒業研究を行うために更なるスキルアップをめざします。また、1、2年次に学んだ知識や技能を基盤として教職科目を履修していきます。3年次の後期には附属学校での教育実習があり、今までの成果を生かして授業に取り組みます。4年次には卒業研究に取り組みます。絵画、彫刻、デザイン、工芸、造形芸術学、美術科教育の領域の中で4年間の集大成として相応しい卒業制作及び論文発表を行います。美術の造形活動や理論研究を通じて中学校美術及び高等学校美術科及び工芸科教員としての資質や能力を磨き、創造的な視野を持った教育実践を行えるような人材になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

「正解のない問い」という言葉が学校教育の間でも話題ですが、まさにその力を育むのが美術教育なのだと思います。何を表現するか、どんな風を感じるか、一つの正解がないからこそ、何かを創って、鑑賞するのは楽しいのです…これ以上自分の考えを話すと字数制限を超えるので割愛しますが、とても魅力的で現代には欠かすことのできない分野

だと思っうのです。そんな美術教育を自分の制作や活動を通して深めていくことが、この学科の特徴だと思います。そして制作や実践を繰り返して、4年間で自分なりの「美術観」を育てること。これは教育現場での強みになるだけでなく、自分の人生観にも影響が及びます。美術と人生、切っても切り離せないんです。教育を学ぶことも学校の先生に限った話じゃないんです。学芸を英訳すると liberal arts ですからね。



授業「美術演習Ⅲ」3年生学生作品（ペンダントライト）素材：銅・銀メッキ仕上げ。

（齊藤諒 2020年度卒業生）

特色ある科目

図画工作・美術科と情報、美術科教材論Ⅰ（平面）、美術科教材論Ⅰ（立体）、美術科カリキュラム論、美術専攻入門セミナー、絵画基礎Ⅰ・Ⅱ、彫刻基礎Ⅰ・Ⅱ、デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ、工芸基礎Ⅰ・Ⅱ、西洋美術史概論、日本東洋美術史概論、美術演習Ⅰ、美術演習Ⅱ、美術演習Ⅲ、美術演習Ⅳ、現代美術史概論、美学



中等教育教員養成課程

保健体育



体育・スポーツの歴史について専門的に学び、その知見を保健体育授業へ活かします。

時代を切り拓く保健体育教師をめざす。

本専攻は、中学校および高等学校の保健体育教員の養成を目的としています。学校体育で実施する各運動種目の実技能力を身につける科目、また、実施する側、指導する側両面で必要となるスポーツ科学的思考力を身につけるための授業を通じて、保健体育教員に必要とされる学校現場での指導力の育成をめざします。

4年間の学び

1年次：専門的な体育実技や保健体育分野における基礎学問を学習し、「教職入門」で教職の世界へ第一歩を踏み出します。2年次：「スポーツバイオメカニクス概論」などにより多くの保健体育分野の基礎学問を学習します。また、「運動方法学総論」など運動指導の基礎となる学習や「中等保健体育科教育法」「保健体育科模擬授業演習B」など保健体育の教科教育法の授業を履修することを通して教育実習の準備が始まります。夏季休暇中には、2日間の集中授業で3年次の教育実習の映像を観察する「授業観察演習」があり、翌年の教育実習の具体的なイメージを持つ機会があります。3年次：「保健体育科カリキュラム開発論」「運動部活動指導演習」など教育実習に直接関わる科目を履修し、教育実習の「事前指導」を通じて研究課題を決めていきます。初めての教育実習は附属の中学校、中等教育学校、高等学校などで行います。大学で学んだ知識やスキルを活かして教材研究や授業実践を行う力を高めていきます。実習終了後には「事後指導」で実習の振り返りをし、4年次の選択実習での課題を設定します。4年次：それまでに得た知識や視点からテーマを決め、卒業研究として論文作成と発表を行います。秋学期には4年間の学びの集大成である「教職実践演習」を受講し、社会に出るための最後の準備をします。以上のように、この専攻では体育実技はもちろん保健の授業もしっかり指導できる保健体育教員の指導力育成にも力を入れています。

先輩からのメッセージ

この専攻で行われる実技の授業では、一つの動きに対しても「どこに気をつけたら上手くいくのか」といった問いかけを重ねるため、無意識だった動きに対しても思考する習慣が付き、動きへの理解がぐっと深まります。そ

れにより人に教える際に重要な「動きを言語化する力」が身につく、実技能力と同時に、指導力も高めることができます。

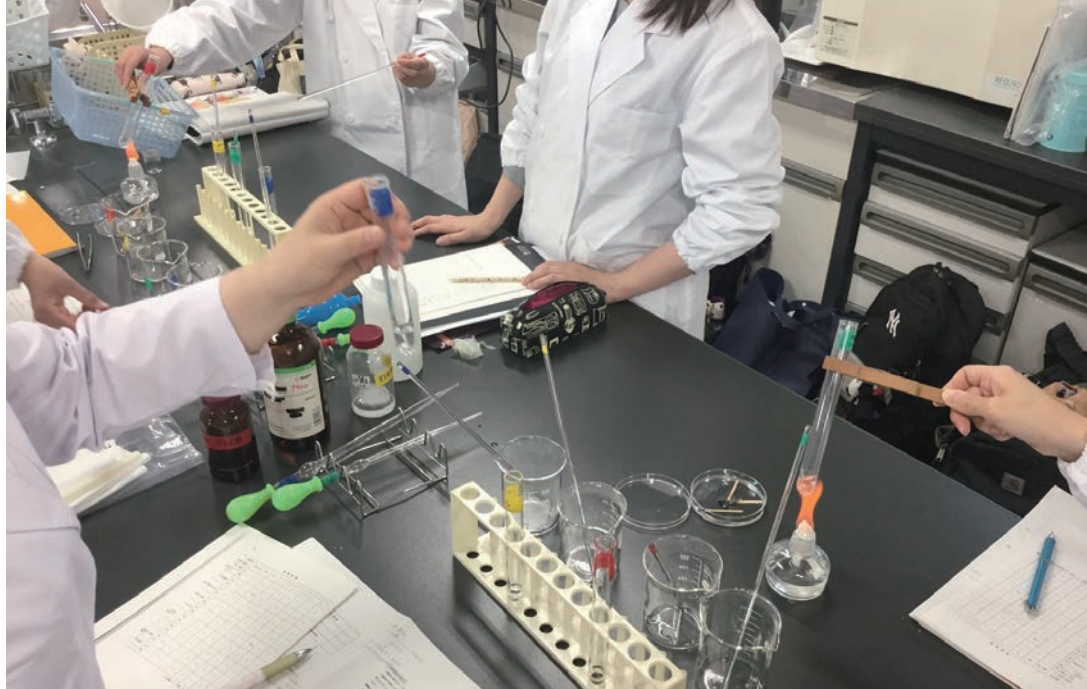
専門的な知識や思考力を身につけることで、より良い保健体育の授業について考えていくことができます。そして、それを模擬授業や教育実習などで実践する機会が多いこともこの専攻の魅力の一つです。同じ教員志望の仲間と意見を交わし、時に議論をすることで、様々な考えに触れることができ、共に学びを深めていくことができます。
(芳賀智江梨 3年)



ソフトボールの技術・戦術の構造を学び、生徒への指導法を考えます。

特色ある科目

保健体育専攻入門セミナー、保健体育科演習、人体解剖生理学、学校保健学概論、衛生・公衆衛生学、体育・スポーツ心理学概論、体育・スポーツ社会学、柔道、剣道、器械運動B、陸上B、水泳B、ダンス、バスケットボールB、サッカーB、ソフトボールB、バレーボール、運動生理学概論、体育原理概論、体育史概論



被服学実験実習Aの1コマ：繊維の性質を調べる実験です。薬品による溶解性

生活を科学し、未来の暮らしを提案しよう。

本専攻は、生活科学に関する高度な専門性と優れた実践力を身につけた中学校・高等学校家庭科教員を育成しています。生活を科学的にとらえ、少子高齢化や消費者問題、食育などの現代的な課題を解決し、未来に向けた新たな暮らしを創る力を養います。

4年間の学び

1年次では、入門セミナーで、大学で学ぶ意義や家庭科教員になる心構えについて理解します。専門科目では、家庭経営、衣、食の基礎を学ぶ科目を履修し、意思決定論、家計、消費者問題、被服学、被服文化含む浴衣の着装)、基礎的縫製技術(被服製作)、食品の調理性や科学的な知識(含む実習)などを学びます。2年次には、教職に関する科目(中等家庭科教育法など)の履修が始まり、3年次にかけて、中学・高等学校での家庭科教育の目的や内容、指導方法について学びます。住居と保育に関する授業も始まり、住居学、安全・快適な住環境、乳幼児の発達や生活(含む保育園実習)について学びます。さらに、詳細な家計の仕組み、栄養素の特性、各ライフステージにおける栄養摂取や生理的变化について実習を交えて学んだり、和服の製作のほか、石けん作りや藍染等から衣生活の科学を理解し、指導者としての知識と技術を身につけます。3年次には、事前指導で授業観察や模擬授業を行った上で、教育実習に臨みます。また、製図や模型製作、保育や衣生活の現代的な課題、生涯生活設計等について学び、家庭科を学ぶ意義や、教材、指導法についても理解を深め、家庭科教員としての専門性を高めます。4年次には卒業研究に取り組みます。家庭科教育学、衣、食、住、生活経営、保育学の各領域を選び、4年間の学びの集大成として論文を仕上げます。

先輩からのメッセージ

私たちを取り巻く環境は経済の発展や科学技術の進歩により常に目まぐるしく変化しており、家族の在り方やライフスタイルもともに変化・多様化しています。そんな流動的な社会の中でより豊かに生きるための力を身につけること

ができるのが家庭科という教科だと思います。

本専攻では食物、被服、住生活、保育、家庭・家族生活、消費生活など多岐にわたる分野の授業が開設されており、それぞれの分野でグループディスカッションや実習、実験を通して幅広く専門的な知識を身に付けることができます。先生方の親身な指導のもとで、家庭科が好きな仲間とともに日常のあらゆる事象について科学的・実践的な探究を積み重ねる4年間は、一生涯の中でもとても貴重で楽しい経験となるでしょう。(中村真子 4年)



被服学実験実習Bの1コマ：染色溶液の酸性度の違いによる染色効果を調べています。

特色ある科目

家庭専攻入門セミナー、家庭経営学、生活設計論、栄養学概論、食物学実験・実習A、食品学概論、住居学、住居設計製図、被服学I、被服学実験・実習A、被服学演習A、児童学I、児童学II、家族関係学、家庭工学、家庭看護学、家庭科と情報、家庭科教材論I、家庭科教材論II、家庭科カリキュラム論



中等教育教員養成課程

技術



木材加工の授業における試作過程を通した 3D プリンターの活用

理論的背景のある創造力を身につけよう。

技術教育学や理学・工学などについての幅広い科目が体系的に配置され、基礎的内容から応用的内容へと段階的に学ぶことができます。中学校技術科および高等学校工業科の教員としての高度な専門能力を有し、自発的に創造できる教員を育てることが目標です。

4年間の学び

1年次には、製図、木材加工、金属加工等の授業を通して、工学的デザイン（設計）プロセスに基づいた設計・試作・製作に関する基礎的な能力を身につけます。これと並行する形で、中学校の技術科教員になるための基礎知識や、数学・物理学・情報工学についての基礎知識に関する学習も行います。2年次には、1年次の学習内容を踏まえ、技術科教員になるため、教科教育学、栽培学、加工学、電気工学、情報工学、機械工学等に関する幅広い知識を習得します。3年次には、2年次の学習内容を発展させ、技術科教員になるための教科教育学や工学について更なる学習を行います。2年次・3年次では座学により各専門科目の基礎事項を学ぶと共に、実験・実習により座学で得た知識の確認を行います。また3年次初頭に、卒業研究のために研究室への配属が行われ、研究室のゼミ等により卒業研究に向けての準備が始まります。3年次の9月には附属学校での教育実習があります。4年次には卒業研究が実施されます。設定した卒業研究の課題に関し、約1年をかけてじっくりと研究します。卒業研究は究極の問題解決型学習です。自主性を発揮して挑んで下さい。技術科特有の問題解決型の学習や卒業研究を通して、自ら課題を発見し、その解決に向けて努力する人になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

技術科では、木材・金属加工等の実習や、電気・プログラミングの実験など実際に手や体を動かす授業がたくさんあります。
私が技術科に入ってよかったと思うことは、身の回りの

困っていること、不便なことに目を向け、より使いやすく、よりよくするにはどうすればよいか考える機会が多くあることです。また、その解決策を見出すために各授業における様々な知識・技能の必要性を、身をもって感じられ、理論と実践の両面から専門性を身に付けられることだと思います。技術科は少人数の学科であるため、わからないこと・困ったことについて先生方からの充実したご指導をいただけるため、中学校技術科・高等学校工業科の教員を目指す人には最適の環境が整っています。

(上口雅史 4年)



栽培の授業では、学内の農園を使って、生物育成に関する作物の栽培活動を行います。～土壌のPH測定～

特色ある科目

技術専攻入門セミナー、工業数学Ⅰ・Ⅱ、工業物理学Ⅰ・Ⅱ、基礎製図、木材加工概論、木材加工Ⅰ・Ⅱ、金属加工Ⅰ・Ⅱ、中等技術科教育法Ⅰ～Ⅳ、職業指導、工業科教育法Ⅰ・Ⅱ、技術・工業と情報、応用情報処理Ⅰ、栽培、電気回路



がっつり英英辞典引いています

英語を学ぶおもしろさや奥深さを伝えよう。

英語教育の理論と実践、英語学、英米文学文化についての多様な科目が体系的に配置され、基礎から高度な専門性へと段階的に学ぶことができます。高度な英語運用能力を有し、英語に関する素養と豊かな人間性を備えた英語教師を育てることが目標です。

4年間の学び

1年次には主に英語運用能力を高めるための科目と、英語学、英米文学文化、英語教育学の基礎を学ぶための科目を履修します。2年次には、教職に関する科目（英語科教育法など）の履修が始まります。これらの科目は3年次も引き続いて履修し、中学生、高校生に英語を学ぶ楽しさを伝え、彼らの英語学習を適切に援助するために必要な知識や指導技術を学びます。授業中にはグループで意見を交わしながら英語教材を作ったり模擬授業を行ったりします。また、英語学や英米文学文化の授業も引き続き履修し、より専門的な内容を学び、英語という言語や英語圏の文化についての教養を深めます。例えば、英語という言語の仕組みや歴史について学んだり、文学や映画を題材に、異文化の成り立ちを読み解く力をつけたりします。3年次には附属学校での教育実習があり、それまでに学んだ知識や技術を生かして実際に中学生、高校生を相手に授業をします。4年次には卒業研究に取り組みます。英語学、英米文学文化、英語教育の3分野の中から1つを選び、自ら決めたテーマのもと、4年間の学びの集大成として英語で卒業論文を書き上げます。また、希望者には4年次にも教育実習の機会が用意されています。学生生活を通して、外国語や外国文化を学ぶことに粘り強く努力し、他者理解に向けて自らを開こうとする人になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

この冊子を手にとっている方の中には先生になりたいという方が多いと思います。本専攻は中高の英語教員になるための最高の環境が整っています。4年間の中で英語教員としての指導力をつけるだけでなく、英語教育の歴史や現状、課題に

ついて学び、考える場が沢山あります。英語だけでなく現在の日本の教育現場が抱える様々な課題について学ぶ機会もあり、教員に必要な資質・能力が鍛え上げられます。

また周りには志高く、真摯に取り組む仲間がおり、先生方は熱心にご指導くださいます。入学時の私は何となく先生になろうかなぐらいの気持ちでした。しかし、先生になるという強い意志をもった仲間の姿や先生のご指導に刺激を受け、今では教職に就きたいと強く思っています。このように、ここでの4年間の学びや出会いはみなさんを大きく成長させてくれるはずです。

（山口詩織 4年）



卒論ゼミで議論白熱

特色ある科目

英語読解、英会話、英作文、英文法演習、英語音声学概論、現代英語学、英語史概論、文法理論、イギリス文化概論、アメリカ文化概論、英米文学概論、英語科と情報、英語科教材論、英語教育の現状と課題、中等英語科教育法、第二言語習得、小学校英語教育概論



中等教育教員養成課程

書道



卒業研究における作品講評会

書について学び、その魅力を伝える。

書の実技、歴史、理論、鑑賞、指導法について、幅広い視点から、深く学ぶことができます。書の歴史や文化、書の表現や教育についての総合的な力を身につけ、高度な専門性と豊かな人間性を備えた高等学校芸術科書道の教員を育てることを目標としています。

4年間の学び

1年次には、書や書写・書道教育の基礎について学ぶ科目、書道実技の技能を高め、書道史についての理解を深める科目、日本文学や中国文学、国語学の基礎を学ぶ科目を履修します。2年次には、書道実技や書道史、書の鑑賞に加え、書道科教育法など、書写・書道教育の理論や指導法について学ぶ科目の履修がはじまります。また、国語の各分野についても、演習の授業を通じてさらに深く学んでいきます。3年次の春学期には、教育実習の事前指導がおこなわれます。秋学期には附属学校での教育実習があり、それまでに学んだ知識や技能を生かして、高等学校芸術科書道や中学校国語科の授業を、実際の生徒を前にしておこないます。また、卒業研究（作品制作と卒業論文）に向け、作品制作や学術研究の方法を学ぶ科目の履修がはじまります。4年次には、卒業研究に取り組みます。卒業研究は、作品制作研究と卒業論文の執筆からなり、4年間の学びの集大成として、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の3分野の作品制作と、書写・書道教育や書学・書道史についての論文執筆をおこないます。授業での学びや、授業外での学書や作品制作を通して、書の文化や歴史、書の表現や教育について、幅広い視点から深く学び、子どもたちや社会に向けて書の魅力を伝えることができる人になってほしいと考えています。

先輩からのメッセージ

本専攻では高等学校の書道の先生になるために必要な理論や技能を学ぶことができます。理論と実技の両面から書道を学ぶことで、書道の様々な魅力を再発見することができます。仮名研究では実際の装丁で作品を提出する

ことで、博物館に展示されている作品の形式とは異なっていたと改めて実感することができました。さらに書写書道教育の理論の学習や模擬授業を通して、生徒に書道の良さや楽しさを伝えるための授業について仲間と共に深く考えることができます。教育実習では実際に生徒に授業を行うことで、多くの課題を見いだすことができました。授業以外では学生主催の展覧会を行います。互いの作品を批評、鑑賞し合うことで多様な表現方法を学習することができます。大学での様々な経験を糧に素敵な教員を目指しませんか。（森適 2020年度卒業生）



漢字研究IIにおける作品制作

特色ある科目

書道科カリキュラム・評価論、書道科教材論Ⅰ／Ⅱ、書鑑賞教育研究、書道史研究Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ、漢字仮名交じり研究Ⅰ／Ⅱ、漢字研究Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ、仮名研究Ⅰ／Ⅱ、中学書写B、中国古典文学概論、中国古典演習A／B、日本文学史Ⅰ／Ⅱ、古典文学演習E～I



特別支援教育教員養成課程

特別支援教育



ゼミの一環として行っている臨床活動の準備。広いスペースで感染対策を行いながら実施しています。

「子どもを支える強い人になる」

障害のある子どもの教育や発達について学べるよう、高い専門性をもつ教員による少人数での指導が行われています。C類の学生は、温かい雰囲気の中で理論と実践を学ぶことができ、卒業後は高い専門性を備えた教師や専門家あるいは研究者として全国で活躍しています。

4年間の学び

【特別支援学校教諭になるなら、東京学芸大学】

C類では、1年生で「特別支援教育概論」などの特別支援教育に関わる基礎的内容を学習するとともに、学校見学などを通じて障害児教育の実践について学びます。2年生以降は聴覚障害、言語障害、発達障害、学習障害の各専攻に分かれて、「指導法」や「心理学」など、それぞれの障害の特性に関するより専門的な内容を学びます。また3年生の秋学期以降は、各研究室のゼミに参加して卒業研究に向けての準備を開始します。さらに春学期の附属学校における教育実習とともに、秋学期には附属特別支援学校や都立ろう学校での教育実習を行い、実践の力を磨いていきます。4年生になると教員採用試験に向けて勉強に励む学生が多く、卒業研究とあわせて忙しい1年を過ごします。卒業時には、小学校教員免許状（小免コースの場合）と特別支援学校教員免許状（聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱の4領域）の2種類の教員免許を取得することができます。学生によっては、中学校や幼稚園の教員免許の取得もめざしている者もいます。C類は卒業に必要とされる単位も多く、近隣の特別支援学校等での教育支援やボランティアに参加することも多いため忙しい4年間となりますが、その分、大学生生活は充実したものとなるでしょう。

先輩からのメッセージ

C類には「聴覚障害」「言語障害」「学習障害」「発達障害」の4つの専攻があり、私は聴覚障害を専攻しています。自分の専攻だけでなく、他専攻の障害や知的障害・肢体不自由・病弱など様々な障害についても幅広く学びます。心理的・病理的な側面から各障害の基礎知識を身に付け、事例

検討や模擬授業などを通して支援や指導の方法を考えていきます。C類の授業は少人数で和気あいあいとした雰囲気なので、活発な意見交換を通じて学びを深められます。研究室でのボランティア活動も充実しており、実際に障害のある子ども達と関わることで実践的な力を高めることができます。1年生から参加できる活動もあり、私も4年間参加して成長を実感しています。ぜひ色々なことにチャレンジしてみてください。（上田実穂 4年）



聴力検査の実習。

特色ある科目

特別支援教育概論、聴覚言語障害心理・生理・病理A、聴覚言語障害心理・生理・病理B、知的障害心理・生理・病理、肢体不自由心理・生理・病理、病弱心理・生理・病理、聴覚言語障害教育学A、聴覚言語障害教育学B、知的障害教育学、肢体不自由教育学、病弱教育学、特別支援教育研究法など。



養護教育教員養成課程

養護教育



附属幼稚園での保健指導の様子

子どもの健康な未来をつくる養護教諭になろう。

子どもの健康支援のエキスパートとなる養護教諭を養成しています。そのために、健康に関する幅広い学問的基礎と養護実践の基礎を学び、実習などを通して実践力を培います。さらに、スクール・ヘルスケアを多角的に捉える視点とマネジメント能力を育みます。

4年間の学び

1年次には、公衆衛生学や生理学など、子供の健康課題を見つけ、対処していくために必要な科目や、学校保健、健康教育、養護教諭の専門科目等の、基礎となる部分を学びます。2年次には、1年次で学んだことをベースに臨床医学・看護学などの科目を履修します。これらの科目は3年次にも引き続いて履修し、養護教諭として健康面から子供のケアをするために必要な、知識や技術を学びます。例えば保健だよりを作成したり、保健指導案とその教材を、グループで意見を交わしながら作成し、実際に幼稚園児の前で指導したりします。また、保健科の免許を取得するための保健科教育法の履修も始まります。3年次には、フィジカルアセスメントや救急処置の理論と演習など、より専門的、実践的な内容を学びます。さらに、附属学校での養護実習があり、それまでに学んだ知識や技術を生かして実際に小中学生を相手に、保健指導や一日保健室経営をする機会があります。加えて病院実習もあり、学校以外の保健や健康サービスの実際について学びます。4年次は、選択で公立小中学校での養護実習、保健科の免許を取得予定の人は保健科実習があります。また4年間の学びの集大成として、自ら決めたテーマのもと卒業論文を書き上げます。学生生活を通して、養護教諭として、健康面から子供のケアに携わる人、学校や子供の健康課題解決のために、知識と技術を活用できる人になって欲しいと考えています。

先輩からのメッセージ

D類養護教育専攻では、教育に関する基礎知識から養護教諭としての専門的知識まで、幅広い分野を段階的に学んでいきます。養護教諭の職務や役割についての理解を深めな

がら、現場で必要な知識・技術を身につけることができます。養護実習の他にも、病院実習や特別支援学校の見学、附属幼稚園や小学校での保健指導の実践など、座学だけでは得られない学びを得られる機会が多くあります。また、少人数制であるため、授業内でディスカッションを行う機会も多く、自分の考えをまとめて伝える力が鍛えられるとともに、他者と意見交換をすることで自分の考えの幅が広がります。親身に指導してくださる先生方と、お互いに高め合える関係の学生が集まっている学科です。ぜひ一緒に養護教諭を目指しましょう。(西谷奈緒子 4年)



フィジカルアセスメントの授業風景 打診の仕方学ぶ

特色ある科目

学校保健基礎セミナー、養護概説、学校安全と危機管理、健康と栄養、人間の性と健康、救急処置の理論と演習、学校看護学理論と演習Ⅰ～Ⅳ、健康教育概説、小児思春期保健学、歯科保健、養護実践学、健康相談活動の理論と方法



Gakugei

教育支援系

コースの特色

教育支援課程《E類》

教育支援専攻

- 50 生涯学習コース
- 52 カウンセリングコース
- 54 ソーシャルワークコース
- 56 多文化共生教育コース
- 58 情報教育コース
- 60 表現教育コース
- 62 生涯スポーツコース



教育を支援するスペシャリストをめざす



教育支援系（課程）の目的

日本の社会や教育は、今、大きな変革期を迎えています。情報化、グローバル化が進む現代社会の中で、教育の課題も複雑化・多様化しています。こうした中で、学校と社会が一体となって教育をすすめていくために、教育マインドと様々な専門性を持つスペシャリストが連携しつつ、教育の営みを幅広く支援していく必要があります。

教育支援課程は、変革期の真ただ中にある教育現場のさまざまなニーズに応えうる人材の育成を目指しています。教育の基礎知識と教育支援の専門知識、さらに協働する力やネットワークを形成する力を習得することを通じて、学校の外部にあって学校現場と協働し、様々な現代的教育課題の解決を支援する意欲と能力を備え、自ら考え行動できる教育支援職を養成することを目的にしています。



東京学芸大学ならではのポイント

教育支援とは、学習者（子どもなど）を支援する場合と教育者を支援する場合の2つを含みます。学びに関わるさまざまな人々へ働きかけ、補助したり、連携したり、協働したりして、教育活動の質を維持・改善する一連の活動を指します。新しい時代の教育は、連携と協働がキーワードです。子どもを地域・社会全体で育むこと、教育を通じた地方創生や地域づくり、教育を支える市民と専門職の育成などといったすべてのことがらに、教育支援は関わります。

東京学芸大学の教育支援課程は、全国の教員養成系大学・学部にも先駆けて初めて設置された、次世代の教育と社会を担う人材養成をめざす課程です。本課程では、学校と連携し協働して教育にたずさわる教育支援職を育てるため、それぞれ学びたい領域や高めたい専門性に応じて、生涯学習、カウンセリング、ソーシャルワーク、多文化共生教育、情報教育、表現教育、生涯スポーツの7コースを設置しました。卒業後、めざす仕事について詳しく知りたい方は、各コースのページをご覧ください。



カリキュラムの特色

それぞれのコースの特色に応じた専門的な学びとともに、教育支援人材として教育の基礎理論と教育支援の専門知識、ならびにチームアプローチ力・協働力・ネットワーク力などの習得を目指したカリキュラムが組まれています。

課程共通科目の「教育支援概論」「教育支援演習」では、教育支援の基礎的な知識の獲得と、チームアプローチ力を育成します。また、様々な教育現場をフィールドにして高度な実践力を身につけるために、コース別選択必修科目として、フィールド系科目が開設されていることも特色のひとつです。さらには、「教育コラボレーション演習」「教育ネットワーク演習」「教育マネジメント演習」など、具体的な教育課題にチームで能動的に取り組み、解決に向けて考えを深め、活動することを通して学ぶ科目も用意されています。



めざす仕事

将来、学校や地域、教育行政、教育関連企業、教育関連非営利組織等の場で教育支援人材として活躍することを期待しています。例えば、子どもや学校を支えるカウンセラーやソーシャルワーカー、生涯学習・社会教育施設職員、教育情報システムの開発者、多文化共生教育に関わる教育支援職員、劇場やイベントなど芸術表現活動に関するスタッフ、スポーツ指導者・関連団体職員、教育・研修関連の民間企業スタッフなどです。

詳しくは、各コースのページを参照してください。

教育支援系（課程）

生涯学習コース 生涯学習サブコース／文化遺産教育サブコース

地域や職場、公民館・図書館・博物館、学校などにおいて互いにつながりあい広がる多彩な市民学習活動を支援する人材、および文化財とその保存に強い興味と関心を持ち、その教育的活用に意欲的な人材の養成を目的としています。

【◆公民館職員 ◆図書館司書・学校司書 ◆博物館学芸員 ◆文化財担当職員など】

カウンセリングコース

学校現場や社会で生じている心の問題に対応するために必要な心理学の理論や方法を学び、専門的な心の支援を実践する力を持った人材の養成を目的としています。

【◆スクールカウンセラー ◆児童相談所児童心理司 ◆家庭裁判所調査官など】

ソーシャルワークコース

社会福祉の専門的知識と技術を持って、学校をはじめとする関連領域の専門家と協働しながら、児童、生徒、家族および関係者に対するソーシャルワークを実践できる専門的な人材の養成を目的としています。

【◆スクールソーシャルワーカー ◆福祉事務所・児童相談所相談員 ◆医療ソーシャルワーカー ◆コミュニティワーカーなど】

多文化共生教育コース 多言語多文化サブコース／地域研究サブコース

グローバル化による多文化共生社会の進展に伴って増加しつつある日本の外国人や在外日本人に対して、学校等と協働して教育上の支援をしたり、海外において様々な教育支援活動をする人材の養成を目的としています。

【◆JICA・ジェトロ等国際機関職員 ◆日本人学校教職員 ◆外国人支援団体等職員 ◆多文化共生教育関連企業など】

情報教育コース

教育の情報化と情報通信技術（ICT）の進展に対応して、情報科学およびICTに関する専門的な知識とスキルをもとに、情報教育や教育の情報化に貢献できる人材の養成を目的としています。

【◆ICTコーディネーター ◆ICT支援員 ◆教育ICT関連企業など】

表現教育コース

芸術表現に関する理論と実践的経験を学び、教育を含む社会的なコミュニケーションの場で応用できる人材の養成を目的としています。

【◆演劇・芸術系ワークショップ・ファシリテーター ◆劇場・文化ホールマネージャー ◆映像・広告等制作管理者など】

生涯スポーツコース

社会の中での多様なスポーツの実践を支え、体力づくり、競技力の向上、健康づくり等を担う専門的な人材の養成を目的としています。

【◆スポーツ指導員 ◆スポーツ関連団体・行政職員 ◆スポーツ教育関連企業など】



教育支援課程

生涯学習



学生企画の地域学習施設における異世代交流カフェ活動

「学び」をつなぐコーディネーターになる。

だれもが学び成長することができる生涯学習社会をめざして、地域や学校などさまざまな場面で、人と人、人とモノ、過去・現在・未来をつなげ、人々の学びあいを支える人を育てます。2年目からは「生涯学習サブコース」と「文化遺産教育サブコース」に分かれ、さらに専門的な力量を培います。

4年間の学び

1年次には、生涯学習をめぐる考え方や現代社会における課題、実際の取り組みなど、基本的なことについて学びます。2年次に進級する際に、「生涯学習サブコース」と「文化遺産教育サブコース」に分かれます。

○生涯学習サブコース

子ども・おとな・高齢者など多様な世代や状況にある学習者の支援、学習活動の組織化、地域教育などについて学びます。また、生涯学習を支える条件や環境整備、法制度、公民館・図書館・博物館などの生涯学習施設、専門職の役割に関しても学んでいきます。3年次からは、「社会教育」「図書館」「博物館」の3つの分野から主専攻・副専攻を選択し、より専門的に学びを深めていきます。4年次には卒業研究に取り組み、卒業論文を執筆します。

○文化遺産教育サブコース

文化遺産の保護・保存とその活用を行っていくために必要な知識と技術が学べます。文化財科学、考古学、保存科学、美術史の4分野を中心に、文化財の調査・研究法、保存・修復法について専門的知識と技術を学んでいきます。3年次の演習を経て、4年次にはそれぞれのテーマを定めて卒業論文を執筆します。

いずれのサブコースも、現場や現物に実際に触れ、自分たちでも実践する能動的な学習方法を多く取り入れています。

先輩からのメッセージ

生涯学習コースでは、社会での学びをつくるための具体的なアクションを学生自らの頭で考えていきます。「社会での学び」とは、たとえば、人が抱える悩みや社会のなかの課題等について、学校でも職場でも家庭でもない社会で、

人と人が共有し、気づきを得るということです。社会での学びをつくるアイデアを学生で寄せ合うだけでなく、実際に講座として行ったり、公民館などの実習に赴き社会での学びの空間を体験するなど、自分の考えや興味のあることをアップデートする機会があることが社会教育の学習の魅力で、地域の人と関わることはとても楽しいです。「社会のすべての人が学び合う」というテーマについて、各専攻分野からとことん考えられる学科です。 (迎琉歌 3年)



考古学実地研究Ⅰの授業。感染予防対策を十分行ったうえで、出土品を実測しています。

特色ある科目

現代社会と生涯学習、生涯学習とキャリア形成、社会教育実習、地域図書館経営論、子ども図書館サービス論、学校図書館サービス特論、生涯学習社会と博物館、博物館学基礎論、博物館実習、文化遺産教育と考古学、文化遺産と保存科学、保存科学実地研究、文化財科学概説、文化財分析化学実験、文化遺産教育フィールド演習

めざす仕事

卒業後は、図書館司書、学校司書、国公立の博物館・美術館等学芸員、公民館主事、社会教育主事、自治体職員などをはじめとして、生涯学習・文化財関係の施設・団体、大学・専門学校等教育機関、教育・研修関連の民間企業、博物館等の展示制作・教育活動支援企業、文化財調査研究機関等さまざまな職場での活躍が期待されています。

6つの分野の詳しい内容や実際の授業の様子については、学芸大ウェブサイト「きみは何を学ぶ 科第1回E類生涯学習」も見てください。

<https://www.u-gakugei.ac.jp/tguweb/gakka/0100.html>



生涯学習コース

生涯学習
サブコース

文化遺産教育
サブコース

社会
教育学

図書館
学

博物館
学

考古学

保存科
学

文化財
科学

株式会社図書館流通センター

中村佳菜子 さん (2020 年度卒業)

私は現在、株式会社図書館流通センターの図書館スタッフとして、港区立麻布図書館で働いています。図書館という施設は、使っている利用者や所蔵している資料がそれぞれ違い、そこには多様な学びが存在しています。そのため、大学で生涯学習について学んだ知識を、利用者の学びの支援に生かしていると考えています。そして、図書館学で座学として得た知識を、実践を通してより豊かにしていきたいと考え、働くからこそ得られる学びを存分に吸収しながら学びたいと思っています。また、図書館流通センターは、図書館のシステムを作成している会社でもあるため、図書館を支える人だけでなく仕組みを現場で学び、さらに図書館学で得た知識を深めていけると考えています。



国立国会図書館

加山菜穂子 さん (2018 年度卒業)

私は現在、国立国会図書館で資料保存専門職員として働いています。破損した所蔵資料の補修を中心に、書庫内の環境管理や資料のデジタル化など多岐にわたる業務に携わっています。中でも補修作業は、資料そのものの物理的・化学的性質に加えて、図書館資料としての利用などの要因を考慮して補修材料・方法を決定していくので、その奥深さを日頃から感じています。大学では保存科学を中心に、博物館学、図書館学の分野を学びました。これらを並行して学習できたことが、文化財の保存とは異なる、図書館における資料保存に興味をもつきっかけとなり、現在の仕事につながっていると思います。常に目の前の資料に真摯に向き合い、更なる知識と技術の深化に努めたいと思います。



株式会社インソース

永原真季 さん (2018 年度卒業)

私は現在、株式会社インソースという、社会人向け研修の企業で営業として働いています。「社会人向け研修」とは、社会人が仕事をする上で必要な心構えやスキルを学ぶ場です。私は営業として、お客様の人材育成を中心とした課題に対して、研修をメインとしたサービスを提案する仕事をしています。研修の内容や進行方法についても、お客様や講師と相談しながら、より効果が高い研修を目指します。大学で生涯学習を学ぶ中で、学ぶ機会は学校教育以外にも数多くあり、自身の生活（仕事・プライベート）を豊かにすることができる意義のあるものだと実感しました。授業や実習で学んだ「学ぶ場のコーディネーター」の視点を活かし、今後もより受講者の役に立つ研修を提案・運営できるよう、努力をしていきます。



帝京大学総合博物館

甲田篤郎 さん (2010 年度卒業)

高校時代に読んだ著作に憧れ、学芸員を夢見て入学した学芸大。考古学・博物館学を中心に幅広い分野を学び、全国のさまざまな博物館や遺跡を見学し、先生や学友と語り合った時間は、仕事で迷ったときにも進むべき方向を教えてくださいました。現在の職場は、大学史や周辺の地域史・自然を扱う常設展示と、教員と学生自らが情報発信する企画展示を通して、教育・研究活動の成果を広く公開する大学博物館です。学芸員として博物館で資料になにを語らせるのか、利用者の持つさまざまな学習課題に博物館の機能を通してどのように応えるのか。いつかゼミ室で議論した問いの答えを、展示や公開講座を通して、利用者である学生や教職員、地域の人びとと共に探し続けていきます。





教育支援課程

カウンセリング



令和3年度1年生全員集合！将来のカウンセラーになる「たまご」たち

心のを聴くカウンセラーになる。

人々の心を支え、心の回復や成長の手助けをするカウンセラーは、学校や地域社会に欠かせない存在となってきています。本コースでは、臨床心理学・カウンセリングを専門として教育と社会に貢献する人材を育てます。悩みや苦しみを抱える人に寄り添い支援する技術をもった専門家になるために学びます。

4年間の学び

カウンセリングコースでは、公認心理師（国家資格）を養成するための学部カリキュラムに基づき、教育を行っていきます。1年次には、臨床心理学概論、心理学概論、教育・学校心理学、発達心理学などの授業を通して、心理学・臨床心理学の基礎を学ぶとともに、心理学統計法など心理学研究に必要な基礎学習を開始します。2年次になると、心理学的支援法、福祉心理学、障害者・障害児心理学などで支援の基礎となる態度を実践的に学ぶとともに、心理学研究法・教育・心理データ解析法などを通して、データ解析・質問紙調査等の技術も学びます。3年次になると、ゼミを選択し、自分の関心の高いテーマによる研究を開始します。さらに公認心理師の職責、心理的アセスメント、健康・医療心理学、精神疾患とその治療、学習・言語心理学など専門的な授業が展開されます。4年次にはこれまで学んできた心理学研究法を用いて1年かけて卒業論文に取り組みながら、心理実習の授業を通して臨床現場の見学実習を行います。このように、カリキュラムは1年次から4年次まで体系的に組み立てられています。臨床心理学を基礎とする支援に関する技術を学ぶとともに、基礎心理学に基づいた研究法の授業も充実しており、「心のを聴くことができること」と「論理的な思考力」とを両立するカリキュラムとなっています。

先輩からのメッセージ

「教えること」とは違う形で子どもの心に寄り添い、一緒に問題を考えたい。悩み、傷ついた方たちが少しでもほっとできる場所をつくりたい。学校や社会の中で、カウ

セリングがどんな役割をもつのかを知りたい。そんな方のためにあるのが、E類カウンセリングコースです。

このコースでは、心理学・カウンセリングとはどういうものか？という基本的な考え方をもとに、演習や事例検討を通じて、教育現場だけでなく医療や福祉など幅広いフィールドにおいて活用できる、カウンセリングの専門的な知識と技能を身につけることができます。4年間の学びを終えた時、きっと多様な視点から物事を捉えられるようになっていくことでしょう。皆さんの入学を心よりお待ちしております。（田辺ゆきの 2020年度卒業生）



遠隔で授業を受けた令和2年度1年生

特色ある科目

公認心理師の職責、心理学概論、臨床心理学概論、心理学研究法、心理学実験、発達心理学、障害者・障害児心理学、心理的アセスメント、心理学的支援法、健康・医療心理学、教育・学校心理学、司法・犯罪心理学、産業・組織心理学、精神疾患とその治療、心理実習など

めざす仕事

カウンセリングコースの学生は、専門家になるために公認心理師（国家資格）などの取得をめざし、次のような仕事で活躍します。

- ・学校（教育委員会）や教育相談所に所属し、不登校、いじめ、発達障害、人間関係の問題等に対して専門的な支援を行うスクールカウンセラー、教育相談所相談員等。
- ・家庭の問題、虐待、非行などの問題に対して、心理学の専門性を活かして支援を行う児童相談所児童心理司・家庭裁判所調査官・法務教官・保護観察官等の公務員。
- ・心身の不調や障害を抱える人に対して、医療機関において臨床心理業務を行う専門職。



面接技法の学習風景

金田桃子 さん

私は、公立の小中学校でスクールカウンセラーをしていました。スクールカウンセラーの仕事は、学習や対人関係で困っている子どもや、保護者・教師からの相談を受けることです。カウンセラーとして、言葉や数で表すことができない子どもの辛さや子どもを育てる大人の苦しみに寄り添い力になれることが、「学校」の中にある心理の専門職としてのやりがいであると感じてきました。大学・大学院時代の、自分自身の「体験を通した」学びが支えになってきたと思います。現在は区の常勤心理職として仕事をしていますが、これまで「学校」で子どもや保護者・教師などの力動を肌で感じてきたことが、自分の原体験となって生きていることを感じています。

(2007年度卒業生)

響江吏子 さん

私は、市の児童家庭課の中にある家庭児童相談室というところで、子育てや児童虐待に関する相談を受ける家庭相談員として働いていました。子どもが安全・安心な環境で育つことをめざして、家族や保育園・学校の先生・地域の人から、時には子ども本人から、相談を受けます。その心配や悩みに耳を傾け、絡み合う問題を整理し、解決の糸口を一緒に探す仕事です。心の痛む人生に多く出会いましたが、大学・大学院で養った、大きく広い視点と、相談者の辛さを受け止める心の力が助けとなりました。現在は、スクールカウンセラーを4年勤めた後、総合病院の児童精神科外来の心理士として働いています。児童福祉分野での経験は、学校でも病院でも、家族背景の深い理解と他職種連携による支援をする上で、役立っています。

(2009年度卒業生)

高橋香織 さん

私は、臨床心理士として総合病院に勤務しています。医師、看護師とチームを組んで入院患者様の心のケアを担当しています。患者様やそのご家族様の治療に関する不安を和らげ、治療に関する意思決定や今後の生活の在り方について一緒に考えていくことが主な仕事です。困難に直面することも多々ありますが、目前の人に誠実に関わり、その方の個性を大切にしながら心理面のサポートをすることなど、学生時代に先生方に教わった多くの事柄がこの私の仕事の支えになっています。患者様の身体の状態が思わしくない時でも、今できることに目を向けることができ、その方らしさを表出できた時、臨床心理士としてのやりがいを感じられます。

(2005年度卒業生)

古賀真理子 さん

私は、家庭裁判所で家庭裁判所調査官という仕事をしています。家庭裁判所は、家庭に関する問題を解決し、非行を起こした少年の処分を決める場所です。家庭裁判所調査官は、心理学等の行動科学の知識を用いて、法律的な視点だけではなく、事件の背後の人間関係や環境等を踏まえて調査を行い、問題解決の手助けをします。家族や少年の変化といった、人が第一歩を踏み出す瞬間に携わることのできる点が仕事のやりがいの1つと感じています。家庭裁判所調査官の仕事をする上では、大学時代に学んだ心理学や面接技法の知識等が基礎となっているほか、教育学や福祉学等の勉強もできる環境で視野を広げられた経験も役立っています。

(2005年度卒業生)



教育支援課程

ソーシャル ワーク



大学での講義や演習とともに、学外での実習や活動などを通して実践力を高めます。

人々のウェルビーイングを増進する。

教育機会を十分に保障されない子どもたちや家庭などを支援するスクールソーシャルワーカーをはじめとして、貧困、病気、障害、虐待など困難な状況に置かれている人々の最善の利益を守れるように支援する社会福祉の専門家を育てます。

4年間の学び

本コースは、人々のウェルビーイングの増進を目指し、ソーシャルワークの専門的知識や技術を持って、教育を初めとする関連領域の専門家と協働しながら、社会正義や人権尊重といった理念を体現できる社会福祉の専門家の養成を目的としています。その目的を達成するために、本コースでは、次のような授業を開設しています。

- 個人、家庭、社会等を理解するための授業
- 社会問題を理解するための授業
- 社会福祉政策・制度を学ぶ授業
- 支援を展開するための知識や技術を学ぶ授業
- 多様な専門職と協働することを学ぶ授業

1年次は社会福祉やソーシャルワークに関する基礎的な事項を学び、2年次以降徐々に専門的知識とソーシャルワーカーとしての基礎的技術を身につけていきます。3年次には2箇所以上の現場実習を行い、実践力を養います。また、5名の教員の研究室に分かれて社会福祉の研究方法を学びます。4年次には、各々の関心領域で卒業研究・論文作成に取り組みます。加えて、スクールソーシャルワーカーを目指す学生はスクールソーシャルワーク実習を行います。4年間を通じて無理なく、着実に社会福祉の専門家としての力を養います。

このコースでは、国家資格の社会福祉士試験受験資格の取得と、日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程修了者の認定を受けることができます。（定員20名。）

先輩からのメッセージ

このコースでは、児童・高齢・医療・障害・地域など様々な

領域の福祉を学びながら、ソーシャルワークを実践する力を養うことが出来ます。1、2年次は主に講義形式で、ソーシャルワークの歴史や社会福祉士としての基礎知識を学習します。3年次には、ソーシャルワーク実習の事前・事後学習として演習形式の授業が充実しており、これまでの学びを「活かす」場面が増えます。少人数のグループワークや自分の興味のある分野を研究することができるゼミでは、自分と向き合い、仲間と共に学べる、楽しくて有意義な学びがあります。社会福祉の分野の知識はもちろんのこと、他者と連携・協働する力や、物事を多角的に捉える力を養うことができるコースです。

（山中鈴乃 4年）



演習の風景：課題の調べ学習や発表を行います。

特色ある科目

ソーシャルワークコース入門セミナー、社会福祉原論、社会福祉演習、ソーシャルワークと教育支援、ソーシャルワークとキャリア形成、スクールソーシャルワーク論、多様な学びと子ども支援

めざす仕事

- 子どもや家庭を支える仕事（スクールソーシャルワーカー、児童養護施設職員、母子生活支援施設職員、児童発達支援センター職員等）
- 福祉政策に基づく制度を構築・運営する仕事（国家公務員・地方公務員）
- 児童相談所や福祉事務所等で公的に支援する仕事（地方公務員）
- 司法に関連して人の権利を擁護する仕事（家庭裁判所調査官、保護観察官等）
- 病気に苦しんでいる人や家庭を支える仕事（医療ソーシャルワーカー等）
- 困難な状況に置かれている人々を支援する仕事（地域包括支援センター職員、特別養護老人ホーム生活相談員、障害者相談支援事業所職員等）
- 地域の福祉を増進する仕事（社会福祉協議会職員、NPO職員等）

至誠学舎立川 至誠大地の家 チャイルドケアワーカー

妙智広大 さん

私の仕事

私は、立川市にある児童養護施設のグループホームにてチャイルドケアワーカーとして働いています。様々な事情から家族と暮らしていくことができない子どもたちと生活をともにし、主に生活家事全般、子どもたちの養育、各関係者との連携を担っており、学習指導や宿直等の業務も行っています。また、その他にも子どもひとりひとりに合わせた自立支援計画の作成を含む自立支援、家族再統合に向けた取り組みや退所児のアフターケア等も行い、子どもたちやその家族の生活を様々な面から支え、支援していく仕事です。



仕事のやりがい

起床から就寝まで子どもたちの日々の生活を支えていく仕事なので、子どもたちの成長を目の前で実感できることが大きなやりがいだと感じています。もちろん子どもたちの年齢や性別、特性等もひとりひとり異なり、時には大きくぶつかることもあるので大変なことも多いですが、その分数多くの成長を見守ることができ、子どもたちが目の前の壁を乗り越えていく姿に力をもらっています。また、季節の行事やお祝い事を大切にしていることもあり、子どもたちに楽しんでもらえるよう職員が一丸となってイベントを企画することも多く、そこで数多くの子どもたちの笑顔が見られるととても嬉しく感じます。

大学の学びとのつながり

大学では講義にてソーシャルワークについて基礎から学び、演習では自分たちで考え抜く力、その考えを伝えていく力を学ぶことができました。実習では福祉の現場で働くということについて考える機会を得ることができ、教授ごとに開かれるゼミにてさらに考えを深めていくことができたと感じています。当時の学びや考えは現在福祉の現場で働く上でも自分自身の基礎となっており、大学4年間で得たものは非常に大きいものだったと思います。



大学での学びを、社会で生かします。

さいたま市役所・福祉課 ケースワーカー

村山有紀 さん

私の仕事

私は現在、区役所の福祉課という生活保護や生活困窮者自立支援事業等を取り扱う部署で、現業員（ケースワーカー）として働いています。仕事内容については、生活保護受給者を対象に、家庭訪問を通して生活状況を把握し、状況に応じて助言を行い、対象の方々が自立した生活を送れるよう支援をしています。また、対象の方々の状況によって他の課、病院、地域包括支援センターや障害者生活支援センターといった関係機関と連携を図り、対応方法や役割分担、援助の方針を検討し、支援に取り組んでいます。



仕事のやりがい

生活保護を必要としていた方が、就労による制度からの自立をされる時は、とてもやりがいを感じる場面だと思います。また、対象となる方々の年齢や生活状況が幅広い分、適切な関係機関と連携することの重要性を日々感じています。生活保護の受給者が、限られた条件のなかで出来るだけ本人の希望が実現できるよう、関係機関で知恵を出し合って方針を決める過程は大変ですが、本人が自立して生活できる体制が整い、受給者から「ありがとうございます」と言っていたときはとても嬉しかったです。

大学の学びとのつながり

大学では、講義や演習でソーシャルワークについて学び、実習を通して実際に現場で働くことについて学ぶことができました。各教授の元に分かれて行われるゼミでは、ソーシャルワークの理論について考え、他の学生とともに自分の理解を深めることができました。4年生の最後に社会福祉士国家試験を受験し、合格することができました。入職し支援を行うにあたって、自分の研究やゼミで学んだことが活かしたことが実感できる場面もあり、大学の4年間で社会福祉の体系について学んだことは社会人になっても役立っていると思います。



教育支援課程

多文化 共生教育



インドで、少数民族を対象としたシュタイナー教育の研修を受けました

グローバル時代を生き抜く力を磨き、共に世界を変えよう。

ボーダーレス化が進み、世界規模でヒト・モノ・通貨・情報が流動し、不安定で見通しの立たない現代社会。こうした時代に対応し、国の内外を超えて積極的にさまざまな人と交流しながら、新しい社会と教育を構築していく人材を育てます。社会や価値観の急激な変化を乗り越えさせる、基礎体力と発想力・想像力を共に鍛えましょう！

4年間の学び

このコースの特徴は①様々な分野で活躍する教員が幅広く学びを提供することのできる少人数での指導体制、②生きた言語を学ぶことができる多様な語学教育、③体験を通じて学ぶための学内外での実践活動を提供・奨励していること、などです。教員の専門は社会学、文化人類学、民俗学、人文地理学、国際政治学など、研究テーマはアジアや欧米の歴史・地理・言語・文学・思想・人権教育・マイノリティ問題などときわめて多様です。

①に関して、希望者は1年次からゼミに参加でき、教員が推進しているいろいろな研究フィールド（プロジェクト）で活動することができます。3年次には全員がゼミに所属し、卒業研究に向けた丁寧な指導を受けることになります。②に関しては、ネイティブによる授業や、外国語で発表する授業が用意されていますので、実践的な言語を幅広く学ぶことができます。またカリキュラム外で外国語の勉強会も開かれています。こうしたことに刺激され、1年生のときから海外に語学研修に行ったり、海外の大学のサマースクールに参加したりする学生も少なくありません。③では多文化共生教育に関わる現場を訪問する実習の授業も用意されていますが、この他に本コースの教員のネットワークを活かした海外研修や、国内でのボランティア活動にも参加できます。

なお、多言語多文化サブコースでは英語科の教員免許が、地域研究サブコースでは社会科の教員免許等が取得できます。

先輩からのメッセージ

私は2年次に韓国に1年間交換留学しました。留学中、世界中から来た学生と共に学ぶにつれ、多文化社会に興味を沸き、4年次には香港に2度目の交換留学をしました。香港では多文化社会のリアルな姿に加え、大規模な民主

化運動も目撃し、強い刺激を受けました。5年間の学び・経験は、自分の考えや価値観を絶えずアップデートさせ、視野を広げました。卒業後は学びをさらに深化させるため、英国のヨーク大学大学院に進学予定です。多文化共生教育コースの強みは、自分の興味・関心次第で自由に学びをデザインできることと、常に仲間と切磋琢磨できることです。皆さんもこのコースの多様で枠にとらわれない学びを通してやりたいことに挑戦し続け、多くのことを経験し、自分の視野を広げてみませんか？

(影澤桃子 2020年度卒業生)



国際親善フットサル大会では十数カ国からの留学生と交流します

特色ある科目

多文化共生教育とキャリア形成、生態民俗論、多文化共生論概説、異文化理解教育演習、フィールドワーク方法論演習、異文化コミュニケーション演習、日本語教育演習、多文化共生教育支援実践演習 A・B、英語応用 I～IV、初習外国語入門 I・II、初習外国語応用 I・II、初習外国語実践 I・II など

めざす仕事

JICA・JETRO・国際連合等の国際機関の職員 国内外で多様な支援活動をしている NGO・NPO の職員 異文化理解の力をもつ英語科教員・社会科教員 日本の在外公館職員 他国の在日公館職員 外国人集住地域の自治体職員・国際交流協会職員 日本人学校等の在外教育施設の教職員 海外子女教育振興財団の職員 ジャーナリスト 語学を生かした旅行・観光関係サービス業 教育・学習支援業 国内・海外の各種メディア関連業 多文化共生社会の構築をめざす社会福祉事業・介護事業

多文化共生教育コースの多様な学び

多文化共生教育コースでは、日本や外国について、文化や言語、考え方など様々な観点から学ぶことができます。交換留学制度を利用して海外で学ぶ学生も多くいます。



アスワン大学日本語学科の皆さんとの交流

このコースでは、国内外様々な場所で活躍すべく、各々が興味を持った分野で学びを深めています。私自身はエジプト自主研修を企画し、日本人学校訪問やアスワン大学日本語学科の学生・国際交流基金の日本語学習者の皆さんとの交流、JICA の方々にお話を伺うことができました。現地の人と文化や言葉の壁を越えて心と心を通わせることができ、海外子女教育の現状や課題についてより具体的な知見を深めることもできました。あらゆる情報が手に入る今だからこそ、実際に訪れなければ分からないことの多さに改めて気づかされました。(川村 渉 3年)

多文化共生教育コースは、グローバルな世界で活躍するための知識や経験、多様な視点を得ることができるコースです。私は、本コースに関わる大学の授業やフィールドワークを通して沢山のひとと出会い、異なる文化や価値観を知ることに関心を持ちました。2ヵ月

半の夏休みを活用した海外旅行・語学留学、韓国で日中韓の学生と共に学ぶキャンパスアジアプログラム、オーストラリアへの交換留学を通して、積極的に人と関わり、結果的に自身を大きく成長させることができたと感じています。このコースには、自分から行動し挑戦していく姿勢があれば、それを実現できる制度があり、応援してくれる先生方が沢山いらっしゃいます。是非、それを活用し、自分の可能性を広げてみてください！



(高木里沙 2020年度卒業生)

高校の卒業式、担任の先生が配った最後の学級通信にこんなメッセージを記してくれたのを今でも憶えています。

“大学に行くとは、……「立ち止まる自由」を得るためである”
私は多文化共生教育コースの授業やゼミで先生や他の学生と議論を重ねる中で、物事を何度も立ち止まって考えました。「社会の当たり前前って本当に“当たり前”なの？」といった学問的なことから、「本当に興味があることは何か」「どうすればもっと学べるか」といった自分自身のことまで。時間をかけて得たこのコースでの学びは、今の私の物事の見方考え方を支える血肉に、そして結果的に自身の将来や行く末を考える道標になったと確信しています。大学は自分の「好き」や「面白い」に向き合い、学問を通してじっくり探求できる豊かなこのコースであり時間です。時に立ち止まったり、回り道をしながら、是非皆さんの世界を広げてみてください。(須賀美和子 2020年度卒業生)

こんなところでも学んできました

オーストラリアのキャンベラ大学で日本とは違う時間の流れを体感しました。(宗崎響子 4年生)



フランスのオルレアン大学でフランスの海外植民地の歴史、結婚制度、教育制度を学びました。(中山ロサレス聖彦 2020年度卒業生)



フィリピン教育大学で、現地の学生と文化継承や少数民族の文化保護について考えました。(永田葉奈 4年生)





教育支援課程

情報教育



コンピュータを用いた授業の様子

情報を科学し、未来を切り拓く。

新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増している社会で生き、そして社会を創っていくための力を育てる情報教育と、教育効果をさらに向上させるために情報通信技術（ICT）の教育への活用が求められています。これらの教育を学校の内と外から支える人を育てます。

4年間の学び

情報教育コースでは、1年次にA類情報教育選修の学生と共に計算機システムの仕組み、プログラミングやアルゴリズム、情報工学・情報科学の基礎となる数学を学び、2年次以降、オペレーティングシステム、データベース、計算機ハードウェア、ネットワークシステムなど専門的な内容を学んでいきます。これらの専門科目は高校情報の免許科目にも指定されています。高校情報の免許を取得したい場合は、これらの科目と合わせて課程共通で置かれている免許取得のための科目や情報科教育法を履修します。

加えて、学校現場と協働して様々な現代的教育課題の解決を支援できる人材を養成する教育支援課程の目的にそって、E類の他のコースの学生と共に教育支援の基本知識と方法論を学びつつ、情報教育と教育でのICT活用の支援について学びます。

3年次からは研究室に所属し、研究室それぞれの専門分野を学んで、4年次には卒業研究に取り組みます。研究室にはA類情報教育選修の学生と共に所属しますので、小学校教育に触れる機会も多くあります。

先輩からのメッセージ

教育のICT化で大きな変革がもたらされている渦中、本コースではICTの視点から、教育をどう支援できるかを探求しています。講義では教育系科目や情報工学・情報科学の基礎を学んでいきますが、その内容は他大学の情報系学科と同等のものであったと感じます。また、高校情報の免許が取得可能で、教育とICTのどちらも学びたい人にとっては最高の環境が与えられています。私は3年次に教育ア

プリを開発する講義を受講しました。情報通信技術はもちろんのこと、チーム活動を経て協調性・主体性を養うことができました。開発は試行錯誤の連続でしたが、アプリが完成した時の感動は忘れられません！ぜひ、向上心溢れる仲間と共に教育とICTの造詣を深め、大きく成長しませんか。

(久保徹朗 4年)



プログラミング教育の支援風景

特色ある科目

ソフトウェアシステムと教育支援、教育情報化支援教材論、情報教育とICT活用支援、情報社会と教育支援、情報教育フィールドワーク演習、情報科教育法、計算機システム概説、プログラミング、応用プログラミング、計算機ハードウェア、オペレーティングシステム、データベース、ネットワークシステム、HCI、知識処理、情報数学、数値計算、オートマトンと形式言語、情報システム設計

めざす仕事

- 最先端の ICT を活用した情報通信システムや教育用ソフトウェア、デジタル教材を開発し、学校の外から教育を支援する仕事（Yahoo、電通国際情報サービス、ソニー、サイバーエージェント、KDDI 等に就職しています）
- 教育現場における情報教育や ICT 活用を支援、指導する仕事（ICT コーディネータ、ICT 支援員等）
- 高等学校の情報科教員
- これからの情報教育や教育への ICT 活用を担う教育者を育てる仕事（大学院進学後に大学教員、企業研究者等）
※大学院は、教育支援協働実践開発専攻教育 AI 研究プログラムと、教育実践専門職高度化専攻情報教育サブコース（教職大学院）が主な学内進学先となります。

株式会社 電通国際情報サービス

山田侑樹 さん (2018 年度卒業・2020 年度大学院修士課程修了)

私は 2015 年に E 類情報教育コースに入学、2019 年に卒業し、大学院の修士課程に進学、2021 年 3 月に修了しました。現在は、一般企業の技術職として働いています。

振り返ると大学入学当時私は教員になることを考えていました。そこから一般企業への就職を考えるようになったのは研究室配属があった学部 3 年生になった頃でした。自分の考えが変化していった背景には間違いなく情報教育コースでの学びがあります。

情報教育コースの 4 年間のカリキュラムは教育、教育支援の講義に加え、情報教育、情報科学の基礎科目から専門的な科目まで幅広く開設されており、非常にしっかりと設計されています。教育支援の観点からはチームで物事や問題に対応していくことを多く学び・経験し、情報教育、情報科学について専門的に学んでいく間に、チームで物事に取り組むことや専門分野を学ぶことの面白さに気づかされました。そのような学びや経験から技術職などに興味を持つようになりました。そしてまだまだ知らないことが多いと考え大学院への進学を決意しました。大学院での学びはほとんどが研究室での活動でした。この研究室活動が充実している点も情報教育コースの強みだと思います。研究室のゼミを通して教授や先輩、同期、後輩と関わりながら自身の研究を進めることは、自分にとってとても貴重な経験でした。

これから学びを深める後輩にも、情報教育コースでの学びや経験が素晴らしい学生生活の一部になることを応援しています。



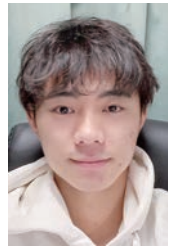
東京学芸大学 教育学研究科 教育支援協働実践開発専攻 教育 AI 研究プログラム

浅野耀介 さん (2020 年度卒業)

僕は、大学入学前にプログラミングの経験は一切ありませんでしたが、1 年生のプログラミングの学習を機に動くものを作成することに興味を持ち、プログラミングにハマっていきました。2 年生では、OS（オペレーティングシステム）や DB（データベース）などのソフトウェアに関する知識を、3 年生になると研究室に配属され、より専門的な内容の知識を獲得できました。3 年生の授業で深く自分に残っている授業として、システムプログラミングという web アプリケーションをチームで作成する授業があるのですが、この経験を学生でできるのは貴重だと感じましたし、エンジニアとしての強さを磨いてくれたと思います。

ここまで情報技術を学べたことばかり述べましたが、教育に関することが疎かなわけではありません。高校の情報の免許を取得することもできますし、教育支援者として、学校の先生や他の支援職の人と協働し学校の教育を作っていくことを学び、それに必要なスキルを獲得できました。

3 年生の頃から、大学院への進学を考え始めました。きっかけは、高い技術を持った大学院の先輩に憧れを持ったことで、自分もたくさんの技術を獲得し、それを役に立てるスキルを身につけたいと感じました。AI という言葉をよく耳にするようになり、AI 技術が使えるようにならなくてはいけない、目の前に機会があるのならばやるべきだと思い入学を決意しました。技術を活用し、教育現場に協働できる人間になるようこれからも精進します。



情報教育コースの目指すところ

ICT の発展と社会への浸透に伴い、教育においても情報化への対応が必須となってきています。次期学習指導要領では、情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力として位置付けており、今後情報教育はますます重要になってくると思います。高校の普通教科情報は大きく構成が変わり、その内容を専門的に学んだ教師が必要になってくるはずで、また、教師による ICT 機器の活用に加え、情報教育を円滑に行うためにも、児童生徒による ICT 機器の活用を日々の学びの中で行うことが求められてきます。これらの教育の情報化をより推進していくためには、児童生徒の発達や

学校文化に合った情報システムや、教育的にもソフトウェアとしても完成度が高いデジタル教材の存在が重要になります。そのため IT 系企業では教育の知見を持った、教材開発企業では情報通信技術を持った人材を求めようになっています。さらに加えてますます重要になってくる人材が、教育と情報通信技術の両方の知見を有し、教師や他の教育支援者と協働して子どもたちの学びを作り上げていく人材（教育×ICT 支援人材）です。情報教育コースでは、これら三つの職種の人材、そしてそれらの分野を支える研究者を育てることを目標としています。



教育支援課程

表現教育



演劇、ダンス、音楽、映像、デザインなどさまざまな芸術ジャンルを複合的に学びます。

多様な表現活動を知り、教育の場を支援する。

高度情報化社会といわれる現代においてこそ、人と人が直接向き合うことの重要性が見直されています。このコースでは、さまざまな表現活動の学びを通じて、高いコミュニケーション能力を身につけ、教育の場を支援していくことのできる人を育てます。

4年間の学び

ライフスタイルが多様化した社会の中では、ひとりひとりが主体性を発揮しながら互いの個性を尊重して協働し、それぞれの想像力を生かすことが求められています。創造的なアイデアを提案し、他者にそれを理解してもらい、社会の中でいかにそれを実現していくかについて、芸術表現活動の実践や研究を通して学ぶとともに、そうした実践・研究を教育の場に生かす方法について学ぶことがこのコースの目標です。

このコースには、演劇表現、音楽表現、造形表現、身体表現、映像表現や言語表現について研究している専任教員が所属しており、それぞれの専門分野に関する講義や演習を行います。1年次秋学期に開設される必修科目は、表現教育コースにおける学びの土台となるものです。ここでは様々な芸術表現活動の基礎について学ぶとともに、それらを広く教育の場に応用する方法を考えます。

2年次・3年次には、コース科目から各自の興味・関心に合わせたものを選択し、芸術表現活動のそれぞれの分野についてより専門的な事柄を学びます。また、3年次からは専任教員のいずれかのゼミに所属し、研究・実践を積み重ねます。

4年次には、コース科目から各自の興味・関心に合わせたものを選択し、芸術表現活動のそれぞれの分野についての学びを深めるとともに、大学での学びの集大成として「卒業論文」を執筆します。

先輩からのメッセージ

「表現教育」とは何か。実は明確な定義はありません。4年間の学びを通して自分なりの答えを見つける、新しい学問に向き合う大学生活がここにはあります。

表現教育コースでは、教育支援に関する内容と共に、演劇・映像・音楽・アート・パフォーマンスといった芸術表現について幅広く学びます。

教育支援と芸術表現を同時に探究することで、学校にとどまらない教育と芸術の新しい関わり方や、社会・人々との繋がりについて考えを深め、実践することができます。

そしてここに集まる仲間は、芸術に魅せられたという共通点はあれど、興味も経験も実に様々。個性豊かなメンバーと刺激し合うことで、新しい価値観を得て成長できる場です。個性を、それぞれの表現を認め合い、自分らしくいられる場所で芸術と教育を考える。「表現教育」の答えを探していく。それが表現教育コースです。 (小出明日香 4年)



インプロ研究ではさまざまな即興表現を学びます。

特色ある科目

演劇と社会、映像リテラシー教育概説、音楽表現教育論、コミュニケーション・デザイン概説、コミュニケーション教育概説、パフォーマンス研究、インプロ研究、視覚文化研究、英米戯曲分析演習、日本戯曲分析演習、芸術教育基礎演習、映像芸術分析演習、舞台表現実践演習、演劇教育実践演習、ワークショップ実践演習、芸術家と教育支援、表現教育とキャリア形成

めざす仕事

表現教育コースの学生の進路は、芸術表現を活用した教育を支援する仕事（教育現場における「演劇」や「表現」などの授業を支援するファシリテーター等）、芸術表現活動に関する知識と実践力を活用して学校と学校外の組織とを連携する仕事（劇場、美術館、地方自治体等）、芸術表現活動を支援する仕事（文化財団、劇場、ホール、イベント関係の団体や企業等）、芸術表現活動の振興にかかわる仕事（芸術文化振興団体、広告代理店、出版社、メディア関連企業等）等、さまざまな場での活躍が期待されています。

ブレンバンク株式会社

宮崎紗也香 さん

教育に関する問題、現状や芸術表現について幅広く学びました。ジェンダーについても授業で学び、女性であっても活躍できる会社を探したいという思いで就職活動しました。芸術作品を多面的に分析する姿勢や、教育現場の問題などを知ったことで、物事を見る姿勢や自分の生き方を改めて考えることができたのです。この大学で学んだことで、子どもたちの将来に関わりたい、役に立ちたいという思いが生まれました。色々な会社を見ましたが、女性でも長く働けることができる教育系の会社を探しました。教育に対する思い、自分の生き方についてたくさん伝えたことで、女性でも活躍しやすい環境が整っている会社に就職することができました。この会社で進路指導のプロになり、様々な教育事業に関わりたいです。

東京メトロポリタンテレビジョン
(TOKYO MX)

大浦愛里乙 さん

芸術も教育もひとつの切り口からでは語れませんが、その中でも自分の携わりたい切り口を見つけ、また、友人や先輩後輩のまた別の切り口にも触れ合えるのがこのコースの素敵どころだと思います。幅広い視野と、個性豊かな仲間が得られるのは自分の人生にとって大きな財産になります。自分のやりたいことを胸張って追い求めて、それぞれの形で社会の中に羽ばたいてください！

デジタルエージェンシー

安東咲 さん

感動とは何か。美しいから感動するんじゃない。怒りでもいい。心が震える事が感動だ。自分にとって心が震える事とは何か。粗削りでいいからとにかくやってみる。最初から完璧なわけがない。そんな4年間を過ごしました。ここは学ぶ事が多いです。自分が貪欲であれば。

画家

高橋つばさ さん

芸術も、教育も、すぐには答えの出ないもので、それを追いかけ続けることは時に、かっこよいことには見られないかもしれません。けれど大学は、それを追いかけ続けるタフネスというか平気さを培う場所であってほしいと思っています。



ワークショップのファシリテーションも学びます。

イベント・スタジオ企画運営

石川真由子 さん

東北各地を中心に音楽イベントの企画運営、スタジオ運営をしております hanauta 主宰の石川真由子と申します。演奏会は演奏家と場所とそこに集う人との関係性で成り立つ空間です。音楽やアート空間の演出にはその瞬時の把握能力や、バランス感覚がとても重要になってきます。様々な芸術分野の領域を横断したこの学科での試みや学びは、あらゆる企画のコーディネートや空間づくりにとても役立っております。学生時代からの遊びの延長のような一続きの日々ですので、思い切り挑戦しながら未来へつながる学生生活をお送りください。

アパレル勤務

三池友理子 さん

表現教育コースは、幼い頃から舞台が好きで、表現・芸術を全般的に学びたかった私にとってとても理想的な場所でした。表現とは奥が深く幅も広く、自分の興味が持てる場所を広げてくれるものだけというのを知り、今まで知り得なかった多くのことに挑戦し、活動しました。学芸大学の中でも専攻の幅が広い本コースでは、多ジャンルから自分が好きなことを見つけることが出来、実践できる場所です。自分が学びたいことがはっきりと定まっていなくても、多くの芸術に触れ、さらに教育という観点からも芸術を学ぶことで、具体的な将来の目標を見出すことが出来るはずですよ。それ故に就職先が幅広いということも魅力です。本コースにいるからには大学生活という将来を見定めるこの大切な時間に、多くの場所に足を運び、多くの芸術に触れ、多くのことに挑戦し、自分のやりがいを見つけて欲しいと思っています。

クラシックバレエ講師

谷添(旧姓福田)紗千 さん

クラシックバレエ講師をさせていただいております。大学時代はとにかく踊ってばかりの4年間でしたが、とことん踊りと自分と向き合わせていただいて今の自分があります。とてもとても貴重な日々でした。皆様が毎日楽しく充実して過ごせますよう、応援しています。



教育支援課程

生涯 スポーツ



スポーツを自ら実践・指導できるスペシャリストの養成を目指しています。

支えよう、健康とスポーツ。

本コースでは、運動・スポーツを中心として地域、学校、家庭の連携を実現していただける教育支援のコーディネート力と運動指導力を備えた人材の育成を目指します。

4年間の学び

本コースでは、スポーツが得意でスポーツ教育に興味・関心のある人たち、健康づくり・子どもの外遊び・スポーツの支援活動に関心をもっている人たち、運動が苦手な子どもたちへの支援に関心をもっている人たちにとって大切なことが学べます。

1年・2年次には広く教育支援、また学校スポーツ、生涯スポーツ、体育科教育学、スポーツ科学、健康科学、運動・スポーツ指導などについて基礎理論を学びます。2年・3年次では演習や実習形式の授業が徐々に多くなり、実験や指導の実践を通して実用的な知識や技能を習得することができます。また、2年次には体育科教育学、体育学、運動学、健康科学のいずれかの分野の研究室に所属します。3年次からは自分が所属した研究室の活動や指導教員との関わりの中で専門的な知識や技能を習得できます。4年次には研究室の教員の指導の下で科学的な卒業論文の執筆に取り組みます。

また、本コースでは追加して単位を修得する事で中学校・高等学校の保健体育科教員の免許を取得できます。ただし、教員免許取得は必須ではありません。

先輩からのメッセージ

みなさんはスポーツの楽しさは何だと思えますか。私は、「できないことができるようになること」だと考えます。将来的にスポーツ指導に関わる際、スポーツの楽しさを伝えることができれば、これほど喜ばしいことはないでしょう。本コースでは、その方法を実践的に学ぶことが可能です。さらに、運動生理学やスポーツマネジメントなど、多岐にわたって学びを深めることで、スポーツの

楽しさを様々な角度からとらえられるようになります。私は、そのような学びを部活動やスポーツの場で実践し、振り返ることが大切だと考えます。自らが実践することで、「できないことができるようになること」を、身をもって体験できるからです。みなさんもスポーツの楽しさを探してみてください。
(太田隆喜 4年)



各種スポーツに加え、武道も実践できるカリキュラム構成になっています。

特色ある科目

生涯スポーツコース入門セミナー、生涯スポーツとキャリア形成、学校スポーツ支援論、学校スポーツ支援演習、健康支援論、健康支援演習、学校スポーツと教育支援、生涯スポーツと教育支援、生涯スポーツ支援研究演習

めざす仕事

- ・学校の運動部活動を学外から支援したり、運動会などをサポートする仕事
- ・体育授業に適應できない身体条件・運動能力の児童や、体育指導が得意でない教員を支援する仕事
- ・地域における健康問題やスポーツの活性化を支援する仕事
- ・ナショナルレベルのスポーツ振興について企画・運営する仕事
- ・野外教育施設でレクリエーションスポーツ、キャンプなどの指導に携わる仕事
(スポーツ指導員、スポーツ関連団体・企業職員、学校体育支援 NPO 職員、スポーツ行政等従事者、自然の家職員など)

NPO 法人はちきた SC 代表理事

紙本諭 さん

仕事と大学での学びのつながり

在学中にドイツの総合型地域スポーツクラブの映像をみて、平日から大人がサッカーやビールを楽しみ、子どもも大人もスポーツを通じて楽しそうに交流している姿をみて、私は一瞬で心を奪われました。そしてこの環境を日本に作りたくて卒業後1から総合型地域スポーツクラブを作り始めました。

スポーツ指導をする上で、スポーツ心理学やスポーツ生理学を学んだことは、非常に役に立っていると感じています。また、経営をしていく上では大学で学んだパソコンスキルやスポーツ心理学に基づいたコミュニケーションスキルに非常に助けられています。さらに、さまざまな活動の中で同じ大学のOBと出会うことも多く、年が離れていてもすぐに親近感・信頼感を得られることも大きなメリットです。とにかく大学で学べることは社会で役に立つ事ばかりであると実感しています。



トレーニングコーチ (部活身体塾・代表)

塩多雅矢 さん

仕事内容と大学の学びとの接点

私の仕事は中学・高校の部活動でのトレーニング指導です。東京学芸大学でも、2つの部活動サポートと、非常勤講師として授業を担当しています。トレーニングの知識は、大学時代にインターンで通った施設で学びました。その礎は、大学の授業で得た知識でした。卒業論文は、私にとって実践と研究の結びつきを経験する最良の場でした。



人体の持久力を測り、科学的に分析する授業も用意されています。

やりがいと大学の学びとの接点

ある年、サポートする高校野球部の敗戦から、学校教育の一環としての部活動の価値を学びました。それ以降の私のやりがいは、勝利や技術の上達だけでなく、返事や挨拶などの社会的な面も含まれるようになりました。重ねて、大学での教育面の学びが、私の喜びと接点があることに気が付きました。

最後に

大学で学んだ2つの柱は「体」と「教育」でした。当時は気が付かなかった教育までも、今の私の仕事の礎になっています。無駄な学びなど1つありません。

株式会社 読売巨人軍 ジャイアンツ アカデミー (コーチ)

岩瀬仁美 さん

現在、幼児・小学生に野球を教えるという野球のスクール活動や、小学校や幼稚園に訪問をするなど野球振興事業に携わる仕事をしています。大学では、授業の中で実際に自分たちが「子ども×教育支援×スポーツ」をテーマに附属の小学生と学校外で交流するという実習がありました。

子どもの目線になりどうしたら楽しく遊んでくれるか仲間と話し合いながら遊びを考えました。授業を通して、子どもたちと遊びフィードバックをし、遊びを工夫してまた子どもと遊ぶという過程にやりがいを感じ「子ども×教育支援×スポーツ」といった仕事がしたいと感じるようになりました。

今の仕事は「野球×幼児・小学生」という野球振興事業の仕事ですが、子どものことを考えて様々な工夫することは大学で学んだことが活かされていると実感しています。

また学芸大の学生は全国各地から学びにきているので、自分の知らないことを学ぶ機会が多いです。そういった機会も大学生ならではのことだと思うので、様々な人と関わる場を自分から積極的につくってほしいと思います。



卒業後の進路

東京学芸大学の卒業生の多くは、学校の教員になっています。小学校教員が多いのですが、それ以外にも中学校・高等学校・特別支援学校などの教員となって全国各地で活躍しています。さらに専門性や実践力を高めてから教員になりたいと、大学院に進学する人もいます。

また、教員のほか、大学で学んだ専門性を活かして、学芸員や司書、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー、企業、団体職員や公務員などの広く教育を支援する仕事についています。

◎ 2020年3月卒業生就職・進学状況【2020年9月30日現在】

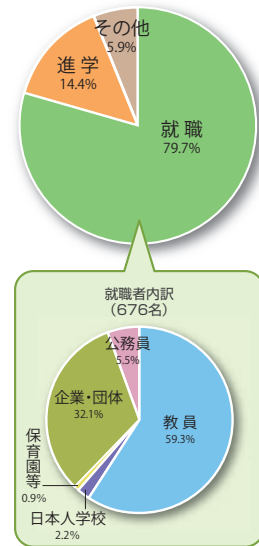
※留学生及び前年9月卒業生は除く

学校教育系 旧教育系

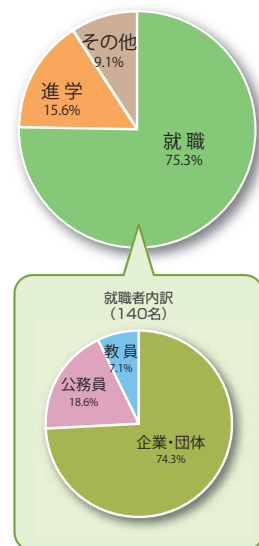
(人)

進路先		課程	初等教育 教員養成課程 (A類)	中等教育 教員養成課程 (B類)	特別支援教育 教員養成課程 (C類)	養護教育 教員養成課程 (D類)	合計
教員 (非常勤含む)	幼稚園		13	0	0	0	13
	小学校・義務教育学校		208	18	10	4	240
	中学校・中等教育学校		32	35	0	4	71
	高等学校		27	37	0	0	64
	特別支援学校		1	0	12	0	13
	教員小計		281	90	22	8	401
日本人学校			13	1	1	0	15
保育園等			6	0	0	0	6
企業・団体			140	67	9	1	217
公務員			23	12	2	0	37
進学			65	50	4	3	122
その他			31	17	2	0	50
小計			278	147	18	4	447
計			559	237	40	12	848

学校教育系・旧教育系 (848名)



教育支援系・旧教養系 (186名)

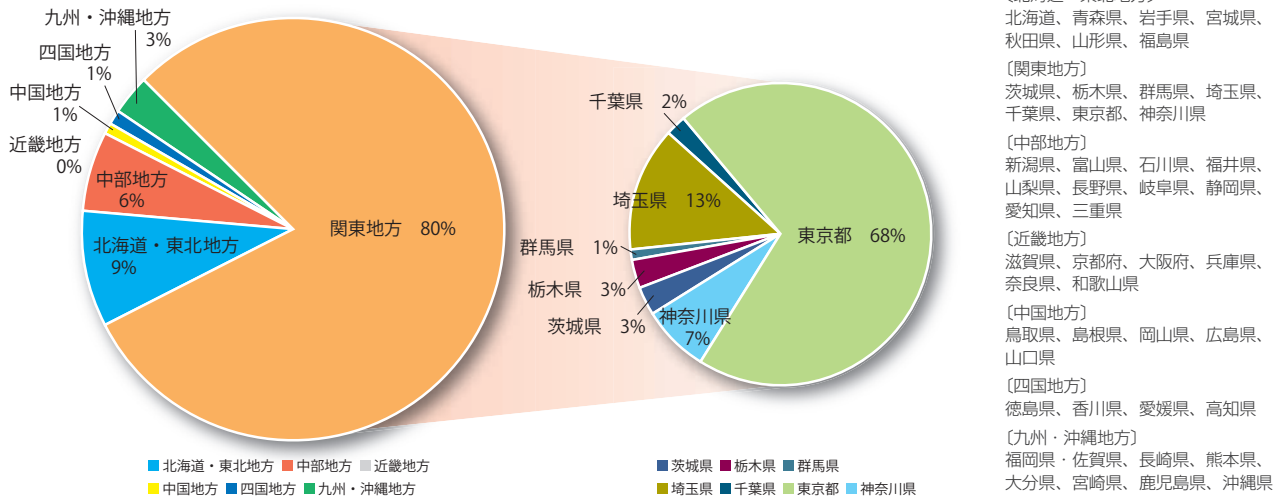


教育支援系 旧教養系

(人)

進路先	課程	生涯学習 コース (E類)	カウンセリング コース (E類)	ソーシャル ワークコース (E類)	多文化共生 教育コース (E類)	情報教育 コース (E類)	表現教育 コース (E類)	生涯スポーツ コース (E類)	旧教養系	合計
教員 (非常勤含む)					6	1		3	0	10
企業・団体		21	3	10	22	4	14	26	4	104
公務員		8	1	9	1	1	0	3	3	26
進学		3	14	1	4	5	1	1	0	29
その他		4	1	1	3	1	5	1	1	17
計		36	19	21	36	12	20	34	8	186

◎ 地域別教員就職状況 (2020年3月卒業生 学校教育系・旧教育系)



◎ 大学院進学状況 [2020年3月卒業生]

東京学芸大学、東京大学、お茶の水大学、筑波大学、京都大学、東京工業大学等

◎ 教員以外の主な就職状況 [2020年3月卒業生]

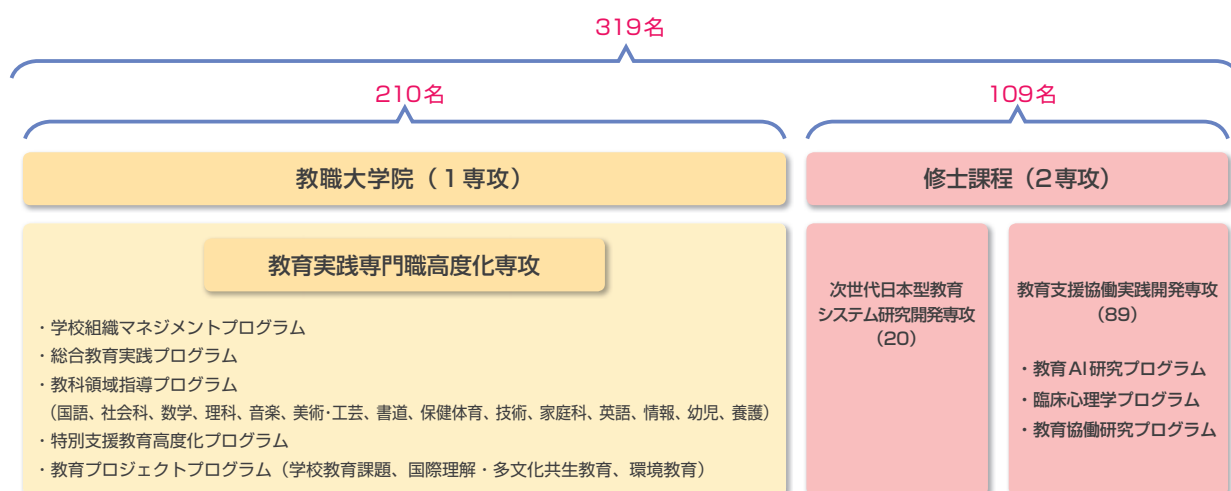
業種	企業名等
教育・学習支援業	アースキッズ株式会社、荒川区教育委員会、泉大津市教育委員会、板橋区立教育科学館、一般社団法人FRI教育福祉会、青梅市教育委員会、学校法人学習院、学校法人角川ドワンゴ学園、学校法人河合塾、学校法人北鎌倉女子学園中学校、高等学校、学校法人帝京大学、学校法人東京農業大学、学校法人新渡戸文化学園、学校法人文化学園化粧学院、学校法人武蔵野学園武蔵野東教育センター、葛飾区子ども総合センター、神奈川県教育委員会、株式会社アイ・エス・シー、株式会社明日葉、株式会社イオン、株式会社栄光、株式会社エデュエルシーエー、株式会社エナジード、株式会社学習塾、株式会社学研みらい、株式会社学研プラス、株式会社河合塾進学研究社、株式会社キッズ、株式会社教育開発研究所、株式会社クラ・ゼミ、株式会社こともの森、株式会社湘南ゼミナール、株式会社スプリックス、株式会社タネトネ、株式会社東急キッズスペースキャン、株式会社東京中央日本語学校、株式会社トライグリップ、株式会社日本入試センター、株式会社ネットラーニングホールディングス、株式会社富士通ラーニングメディア、株式会社プレストインキュベーション、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社マインドライズ、株式会社明光ネットワークジャパン、株式会社ラーニングエージェンシー、株式会社リソー教育、株式会社臨海、株式会社早稲田アカデミー、株式会社D&K Company、株式会社LITALICO、教育出版株式会社、公益財団法人福武財団、公益財団法人武蔵野文化事業団、合同会社品学教育、社会福祉法人至誠学舎立川、致研出版株式会社、杉並区役所杉並区立清美教育センター、東京都教育庁、東京都教職員研修センター、東京都立中けやきの学習園、特定非営利活動法人東京学芸大学子ども未来教育センター、独立行政法人青少年教育振興機構、独立行政法人日本学生支援機構、豊島区立富士資料館、ハッピーテラス株式会社、ヒューマンアカデミー株式会社、プレーンバンク株式会社、めぐろ学校サポートセンター、東京学生支援機構、豊島区立YSCグローバルスクール、NPO法人ちがさき学童保育の会、NTTラーニングシステム株式会社
官公庁	昭島市役所、秋田県庁、朝霞地区一部事務組合、埼玉県南西部消防本部、荒川区役所、香取市役所、板橋区役所、伊東市役所、茨城県庁、上田市役所、内子町役所、宇都宮市役所、青梅市役所、岡山県庁、川崎市役所、環境省、清瀬市役所、黒部市役所、群馬県庁、厚生労働省、甲府市役所、小金井市役所、国税庁名古屋国税局、国土交通省航空管制官、小平市役所、さいたま市役所、柴野夜場、佐野市役所、静岡県庁、品川区役所、新宿区役所、世田谷区役所、高松市役所、中央区役所、東京都庁、東京労働局八王子労働基準監督署、栃木県庁、鳥取県庁、内閣府内閣情報調査室、練馬区役所、八王子市役所、八戸市役所、浜松市役所、福岡県庁、福岡県庁、藤枝市役所、文京区役所、防衛省、防衛省航空幕僚監部、法務省、法務省さいたま保護観察所、法務省仙台少年鑑別所、南アルプス市役所、宮城県庁、高崎県警察、武蔵野市役所、文部科学省、山梨県庁、横手市役所、横浜市消防局、和光市役所
医療・福祉	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院、医療法人社団恵心会366リハビリテーション病院、医療法人社団高栄会みさと中央クリニック、医療法人社団仁愛会メンタルクリニックいばし、大分県こども・女性相談支援センター、株式会社アソシエ・インターナショナル、株式会社エルユーエス、株式会社クラーク、株式会社グローバルキッズ、株式会社アクリッツ・アンド・パートナーズ、株式会社ことごとくらし、株式会社サステイナブル、株式会社日原リース、株式会社ベストライフ、株式会社らいふホールディングス、株式会社Grow-S、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、国立大学法人浜松医科大学、社会福祉法人岩手県社会福祉事業団、社会福祉法人雲社社、社会福祉法人湯原、社会福祉法人けん重福祉会、社会福祉法人けいけい、社会福祉法人子供の家、社会福祉法人聖明アリアホーム、社会福祉法人精華子ども会看護第一保育園、社会福祉法人高原福祉会村山中藤保育園、社会福祉法人妙見井保育園、社会福祉法人横浜明愛会横浜いきり学園、東京女子医科大学病院八千代医療センター、武蔵野市立吉祥寺保育園、有限会社ラルゴ、NPO法人こさぞん、NPO法人社会障害専門医療センター、NPO法人発達支援研究所スプラウト
情報通信	アイムアクトリー株式会社、一般社団法人家の光協会、インフォテック株式会社、エスアイイー株式会社、エルソフト株式会社、オリゾンシステム株式会社、株式会社青井黒板製作所、株式会社アグリコミュニケーションズ、株式会社アクロス、株式会社アドウェイス、株式会社あたらす二十、株式会社和泉書院、株式会社オンディバロ、株式会社エスピック、株式会社ガジェオン、株式会社ギフティ、株式会社クロスコム、株式会社クロスゲームズ、株式会社幻想冬メディアコンサルティング、株式会社サイバーエージェント、株式会社シグマソリューションズ、株式会社システムズ、株式会社システムズアート、株式会社スカイモバイル、株式会社ディン・エヌ・イー、株式会社テラスカイ、株式会社電通テック、株式会社電通デジタル、株式会社エイ・アベリビリティ、システムズ、株式会社パワソリュージョンズ、株式会社日立産業制御ソリューションズ、株式会社日立ハイテクソリューションズ、株式会社富士経済、株式会社ペリサーチ、株式会社ディーキュー、株式会社アイベスト、株式会社メガバグ、株式会社リンクス、株式会社AOI Pro、株式会社EDUICOM、株式会社MONOLITHJapan、株式会社SECハイテック、株式会社Works Applications、グリー株式会社、ケーアイ株式会社、国立研究開発法人情報通信研究機構、コムウェア株式会社、シャバニクス株式会社、園子玉株式会社、ティーアンドシー株式会社、テック株式会社、テクノ株式会社、鉄道情報システム株式会社、トランスコスモス株式会社、日本放送協会、パーソナルプロセス&テクノロジー株式会社、パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社、システムズシステムサービス株式会社、フォワード・インテグレーション・システム、サービス株式会社、福島テレビ株式会社、富士ソフト株式会社、明治図書出版株式会社、楽天株式会社、ランサーズ株式会社、GMOインターネット株式会社、KDDI株式会社、MS & AD システム株式会社、NECソリューションイノベータ株式会社
学術研究・専門技術サービス業	エイキット株式会社、明治コンサルタント株式会社、TMI総合法律事務所
宿泊業・飲食サービス業	エスピー食品株式会社、株式会社あわしま、株式会社アントワークス、株式会社グリーンハウス、株式会社ジェイプロジェクト、株式会社東京一番フーズ、株式会社日本マクドナルド、株式会社武蔵野、株式会社FTGCompany、公益財団法人埼玉県学校給食会、スターバックスコーヒージャパン株式会社、有限会社ラップ、Rett y株式会社
生活関連サービス業	株式会社アワード、株式会社いわてアスリートクラブ・いわてグリージャ盛岡、株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社東急スポーツオアシス、四季株式会社、太平洋観光株式会社、有限会社劇団俳優座、NPO法人World Sports Family
その他のサービス業	アンサーズ合同会社、一般社団法人日本協会、エムスリーキャリア株式会社、エン・ジャパン株式会社、株式会社アービング、株式会社アールナイン、株式会社エアトリ、株式会社エイジェック、株式会社エリートネットワーク、株式会社オリエンタルランド、株式会社オンテック、株式会社カーベリ、株式会社カケハンスカイソリューションズ、株式会社キタムラ、株式会社近畿日本ツーリスト首都圏、株式会社クイック、株式会社グレースコミュニケーションズ、株式会社サングループ、株式会社シニアジョブ、株式会社トーア、株式会社トーアメディア開発研究所、株式会社トラスター、株式会社日本マナー、株式会社ニラダ、株式会社ヒコト、株式会社プレミアアシスト、株式会社フロンティアインターナショナル、株式会社ベルシステム24、株式会社イナビ、株式会社マーブルシッド、株式会社リクルートキャリア、株式会社リクルートホールディングス、株式会社リクルートマネジメンツソリューションズ、株式会社ローンエンタテインメント、株式会社ワンラインコンサルティング、株式会社Culega、株式会社Decorations、株式会社FUNDOBOK、株式会社Geekly、株式会社IDOM、株式会社Musica.Works、株式会社NTTデータユニバーシティ、株式会社IOANTZ、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、公益財団法人新宿未来創造財団、合同会社syuz'gen、公立学校共済組合、国際自動車株式会社、互敬クラウド協同組合、サミー株式会社、サントリーパブリシティサービス株式会社、セコバ株式会社、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、独立行政法人勤労者退職金共済機構、独立行政法人国際協力機構海外協力隊、日本総業株式会社、扶養連印刷株式会社、マイケル・ペイジ・インターナショナル・ジャパン株式会社、リーティールディング株式会社、ワタベウエディング株式会社、ANAスカイビルサービス株式会社、TOMAコンサルティンググループ株式会社
建設業	株式会社丸屋、共同エン지니어リング株式会社、五洋建設株式会社、積水ハウス株式会社
製造業	天方産業株式会社、株式会社コガネイ、株式会社スリーボンド、株式会社デンカ、株式会社富士ゼロックス、株式会社八幡屋備五、株式会社DTSインサイト、株式会社Loopp、サーモス株式会社、乾の目ミシン工業株式会社、タナノ(株)株式会社、東海カーボン株式会社、日本製紙株式会社、ネクスエナジー・アンド・ソリューションズ株式会社、パナソニック株式会社、富士電機株式会社、本田技研工業株式会社、ヤマハ発動機株式会社、横河ソリューションサービス株式会社
電気・ガス・熱供給・水道業	東京ガスライフライン株式会社
運輸・郵便業	株式会社立川バス、株式会社JALスカイ、静岡鉄道株式会社、全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、日本郵便株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、伏木海陸運送株式会社
卸売・小売業	アルニコックス株式会社、イオンモール株式会社、イオンリテール株式会社、株式会社伊勢半、株式会社内田洋行、株式会社エスケーアイ、株式会社オリジーン、株式会社カイクール、株式会社コーセー、株式会社コスメックス、株式会社三栄コーポレーション、株式会社ジンス、株式会社大丸松坂屋百貨店、株式会社天海屋ストア、株式会社ニトリ、株式会社ビームス、株式会社ザバールハウス、株式会社富地商會、株式会社山崎、株式会社ユニクロ、株式会社ローソン、株式会社ロフト、株式会社JFR東日本リテールネット、興和株式会社、ジェルク・ジャパン株式会社、進和テック株式会社、ダイナミック株式会社、日本たばこ産業株式会社、マツモト産業株式会社、DZコーポレーション
金融・保険業	アコム株式会社、オリックス銀行株式会社、オリックス生命保険株式会社、株式会社静岡銀行、株式会社西日本シティ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社横浜銀行、株式会社Quick、株式会社ZUU、第一生命保険株式会社、大和証券株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、特別民間法人社会保険診療報酬支払基金、長野県労働金庫、野村證券株式会社、日立キャピタル株式会社、明治安田生命保険相互会社、楽天カード株式会社、MS & AD 勤務サービス株式会社、SOMPOビジネスサービス株式会社
不動産・賃貸管理業	イトピアホーム株式会社、ウイングアーク1st株式会社、株式会社オープンハウスディベロップメント、株式会社クレアスライ、株式会社コスモスインシア、株式会社ジェイ・エス・ピー、株式会社ハウスメイトパートナーズ、パナソニックホームズ多摩株式会社

もっと学びたい人は

大学を卒業した後にもっと勉強したいという人には二つの道があります。一つは大学院、もう一つは特別専攻科です。

東京学芸大学大学院の教育学研究科には、教職大学院（専門職学位課程）と修士課程があります。更に学びたい人は、連合学校教育学研究科（博士課程）に進学することもできます。

◎ 教育学研究科（教職大学院・修士課程）



大学院は、2019年度から大きく変わりました。教職大学院（教育実践専門職高度化専攻）は、210名に定員を大幅に増やして、5プログラムで構成されます。特に、教科領域、特別支援教育、教育課題に対応したプログラムを充実させ、学校教育に関するほぼすべての領域をカバーする我が国最大規模の総合型教職大学院になりました。

修士課程は、次世代日本型教育システム研究開発専攻、教育支援協働実践開発専攻の2専攻に改組しました。教育支援協働実践開発専攻は、三つのプログラム（教育AI研究プログラム、臨床心理学プログラム、教育協働研究プログラム）で構成されます。

大学院(教職大学院・修士課程) Web サイト

<https://www.u-gakugei.ac.jp/graduate/>

◎ 連合学校教育学研究科（博士課程）

大学院

連合学校
教育学研究科
(博士課程)

学校教育学専攻				
教育構造論講座	教育方法論講座	発達支援講座	言語文化系教育講座	社会系教育講座
自然系教育講座	芸術系教育講座	健康・スポーツ系教育講座	生活・技術系教育講座	

本研究科は、東京学芸大学・埼玉大学・千葉大学・横浜国立大学の4大学による連合大学院であり、東京学芸大学に設置している博士後期課程（3年間）のみの独立研究科です。「広域科学としての教科教育学」の専門研究者を養成することに加えて、教員養成系大学における教科専門諸科学や教育諸科学の実践的研究者の養成を目的としています。

◎ 特別支援教育特別専攻科（特別専攻科）

特別専攻科は、大学を卒業した後に特別支援教育を1年間で学ぶコースです。

特別支援について多様な知識を身につけた教員になることを目指します。

入学時にすでに取得している教員免許状の種類により、特別支援学校教諭一種免許状もしくは専修免許状を取得することができます。



教職大学院生へのインタビュー

Q1 なぜ、教職大学院・大学院に進学しようと思ったのですか？

大学卒業時には、まだ英語教員として実践の場に立つことに不安を感じていました。自信をつけるために英語教育についてさらに学びたいと思い、進学しました。

Q2 教職大学院・大学院ではどのような勉強をしていますか？そして、教職大学院・大学院の魅力は？

英語教育の指導法について、ディスカッションや、模擬授業の実践・検討を通して学んでいます。また論文ゼミや統計ゼミといった自主ゼミも充実しています。教職大学院の魅力は、同級生と共に学びを深める授業形態だと思います。互いの思考が混ざり合う中で、発見をしたり、思考が促進されたり、答えのない問いに対して新たな探求の視点が生まれたりします。このような「思考の化学反応」を通して、同級生とともに切磋琢磨しながら成長していく楽しさを日々感じています。

Q3 将来の進路は？

中学校の英語教員として、英語を本格的に学び始める子どもたちの英語指導に携わりたいです。自分の目指す英語教育観を現場で実践したいと思っています。

Q4 高校生へのメッセージ

教員を目指す学生同士で熱く語り合い、刺激を受け合いながら学びを深める楽しさはかけがえないものです。また、自分自身で問いを作って探求していく学びはわくわくします。みなさんにも、ぜひそういった学びを経験してほしいです。



教育実践専門職高度化専攻
教科領域指導プログラム
英語教育サブプログラム 2年

福田 早希さん



修士課程の院生へのインタビュー

Q1 なぜ、大学院に進学しようと思ったのですか？

学部在学中に、私が取り組んでいる研究の中で機械学習の技術に触れる機会がありました。学部では授業でシステム開発や信号処理について勉強してきましたが、機械学習の技術の詳細を学びきれませんでした。自分自身の研究を深めるとともに、これからの社会の変化やニーズについていくためにも最先端技術について学びたいと思い、大学院に進学しました。

Q2 大学院ではどのような勉強をしていますか？そして、大学院の魅力は？

機械学習や人工知能に関する授業を受けたり、AI技術を教育現場でどのように活用できるのかについて勉強したりしています。大学院の魅力の1つは様々なバックグラウンドの人がいることです。私は学部を卒業してそのまま大学院に進学しましたが、働きながら大学院に通っている人や、留学生も多くいます。授業でグループワークや意見交換をするときに様々な立場や考えの人と話すことで、自分の考えが深まります。また、授業の1つである「フィールド研究」では実際に企業でソフトウェア開発に参加することができます。大学、大学院で勉強していることが企業でどのように役に立つのか、それが社会にどのように貢献されるのかを知る貴重な機会になっています。

Q3 将来の進路は？

修了後は、学校外から広く教育に関わる仕事がしたいと思い、IT企業に就職する予定です。もともと教員になるつもりで大学に入学しましたが、学部、大学院と「教育支援」について勉強していく中で、学校外での教育活動や、教育支援、また教育現場で活用できる技術に興味を持つようになりました。

Q4 高校生へのメッセージ

私は教育支援課程の情報教育コースを卒業し大学院に進学しました。学部で学んだ情報教育を軸とした教育協働の考え方は大学院での研究を進めていく上でとても役に立っています。これからの教育の鍵になる情報教育や教育AIについて一緒に学びましょう！

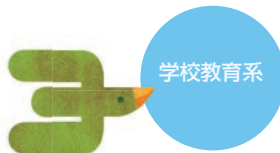


教育支援協働実践開発専攻
教育AI研究プログラム 2年

松原 未和さん

取得可能な免許・資格

学校教育系の学生は、教員免許取得に必要な要件を満たすことが卒業要件となっています。指定されている教員免許の他に各専攻・選修で取得可能な教員免許もあります。教育支援系の学生は、教員免許取得が卒業要件とはなっていませんが、一部のコースを除いて教員免許を取得することができます。また、教員免許のほかにも受験資格が得られるものや、取得できる資格があります。



◎ 卒業要件として指定されている教育職員免許状

A 初等教育教員養成課程

- 国語選修
- 社会選修
- 数学選修
- 理科選修
- 音楽選修
- 美術選修
- 保健体育選修
- 家庭選修
- 英語選修
- 学校教育選修
- 学校心理選修
- 国際教育選修
- 情報教育選修
- 環境教育選修
- ものづくり技術選修

小学校教諭一種免許状

幼児教育選修

幼稚園教諭一種免許状

B 中等教育教員養成課程

国語専攻	中学校教諭一種免許状 (国語) 高等学校教諭一種免許状 (国語)
社会専攻	中学校教諭一種免許状 (社会) 高等学校教諭一種免許状 (地理歴史又は公民)
数学専攻	中学校教諭一種免許状 (数学) 高等学校教諭一種免許状 (数学)
理科専攻	中学校教諭一種免許状 (理科) 高等学校教諭一種免許状 (理科)
音楽専攻	中学校教諭一種免許状 (音楽) 高等学校教諭一種免許状 (音楽)
美術専攻	中学校教諭一種免許状 (美術) 高等学校教諭一種免許状 (美術)
保健体育専攻	中学校教諭一種免許状 (保健体育) 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)
家庭専攻	中学校教諭一種免許状 (家庭) 高等学校教諭一種免許状 (家庭)
技術専攻	中学校教諭一種免許状 (技術) 高等学校教諭一種免許状 (工業)
英語専攻	中学校教諭一種免許状 (英語) 高等学校教諭一種免許状 (英語)
書道専攻	中学校教諭一種免許状 (国語) 高等学校教諭一種免許状 (書道)

C 特別支援教育教員養成課程

特別支援学校教諭一種免許状

(聴覚障害者)(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)の4領域

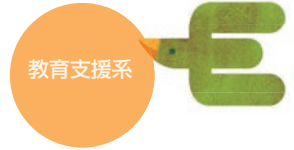
小学校教諭一種免許状又は中学校教諭一種免許状

D 養護教育教員養成課程

養護教諭一種免許状



教育支援課程



生涯学習コース	生涯学習サブコース 文化遺産教育サブコース	
カウンセリングコース		
ソーシャルワークコース		
多文化共生教育コース	多言語多文化サブコース	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）
	地域研究サブコース	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民）
情報教育コース		高等学校教諭一種免許状（情報）
表現教育コース		
生涯スポーツコース		中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育）

◎ 取得可能な教育職員免許状

初等教育教員養成課程・中等教育教員養成課程・特別支援教育教員養成課程の学生は、卒業要件として指定されている教育職員免許状の他に、必要な単位を積み上げるにより、下記の免許の取得をめざすこともできます。

ただし、一学年につき履修できる授業数には限りがありますので、全ての免許が取れるわけではありません。

小学校教諭一種免許状	
中学校教諭一種免許状	国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・保健・家庭・技術・英語
高等学校教諭一種免許状	国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・工芸・保健体育・保健・家庭・工業・英語・書道
幼稚園教諭一種免許状	
特別支援学校教諭一種免許状	（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）の3領域 又は（聴覚障害者）（知的障害者）の2領域

養護教育教員養成課程の学生は、卒業要件として指定されている教育職員免許状の他に、必要な単位を積み上げるにより、下記の免許の取得をめざすこともできます。

中学校教諭一種免許状	保健	高等学校教諭一種免許状	保健
------------	----	-------------	----

◎ 取得可能な資格

○学校教育系、教育支援系とも所定科目の単位を修得することで以下の資格の取得が可能です。

- ▶司書（13科目）
- ▶司書教諭（5科目、ただし基礎となる教育職員免許状（小・中・高）のいずれかが必要）
- ▶学校司書（14科目）
- ▶学芸員（10科目）
- ▶社会教育主事・社会教育士（13科目）

○特定の選修、コースに所属する学生のみ、取得可能な資格は以下のとおりです。

- ▶保育士：幼児教育選修のみ対象。
- ▶社会福祉士：ソーシャルワークコースのみ対象。国家試験受験資格。
- ▶スクール（学校）ソーシャルワーカー：ソーシャルワークコースのみ対象。ただし社会福祉士の資格取得が必要。

○特定のコースに所属する学生のみ、卒業後に取得をめざすことができる資格は以下のとおりです。

- ▶公認心理師：カウンセリングコースのみ対象。国家試験受験資格（受験資格を得るためには、学部在学中に指定の30科目を修得し卒業した後、大学院における要件科目の修了、もしくは法令等で定められた施設での実務経験が必要）。

※教育職員免許状・資格ともに各専攻・選修の時間割との関係で、取得困難になる場合もあります。

国際交流と留学

東京学芸大学は、19の国・地域の64大学と交流協定を結び、学術交流や学生交流をしています。大学には、学生交流協定校をはじめとした各国から外国人留学生が来ており、授業、サークル等において、学生交流が盛んに行われています。

また、本学からは毎年世界各地の協定校へ学生が交換留学をしています。交換留学制度を利用すると、留学先での授業料等を支払う必要がないほか（留学期間中、本学に授業料を払う必要があります。）、修得した単位を本学の単位として申請することができます。このほか、夏休み、春休みを利用して、協定校が実施しているサマープログラムや本学が企画する協定校での短期研修プログラムに参加することができます。

●海外留学制度

	交換留学	認定留学	休学して海外渡航する場合
派遣先	交流協定校	非交流協定校	非交流協定校等
本学の在学期間	留学期間も在学期間にも含まれ、最短年限での卒業（修了）ができる場合もあります。ただし学校教育系については、教育実習等の関係で4年間での卒業が困難な場合があります。教育支援系の学生が教員免許を希望する場合も同様です。		休学期間の分卒業（修了）が延びるので、4年「大学院修士課程は2年、博士課程は3年」では卒業（修了）できません。
留学期間中の本学の授業料	納付する (相手大学には支払わなくてよい)	納付する (相手大学にも支払う)	事前に学務課に相談してください。 (留学先の学校には支払う)
奨学金	<ul style="list-style-type: none"> JASSOに採択されたプログラムに参加する場合には支給があります（資格・要件を満たした場合）。 学生後援会から留学奨励金の支給があります。 民間奨学金に応募可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生後援会から留学奨励金の支給があります。 民間奨学金に応募可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間奨学金に応募可能
留学先での履修科目の単位認定	帰国後、成績証明書等必要書類をそろえて学務課に申請し、関係会議で総合判定され、認定を受けることができます。		単位認定の申請はできません。

※休学をする場合は、学務課に「休学願」を提出する必要があります。

- 交換留学…留学先大学の入学料・授業料が免除になります。
留学先大学の窓口教員や交換留学生がいるので情報収集が容易にできます。
入学手続きやトラブルに対して、大学がサポートします。
- 認定留学…留学先は自由に選べますが、手続きは各自で行います。
本学と留学先大学の双方に授業料等を納入します。
特別な事情がある場合は、許可を願い出て留学期間を2年まで延ばせます。
帰国後、単位認定を受けるには、渡航3か月前に認定留学の手続きが必要です。

●毎年実施されている主な語学・文化研修留学プログラム

国名	大学名等	プログラム名	期間	内容
韓国	ソウル教育大	韓国語・韓国文化短期留学プログラム	約10日間	韓国語集中講座、韓国社会、百済歴史文化、文化体験、放課後の個人指導
ドイツ	ハンブルク大学	サマープログラム	約1か月	日本人学生を対象に開発した会話中心のドイツ語集中講座
フランス	キャンパス・フランス (フランス政府留学局)	春季・夏季フランス語学研修	約1か月	初級・中級フランス語集中講座。サンティエヌヌ大学、グルノーブル大学の附属語学学校で実施
オーストラリア	モナッシュ大学	短期海外語学研修 (オーストラリア、メルボルン)	30日間	全てホームステイ、現地大学生との交流、日本語授業への参加、学校訪問、英語によるプレゼン

★上記以外にも中国・香港・台湾・アメリカ等、様々な国のプログラムが多数あります。

北京師範大学（中国）

留学期間 2019年2月～2020年1月

初等教育教員養成課程学校心理選修

大河内 雛子



大学1年生、学芸大学に入学したばかりのころは自分が中国に留学に行くなんて1ミリも思っていませんでした。転機が訪れたのは大学2年生の終わりです。

学芸大主催の北京師範大学

に行くツアーに参加した際、すでに留学されている先輩の「雑談が面白い先生はいい先生」という言葉を聞き、私はこのままでは児童に語れるような雑談（経験）がない、と思い留学を決めました。留学したばかりの頃は言語力が0に等しかったため、これから先どうなるのだろうと不安でいっぱいでした。でも、一度も帰りたいとは思いませんでした。日本にいたら出会えなかった人に出会い、できなかった経験をたくさん積むことで毎日が非常に楽しかったです。

特に、1年間、毎日私と過ごしてくれたルームメイト（韓国）には感謝の気持ちでいっぱいです。彼女は韓国で小学校の先生をしています。中国語でのコミュニケーションは難しかったです。韓国の教育事情や子供への向き合

い方をたくさん教えてくれました。帰国前、二人で私が小学校の先生になったら、お互いのクラスの児童同士、文通の授業をしよう、と約束しました。我ながらとても夢のある約束が出来たな、と思っています。

留学生活はチャレンジの連続でした。しかし、そのチャレンジは敢えて自分に課したものです。留学という貴重なチャンスをいただけた以上、この一年を実り多いものとするために色々なことをしました。中国の企業でインターンをする、孤児院にボランティアに行く、どれも楽しかった学びになりました。留学を終えた今も、色々なことにチャレンジしようと心掛けています。学芸大学には、たくさんのチャンスが転がっています。4年間という短い時間を実り多いものとし、素敵な教員になるためにも是非、多くのことに挑戦してみてください。私は、留学を強くお勧めします。



留学体験記

フランス国立東洋言語文化学院 (INALCO) (フランス)

留学期間 2018年9月～2019年6月

教育支援課程教育支援専攻多文化共生教育コース

前澤 沙月

どんな形でもいいからフランスに住みたいという夢があった私は3年の9月から約10か月間、パリのINALCOに留学しました。



留学にあたっては、与えられた環境に満足するのではなく、自分から積極的に新しい環境に飛び込むという意味で、「ただの留学生にならない」という目標を立てました。

留学中は語学のほかに現地の学部生向けの授業も受講しましたが、どれも単語を聞き取ることが精一杯で、初めのうちは友人から借りたノートを見直してやっと内容を理解するという有様でした。授業を録音して復習し、友人の助けを借りて課題をこなすうちに、やっと単語ではなく文章で理解し、詳しい内容までわかるようになりました。

学業の他には現地のバレーボールチームでの試合に熱中しました。フランス人のメンバーとの連携は簡単ではなく、作戦を練る場で自分の思いを伝える語彙を知らずに話し合いに追いつけないということも頻繁にありました。

そのためまずは練習以外でも積極的にメンバーと交流し、日々の練習で思っていることを落着いて伝える努力をしました。

打ち解けて話す機会も増え、練習がより一層楽しくなると同時に、チームでの自分の存在感も増してきたように感じました。帰国前の練習最終日にはリーダーが「あなたがこのチームに来てくれて良かった」と涙をこぼしてくれたことがそれを強く実感させてくれたと思います。

INALCOは海外からの留学生がとても多く、質の高い授業や厚い支援があるため、ただ過ごすだけでも十分成長できます。だからこそ与えられた環境から一歩踏み出して行動することが、充実した留学生活を送るうえで重要になります。学部生向けの厳しい授業に参加したこと、留学生のいないチームに一人で飛び込んだことを私は全く後悔していません。苦しいこともたくさんあるかと思いますが、これから挑戦する皆さんの留学が素敵な財産になることを祈って陰ながら応援しています。



《海外の大学との短期派遣・受入プログラム》 外国人留学生の受入れとグローバル人材の養成プロジェクト

— International Student Step Up Program (ISSUP) —

東京学芸大学では、本学の学生向けに教員養成系大学独自の海外短期派遣・受入プログラム（1週間～10日間程度）を実施しています。グローバル化する教育現場に対応できる教員の養成を目指すと共に、学生のニーズに応じた多様なプログラムを提供しています。

《派遣プログラム》

英語圏の大学等を中心に、長期休暇中の10日間程度、現地校の参観、授業実践、現地の大学生と交流等を行います。また、テーマに関連した博物館や文化施設等も訪問します。各プログラム毎年10名程度の参加学生を募り、本学教員が引率し、実施しています。海外が初めての方でも参加しやすいプログラムです。また、渡航費用の一部を大学が支援する制度もあります。

●これまでの派遣プログラム実施例

- 米国・ミシガン短期派遣留学プログラム（9月下旬～10月上旬）
テーマ：グローバル化時代の教育と多文化共生
主な訪問先：ミシガン州立大学、DeWitt Middle School、MSU Broad Art Museum、Cass Technical High School、デトロイト美術館など
- 米国・ハワイ短期派遣留学プログラム（2月下旬～3月上旬）
テーマ：ハワイの人と自然
主な訪問先：（ハワイ島）ハワイ大学ヒロ校、イミロア天文学センター、ハワイ火山国立公園など（オアフ島）ハワイ大学マノア校、日系3世との交流、ワイアルア小学校、Mid Pacific Institute、ビショップ博物館など
- 豪国・メルボルン短期派遣留学プログラム（3月下旬）
テーマ：オーストラリアにおける移民・マイノリティと美術をめぐる教育の課題と可能性を考える
主な訪問先：メルボルン大学、モナシュ大学、移民博物館、ジョン・モナシュ高校、ビクトリア美術館など



〈派遣プログラムの様子〉

《受入プログラム実施内容》

派遣プログラムで交流のある海外の大学生が1週間程度本学を訪問します。その際、一緒にプログラムに参加し、授業実践ほか様々な協働学習を行います。



〈受入プログラムの様子〉

●これまでの受入プログラム実施例

- 米国・ミシガン州立大学（6月下旬）
東京学芸大学の附属学校や都内の公立学校等を訪問し、米国の学生と協働で英語による授業実践や交流活動を行ったり、都内でのフィールドワークを実施したりします。
※2020年度からは「学芸フロンティア科目C」として、単位修得も可能な授業科目として位置付けられています。

※新型コロナウイルス感染症の影響で、2019年度及び2020年度の派遣・受入プログラムは内容を一部変更して実施、又は中止となりました。

《海外の研究者による講演・セミナー》

例年、海外大学の研究者や学校教員による本学学生・職員を対象とした講演会を実施しています。特に2020年度はコロナ禍における取組として、オンライン講演会・セミナー、学生交流会等を数多く実施しました。

●2020年度実施講演会・セミナー

- COVID 19 and Issues of Equity in the U.S. (米国/ミシガン州立大学 David Wong 准教授)
- COVID 19: Shining a Light on Racial Disparities in the U.S. (米国/弁護士ジョン・ルイス氏ほか)
他 計14回実施 (2021年1月現在)

●海外協定校とのオンライン学生交流会

- パリ大学 Université de Paris と実施 (2020年12月現在、他複数の協定校と実施を計画中)

ISSUP ウェブサイト：<http://issup.u-gakugei.ac.jp/>



CAMPUS Asia キャンパス・アジア・プログラム

東京学芸大学は、北京師範大学（中国）・ソウル教育大学校（韓国）とコンソーシアムを形成し、2016年10月から、キャンパス・アジア事業「東アジア教員養成国際大学院プログラム」を実施しています。

大学院生だけでなく学部生も対象に、長期（半年～1年間）の交換留学や相互の短期語学・文化研修留学プログラムなど、さまざまな学生交流プログラムを実施し、本学学生の海外体験の機会増加や国際性豊かなキャンパス環境づくりに取り組んでいます。

《主なプログラム実施内容》

● 交換留学の実施

〔派遣〕春学期、秋学期それぞれ、北京師範大学とソウル教育大学校に本学学生を半年～1年間派遣しています。派遣された学生は、自身の専門を深めつつ、各国の教育・文化を学び、語学力の向上を目指します。

〔受入れ〕北京師範大学、ソウル教育大学校を含むアジア圏の大学の学生が本学に留学しプログラムに参加しています。本学学生も留学経験者を中心に「キャンパス・アジア・アソシエイト」として、日本の教育や文化について学びあい、日光や箱根などで実施される自主合宿に参加し交流を図ります。

● 短期語学・文化研修プログラム

〔派遣〕夏季・春季の長期休暇期間中に、短期（1～2週間程度）の中国・韓国への派遣プログラムを実施しています。語学の集中トレーニングのほか、各国の歴史や文化、学校教育について体験的に学べる機会となっています。この短期留学をステップに、長期留学に挑戦する学生もたくさんいます。

《留学に向けた各種活動》

● 学芸フロンティア科目「留学のすすめ」

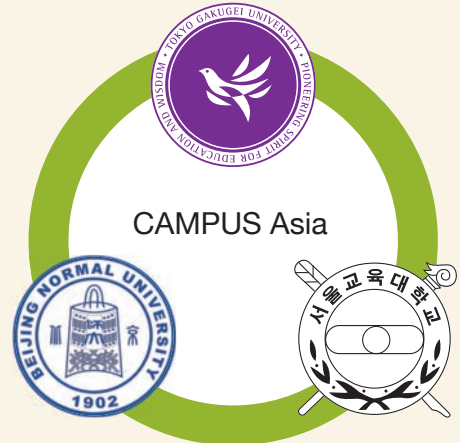
社会で幅広く活躍し、実績・経験豊かなゲスト・スピーカーが講義する「学芸フロンティア科目」の一つとして、2017年春学期から開設されています。本学海外協定校への留学の魅力やその実態を、海外の大学教員や留学経験者が具体的に紹介します。

● 言語ラボ

中国・韓国への留学希望者や派遣決定者を対象に、留学先での学修や生活に必要な語学力の習得を目的として、中国語・韓国語の「言語ラボ」を実施しています。それぞれの言語の担当教員が、学生のニーズに合わせた実践的な指導を行います。

● ダブルディグリー・プログラム **大学院修士課程**

本学は、北京師範大学およびソウル教育大学校と大学院修士課程レベルの「ダブルディグリー・プログラム」を実施しています。このプログラムに参加する学生は、北京師範大学またはソウル教育大学校に一定の期間留学し、本学および派遣先大学の修了要件を満たした際に、それぞれの大学から学位（修士号）を取得することができます。



〈交換留学 in 北京〉



〈短期留学プログラム in ソウル〉



＜キャンパス・アジアとは＞

CAMPUS Asia (Collective Action for Mobility Program of University Students in Asia) は、国際的に活躍できるグローバルな人材の育成と大学教育のグローバルな展開力の強化を目的に、日本、中国、韓国の大学がコンソーシアムを形成し、日本人学生の海外留学や外国人学生の積極的受入れを伴う教育連携プログラムを実施する事業です。





キャリア（教職・教育支援職）支援

東京学芸大学では学生のキャリア形成支援、各種相談など、トータルに学生支援を行っています。ここでは、キャリア支援行事について紹介をします。

学生キャリア支援室

学生キャリア支援室では、学生の皆さんが有意義で生き生きとした学生生活を送り、将来のキャリアをデザインできるよう、日常的なサポートを行っています。

学部各学年・大学院生を対象に各種ガイダンス等の行事を通して、学びと進路について考える場を提供しています。

教員を志望する方には、「教師の魅力」を知るための各種ガイダンスの他、教員採用試験1次対策として学内模試、Web講座の開催、2次対策として論文指導、面接指導、集団討論指導などを実施しています。

企業・公務員を志望する方には、自己分析、企業研究、企業・官公庁学内説明会、エントリーシート指導、(Web)面接指導、公務員対策支援などを、各方面の専門家により行っています。

教員や企業等への就職を希望する学生や卒業生・修了生が、進路や教員採用試験対策及び企業への就職活動等に関して何でも相談できるよう学外から教員就職担当（公立学校長・教育委員会指導主事等経験者）及び企業・公務員就職担当の専門家を招いて、就職相談を行っています。学年に関係なく、進路に関する悩みや迷いを相談することができる体制をとっています。

進路相談

◎キャリア支援課窓口

キャリア支援の各種講座、ガイダンス、教員採用試験、企業・公務員就職活動等について分からないことがあったら、キャリア支援課窓口にご相談ください。あなたの進路にあったご案内をさせていただきます。

◎指導教員

日頃、皆さんの相談相手として一番身近な存在は誰でしょうか。大学においては所属教室の指導教員がその役割を担います。指導教員は一般的な就職情報のみならず、皆さんの人となりをよく理解した上での相談相手として、また専門の学問領域に関連した相談に対処できる存在でもあります。指導教員との意思疎通をよくしておくことが大切です。

◎専門の相談員

皆さんの進路、就職に関する悩み事について専門の相談員が相談に乗ります。教員就職、企業・公務員就職にそれぞれ経験の深い先生方が対応にあたります。3年生からの就活本番における相談が多いですが1、2年生の皆さんのなかに進路相談のつもりで来られる方もいます。

相談場所はキャリア支援課内の専用のブースになります。（予約制です）

教員志望者対象のキャリア支援行事

教員を志望する人には、「教員の魅力」を知るための各種ガイダンス等、次のような指導・講座を実施しています。

◎教師力養成特別講座（万ゼミ）（11月～翌6月）

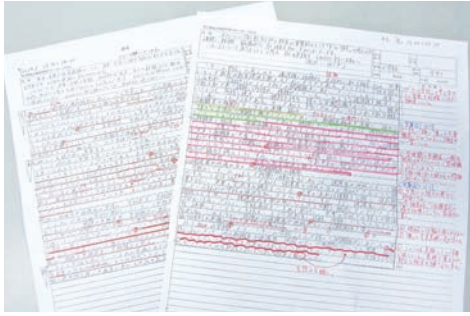
教師力養成特別講座（通称：万ゼミ）は、教職経験豊かな本学OB・OG（公立学校長、教育委員会指導主事経験者等）が講師となって、主に論文添削や面接指導等、教員採用試験対策のための指導を行っています。学部3年生、大学院1年生の11月から講座が始まり、翌年の6月まで論文・論述・面接について、丁寧な指導が継続的に行われ、7月の教員採用試験に臨むことができます。有料ですが受講すれば教員採用試験の合格率が確実にアップします。例年、教職を狙う多くの学生が受講しています。

◎教員採用試験対策講座（7月～8月）

教員採用試験に向けて、論文添削・個人面接・場面指導・模擬授業など、練習したい試験内容のみを選択し、指導が受けられる講座です。また個人面接の受け方についての講演や単元指導計画・学習指導案の添削指導も行います。教師力養成特別講座（万ゼミ）と併せての受講をお勧めします。

◎教採1次対策学内模試（12月）

教員採用試験の1次試験対策として、学内で模擬試験を行います。3年生の早い時期に自分の実力を確かめ1次試験対



教員就職担当相談員により添削された論文

策のきっかけにしてください。早めに自分の実力を知るという点から12月に受験される場合に限り大学が受験料の一部補助しています。(通常2500円のところ1000円のみで受験可)。大学と大学生協がタイアップして実施しています。

◎教員採用試験説明会(11月～翌5月)

全国各地の教育委員会の採用担当者が来学し、教員採用試験について説明会を開催します。教員採用試験の詳細、その自治体が求める教師像、地域の特色や教育への取り組み、教員の実情などについて直接お話を聞くことができます。学部1、2年生も参加できます。

◎東京教師養成塾(養成塾関係(埼玉、千葉、神奈川))

将来、東京都公立学校の中核となる人材(校長、指導主事)を養成するために、東京都と各大学が連携して行っている塾です。養成塾が行う年間を通じての特別教育実習や教科等指導力養成講座などにより、豊かな人間性と実践的な指導力を学びます。

今年で19年目を迎えこれまで本学からは220名余が卒塾し東京都の教員となっています。

その他、「埼玉教員養成セミナー」「ちば!教職たまごプロジェクト」「スクールライフサポーター」(神奈川県)の募集もしています。

◎(先輩の勤める)近県学校訪問(9月～10月)

先輩の授業を見に行こう!活躍している先輩に会って、教育現場を肌で感じ、直接声を聞く企画。訪問先学校では、授業参観・学校見学、生徒と一緒に給食を食べたり、休み時間に遊んだり、校長先生や先生たちのお話を伺います。普段できない体験です。(辟雍会(東京学芸大学同窓会)との共催事業)

◎教員採用候補者の大学推薦(4月～5月)

学業成績及び人物が特に優秀で教職に就く意志が強固な学生を、公立学校教員採用試験の大学推薦者として推薦します。例年、東京都を中心に50名程度を推薦しています。

◎教員採用一次試験対策WEB講座(随時)

本学の学生ならばだれでも視聴できます。一次試験対策はしたけれど不安という方も復習にご利用ください。

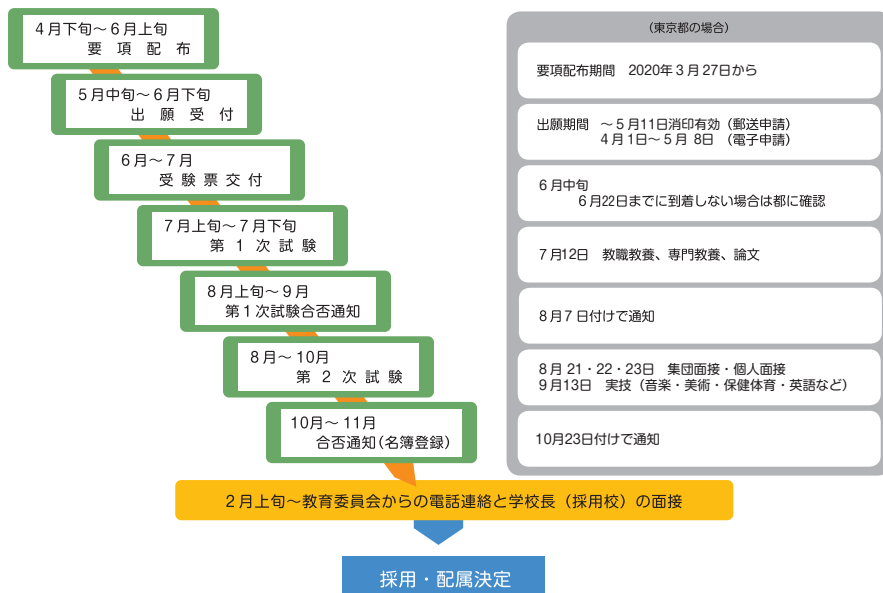
教職教養講座(各講座90分)

- ・教育原理①～④
- ・学習指導要領①②
- ・教育史①②
- ・教育心理①～④
- ・教育法規①～⑥
- ・教育時事①②

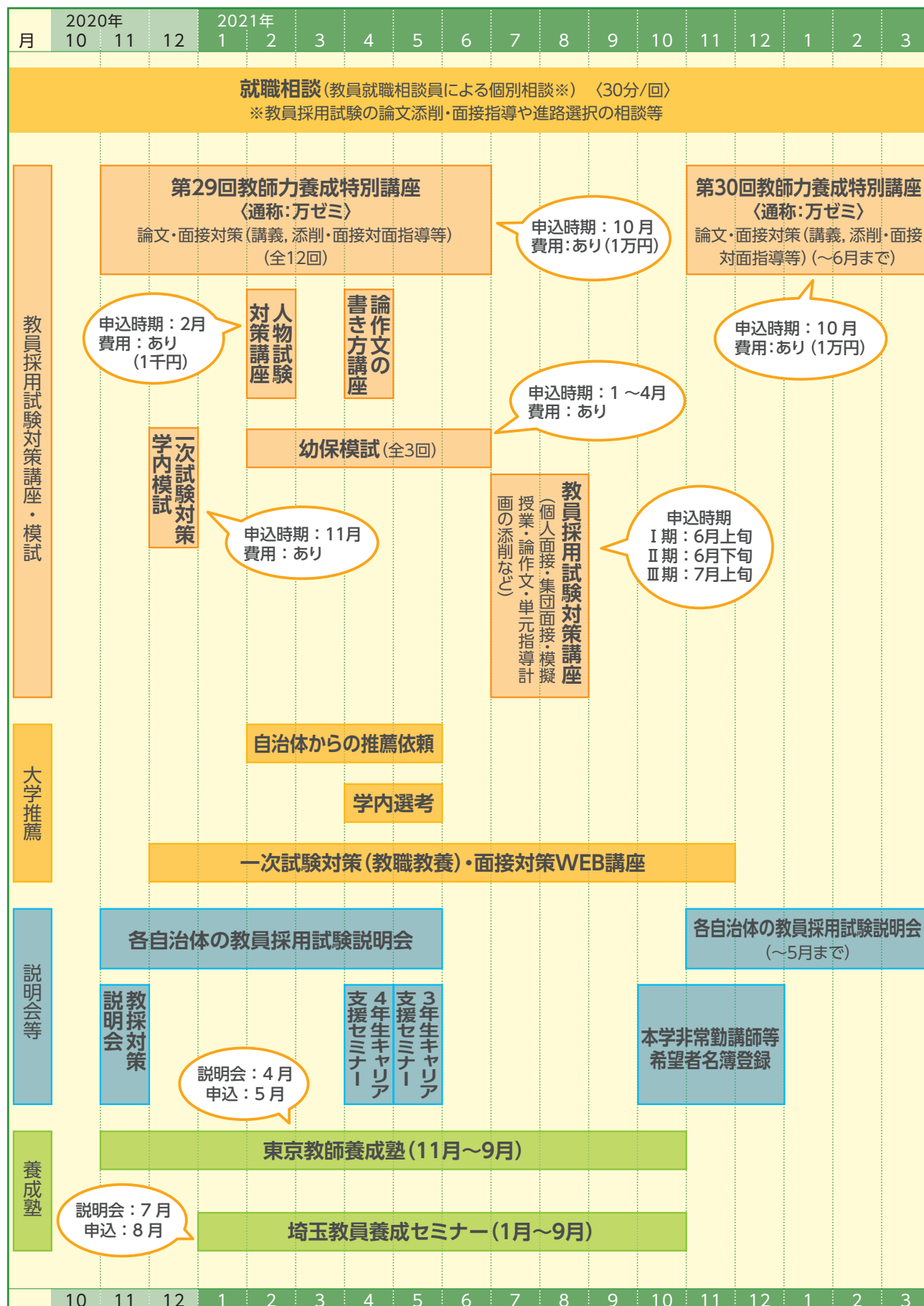
面接講座(各10～20分)

- ・面接試験の基礎知識①～③
- ・個人面接①～④
- ・集団面接①～③
- ・集団討論①～③
- ・場面指導①～④
- ・模擬授業①～④

◎教員採用試験の流れ(2020年度実施例)



教員就職関係講座・行事等スケジュール



※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、オンラインで実施する講座・行事等もあります。
 ※上記予定は変更となる場合があります。

企業・公務員志望者対象のキャリア支援行事

企業・公務員等志望の人には、自己分析、企業研究、企業・官公庁説明会、エントリーシート指導、面接指導、公務員試験対策支援などを、各方面の専門家により実施しています。

◎「企業・官公庁」合同説明会

約25社の企業・官公庁の採用担当者が来学し、学内において、本学学生のための合同説明会を行います。

◎ 企業・官公庁等インターンシップガイダンス

企業・官公庁等のインターンシップに参加したい人を対象にガイダンスを行います。

◎ 企業・公務員就職対策講座

- 就職活動準備講座
- 就活本番スタートアップ講座
- 自己分析、業界研究
- エントリーシート、面接対策のポイント
- グループディスカッション
- 公務員就職ガイダンス、公務員試験対策勉強法

◎ 公務員就職説明会

それぞれの人事担当者による公務員就職に関する説明会を行っています。

- 国家公務員採用試験説明会
- 東京都職員採用試験説明会
- 特別区職員採用試験説明会

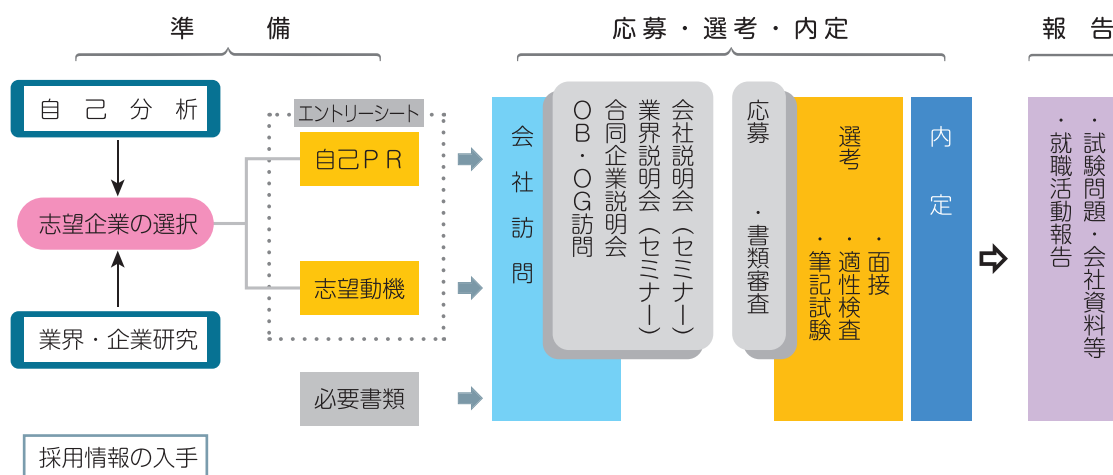
◎ 面接特別指導

個人面接及び集団面接について、少人数のグループ指導を行います。受講生は面接練習を行うだけでなく、面接官役も体験することで、面接官がどこを見ているのかを理解することができます。

【受講生の声】

- 面接は苦手だったが、講師から丁寧な指導をいただき、自信がついた。
- 面接は話の内容だけではなく、立ち居振る舞いや表情などの印象も大事であることを実感した。
- 面接官役として他の受講生が面接を受ける様子を見て、自分も注意すべき点に気づくことができ、講義よりも得られるものがあった。

◎ 企業就職活動の流れ



その他のキャリア支援

◎ インターンシップ

インターンシップとは、実際の職業現場に出向き、そこで職業活動を体験することです。「学校インターンシップ」と「総合インターンシップ」があり、単位の修得には、1つの学校・企業・公（共）的機関で60時間以上のインターンシップを行う必要があります。活動は、長期休暇中も含め、授業等の空き時間を利用して行います。将来の就業への円滑な移行のため、多くの学生に利用してほしい制度です。

☆学校インターンシップ

〔2019年度本学猪苗代町立緑小学校のインターンシップ（2019.9.30～2019.10.11）体験者の声〕

1人の「先生」として子どもたちと関わり、様々なことを経験することができました。実際に授業を観察し、児童への発問やアドバイスなど先生方の言動を分析したり自分なりの理想的な授業について考えたりすることができました。また、授業についていけない子がいれば声をかけてサポートしたり、放課後や休み時間に学習支援を行ったりと、1人ひとりの段階に適した支援も心がけた。さらに、先生方とお話をする機会もあり、教育の現状や今後の課題について改めて考えることもできた。学校インターンシップでの経験を通して学んだことや見えた課題をさらに追求し、教育実習や学校現場等で活かしていきたい。

（初等教育教員養成課程美術選修 2年）

☆総合インターンシップ

〔2019年度法務省人間科学系インターンシップ（2020.2.25～2020.2.27）体験者の声〕

私は、法務省人間科学系インターンシップに参加し、東日本少年矯正医療・教育センターを参観させていただいた。

当センターについての説明を受けたり、少年院での矯正教育がどのように行われているのを見学したりした。実際に少年院の雰囲気や入所している少年と接したりすることで、私の少年院に対するイメージは大きく変わった。インターンシップを通して、教科書からは得る事が出来ない経験を行うことが出来た。

また、当センターには、障害や病気を抱える少年が入所している。本人の更正だけでなく、周囲の環境を整えることや福祉的支援が再犯・再非行防止には欠かせないと学んだ。私が大学で学んでいるソーシャルワークの視点は、司法分野でも活かしていくことが必要だと感じる事が出来た。

（教育支援課程 ソーシャルワークコース 3年）

◎ ボランティア

大学には、多くの小中学校や官公庁、NPO法人から、ボランティアの募集が来ています。大学や自宅の近隣小中学校で活動する教育支援ボランティアを行っている学生も多く、実際の教育現場を体験する貴重な機会となっています。



〔2019年度宮城教育大学連携「冬季丸森町学習支援ボランティア」(2020.2.17～2020.2.21) 体験者の声〕

宮城教育大学主催「夏季女川町学習支援ボランティア」に続いて、「冬季丸森町学習支援ボランティア」に参加した。丸森町は昨年10月の台風19号による大きな被害があった地域である。実際に現地を訪れてみると、街中の道路の舗装などは思いのほか改善されており、外見上は既に立ち直っているという印象を受けた。しかし、実際に学校に入り生徒と関わってみると、生徒が置かれている現状が精神に与える影響について考えさせられた。丸森町の子どものうち、未だおよそ三分の一の生徒がもとの家に戻って生活を送っていない。このような環境の変化から、一人で遊べるゲームやアニメに費やす時間が必然的に増えてしまうこと、そしてそれが語彙力低下や他者共感性が育まれにくくなってしまいうという大きな問題を内包しており、他者とのコミュニケーション減少が学力のマイナスに作用してしまうことが考えられる。災害後の学習支援が必要な理由、またその役割について、他大学（宮城、大阪、福岡）の学生とも議論する中で理解を深めることが出来た5日間であった。

（初等教育教員養成課程学校教育選修 2年）

東京学芸大学で学んだこと



谷川航

〔2001年度 A 類国語選修卒業 2019年度大学院教育学研究科(教職大学院) 教育実践専門職高度化専攻 教科領域指導プログラム(情報教育サブプログラム)修了/現在、東京都小平市立小平第三小学校〕



教員を目指すきっかけは高3時の担任の「小学校の先生なら向いているかもしれない」という一言です。その一言を信じ、好きだった国語を中心に免許を取得できる学芸大学を志望しました。部活の応援団に打ち込みすぎ一年浪人しましたが、なんとか学芸大学に入学できました。大学では、竹取物語を分析したこと、教育実習、サークルのフォークソング愛好会で仲間とたくさんギターを弾き、歌ったことが思い出です。卒業後は特別支援学校の病院訪問部に勤務し、白血病等の難病の子どもたちとベッドサイド学習を行いました。当時から情報通信機器活用に興味があり、小学校へ異動後は、学芸大学の加藤直樹先生と共に国語科の学習者用デジタル教科書の研究を行ってきました。研究

を進める中でデジタル教科書の活用法を深く研究したいという思いを抱くようになり、2019年度は都の派遣教員として学芸大学の教職大学院で過ごしました。応援団の経験は運動会の応援指導に、ギターは帰りの会の歌に、竹取物語の月の使者の話には子どもたちが目を輝かせ、情報通信機器の活用は今後の学校教育の柱に…と教員の魅力はこれまでの人生経験を余すことなく生かすことができる点にあります。特に学芸大学に2度入学して学んだ国語科の指導法や情報通信機器の活用は、将来の日本の子どもたちにも価値あることです。教育に責任感を持ち、学び続ける教員であることは私の毎日を鮮明に彩っています。東京学芸大学は私にとって学ぶことの喜びを教えてくれた大切な場所です。



宮代有紗

〔2017年度 B 類美術専攻卒業/現在、秦野市立本町中学校〕



ただ絵を続けたい。正直そんな単純な理由で大学を選びました。大学では広報に関わらせていただくなど貴重な経験をさせていただきましたが特に印象に残ったものが、デザインを通して学んだ「ものの考え方」です。それまでは思いつきで制作をしていましたが、授業を通してアイデアの深め方や考える過程を学んでいきました。またそれにより、様々なものごとの意図や背景をイメージできるようにもなったように思います。ただ在学中は残念ながら学びを生かす所までは至りませんでした。しかし教職に就き授業を作っていた際、課題に沿って必要な材料や技法を選び、試行錯誤しながらイメージを実現して

いく過程が「デザインの考え方と同じだ!」と気づき、大学での学びが現在の仕事まで一気に繋がったことを覚えています。その後も研修を通して「10年後も想像できない変化の激しい時代、デザイン的な考え方が身につけば、将来様々な課題解決に応用できるのでは」と考え、明確に大学で学んだことや、美術教育の意義が感じられるようになりました。今後も大学での学びを生かし、美術を通して考え方や考える癖が身につく授業づくりに取り組んでいきたいと思っています。そして将来生徒には、どんな進路に進んだとしても、進んだ先で自分で考え、課題解決していけるようになってほしいです。



田中亮

〔2006年度 C 類言語障害児教育専攻卒業、2019年度 大学院教育学研究科特別支援教育専攻修了/現在、長野県塩尻市立塩尻東小学校教諭 東京学芸大学非常勤講師 博士課程連合学校教育学研究科発達支援講座〕



「教師になりたい!」という夢と希望に満ちた同級生たちから刺激を受け、必死に勉強したことをよく覚えています。仲間や先生方の顔が互いに見え、みんなで高め合えることが学芸大の強みです。教科教育法、障害のある子の発達や教育など、たくさん学びました

教職12年目には一念発起し、現職のまま修士課程で学びました。かつてお世話になったC類の先生方は変わらず、迎えてくださいました。“先生方との絆”が卒業後も続くのは学芸大の大きな特色です。今では、小学校教師(OB)・博士課程(学生)・「学習障害指導法」非常勤講師(大学教員)として3つの面から学芸大とかかわっています。「ここが自分の母校になる!」と思いつつ、正門の桜並木を初めて歩いてから随分経ちましたが、いつでも、どんな立場になっても、学芸大は“母のように”

が、教育実習日誌は宝物になりました。今でも時々折読み返して、授業づくり・子ども理解の原点に戻るようにしています。学部卒業後は小学校教員としての生活をスタートしました。サークルや研究室の仲間とは、「聞いてよ…!」「こういう時どうしたらいいと思う?」など、よく近況報告や相談をし合います。同じ目標に向けて、ともに学んだ仲間との絆は何年経っても色褪せません。

あたたく受け入れてくれます。母校は、今でも私に「教師として学び続けることに誇りをもつように!」と教えてくれています。





増渕優花 [2011年度D類養護教育専攻卒業/現在、国分寺市立第五小学校養護教諭]



私は小学生の頃、保健室が大好きでした。そのため、高校で進路選択をするにあたり、迷わず保健室の先生、養護教諭になると決め、東京学芸大学を受験しました。入学すると養護教育専攻の同級生は、12名と少なく驚きましたが、少人数制で先生方が手厚く指導していただき、わからないことは仲間と助け合えるという、恵まれた環境でした。卒業後は海外の日本人学校や離島勤務等を経て、現在は地元の小学校で養護教諭として勤務しています。実際に働いてみると、子どもの頃に思い描いていた保健室の先生からは想像ができないほど多くの仕事があります。けがや病気の対応に加え、担任の先生と一緒に保健の授業も行っています。その他、教職員

向けのアレルギー研修会や学校保健委員会の開催、特別支援教育コーディネーターなど養護教諭の役割は多岐にわたり、毎日忙しいながらも、充実した日々を送っています。何より養護教諭は、子供たちの成長を近くで見守ることができ、子供たちや保護者の方、先生方からたくさんの「ありがとう」をもらうことができる素晴らしい仕事です。

困難に直面したときに、職場の同僚の先生方はもちろん、今でも相談できる東京学芸大学の仲間や先生方がいることが心の支えになっています。養護教諭を目指す方にはぜひお勧めしたい大学ナンバー1です。



山川愛希子 [2018年度E類教育支援専攻生涯学習コース文化遺産教育サブコース卒業/現在、埼玉県熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係(熊谷市立江南文化財センター)]



私は、小さいころから絵を描いたり、もの造りが好きで学芸員という職業に憧れがありました。高校生の時に、地元の寺院が再建以来初めての保存修理を終え、国宝に指定されました。そのよみがえった極彩色の彫刻群に圧倒され、文化財の修復に興味を持ち、文化財の専門的な知識を学びたいと思いました。

大学では、社会教育や博物館学から考古学、保存科学、文化財科学といった専門的な分野まで、幅広く、体系的な学びを得ることができました。特に博物館学の授業では、実際に収蔵品の取り扱いを学んだり学芸員さんの体験を聞いたり、文化財保存実務に直結する貴重な体験をさせていただきました。

就職先は、地元で文化財保護の仕事に携わりたいという思いから熊谷市役所を志望しました。入庁1年目は、市民課で主に窓口対応の仕事をしていましたが、念願が叶い、昨年度から市の文化財保護係として、熊谷市立江南文化財センターに勤務しています。行政の文化財保護の仕事は、埋蔵文化財をはじめ、建造物や彫刻などの有形文化財、無形文化財、天然記念物など非常に幅広い学びと体験が、役に立つのではないかと思います。身近な地域の文化財を守り、その魅力をより多くの方々に発信できるよう、日々勉強に励み、精進していきたいです。



江頭佑紀 [2018年度E類教育支援専攻生涯スポーツコース卒業/現在、大修館出版販売株式会社]



「より高いレベルで陸上競技に取り組みたい」、「日本の中枢である東京で、最先端の教育、スポーツを学びたい」この2つの思いを胸に、私は東京学芸大学へ入学しました。社会人になった今、学生生活を振り返ると、非常に充実した4年間だったと思います。

学芸大の最大の良さは、全国から集まった志の高い仲間と切磋琢磨できることにあると思います。日々の授業や部活動、ゼミでの活動の中で様々な考えを持つ仲間と学び、競い合い、意見を交わし合ったことは他の何にも代えることのできない、貴重な経験でした。

現在、私は教科書や学校で使用する教材を中心に発行してい

る出版社で、営業職として働いています。教科書や教材を先生方にご案内する中で、学芸大で学んだ保健体育や教育についての知識、教育実習での経験が大きく活かしていることを実感しています。

今、9月入学やオンライン授業のあり方などが議論され、日本の教育は過渡期を迎えています。教育がどのように変わろうと、現場のニーズを読み取り、それに合った教材を提供していくことが、私の役割だと考えています。学芸大で学んだことを活かし、日本の未来を担う子どもたちの学びがより良いものになるよう、微力ながら尽力する所存です。



学生生活支援

東京学芸大学では、指導教員制をとっており、学生に対するきめ細やかな指導・相談をしています。また、学生が、安心して勉学に励み、充実した生活を送ることができるような支援をしています。

■ 経済支援

◎ 奨学金

本学の学生は、日本学生支援機構などの外部奨学金に申請することができます。日本学生支援機構の奨学金には、原則返還不要の給付型奨学金と卒業後に返還が必要な貸与型奨学金があります。

奨学金

042-329-7187

学務部学生課学生支援係

◎ 入学料・授業料免除

日本学生支援機構の給付奨学生に採用されると、採用の区分に応じた入学料・授業料の免除が受けられます。1年次春学期分の申請は、入学手続き時にしなければなりません。秋学期以降は各学期ごとに申請を受け付けます。詳しくは本学ホームページ「学生生活について」>「入学料・授業料の免除・徴収猶予制度」をご覧ください。

入学料・授業料免除

042-329-7186

学務部学生課学生生活係

■ 住居支援

◎ 学生寮

本学には3つの学生寮があります。学生寮の申込は入学式前になければなりませんのでご注意ください。

学生寮について

042-329-7188

学務部学生課課外教育係



東久留米国際学生宿舎

◎ 住居に関する相談

東京学芸大学生生活協同組合（生協）では、アパート等を紹介しています。詳しくはウェブサイト（「学芸大生協」で検索）をご覧ください。

《お問い合わせ》

東京学芸大学生生活協同組合本部
(042-324-6225)

<学生寮の概要>

寮名	小平寮	大泉寮
所在地	小平市鈴木町 1-102	練馬区東大泉 5-22-1
性別	女子	男子
入寮定員	160名	130名
寄宿料	月額 4,300円	月額 4,300円
居室様式	鉄筋5階建 個室(約6畳)	鉄筋4階建 個室(約6畳)
通学方法・所要時間	バス 15分 自転車 10分	バス又は電車 70分 自転車 50分

※原則として学部学生対象（日本人学生）です。入寮期間は4年以内（最短修業年限終了の日まで）です。

<国際学生宿舎の概要>

宿舎名	所在地	性別	入寮定員	寄宿料	居室様式	通学方法・所要時間
東久留米国際学生宿舎	東久留米市氷川台 1-22-2	男子 女子	38名 72名	月額 4,700円	鉄筋3階建 個室(約7畳)	バス又は電車 60分 自転車 50分

※国際学生宿舎は、外国人留学生と日本人学生の混住方式の宿舎です。勉学環境と国際理解の場を提供することを目的に設置されています。入寮期間は4年以内（最短修業年限終了の日まで）です。

■ 学生生活支援

学生生活で困ったことが起きたときの相談窓口も複数あります。

◎ 保健管理センター

誰でも気軽に利用できる健康支援の機関です。

医師、看護師、カウンセラーがおり、一般診療や応急処置、健康相談のほか、精神的・心理的な悩みの相談に対応しています。

◎ 学生相談室

「大学になじめない」「友達や家族とうまくいかない」「やる気がでない」など、学生生活上のさまざまな問題に対して、専門スタッフが親身になって相談に応じています。

◎ 学生後援会

学生生活がより豊かになるように、いろいろな活動に対する経済的支援を行っています。課外活動、就職活動、留学等は学生後援会の支援によって、より参加しやすいものになっています。入学の際等にいただく会費が財源です。

◎ 生協（生活協同組合）

学生生活全般に対して、様々な支援をしています。書籍購買部では、教科書やパソコンなどの学習用品の販売や教習所の受付、毎日利用する食品の販売などを行っています。食堂では定食・丼・麺類など様々なメニューを提供しています。

◎ ノートカフェ

図書館の1階にあるおしゃれなカフェです。大学と地域の人が交流するためのノートが置いてあり、壁に巨大な地域の地図もかかっています。パンがとてもおいしく、学生がよくくつろいでいます。

◎ キャンパスライフ委員会

本学のすべての学生には安全で快適なキャンパスライフを送る権利が保障されています。万が一セクハラなどのハラスメントの被害にあった場合には、キャンパスライフ相談員が対応します。



■ 障がい学生支援

◎ 障がい学生支援室

本学では、障がいのある学生が安心して学生生活を送れるように、障がい学生支援に全学で取り組んでいます。障がい学生支援室では、修学や学生生活における配慮や支援の必要性がある学生の相談を受け、一人ひとりの状況に合った合理的配慮や支援の方法について、教職員による「個別支援チーム」を設けて検討しています。また、学内のバリアフリー化やアクセシビリティの向上等の基礎的環境整備も進めています。支援室には専門スタッフがおり、障がい学生に対する合理的配慮や支援の

コーディネート、学内外の関係機関との連携、学生サポーターの登録・派遣・研修、支援用機器機材の準備を担当しています。

● 相談したい

聴覚障がい、視覚障がい、肢体不自由、病弱・虚弱（内部疾患）、発達障がい、精神障がいを主な対象としています。情報保障（パソコンテイク、手話通訳、対面朗読など）、移動支援、そのほか相談に応じて様々な支援方をおこなっております。学生本人だけでなく、保護者や友人、教職員からの相談もお受けしています。

● 支援したい（学生サポーター）

情報保障や移動支援などの支援活動は、学生サポーターが担っています。学生サポーターは、随時募集しておりますので関心のある方は障がい学生支援室までご連絡ください。学生サポーターの活動としては、支援方法に関わる情報共有、特別支援教育に関する研修やワークショップなどへの参加（任意）などもあり、互いに学び合う機会を得ることも可能です。

障がい学生支援室
西2号館1階

● 電話・ファックス
042-329-7905（直通）
● メール
gsupport@u-gakugei.ac.jp



学芸大の 自主ゼミ

自主ゼミは、学生たちが自主的に集まって授業外で学習するゼミナール活動です。学生たちは、自分の専攻している学問を深めたり、他学科の興味のある分野を学んだりしています。多くの自主ゼミが存在しますが、その中から2つ紹介します。



ゼミ名 東京学芸大学ITC

■ ITC (Intensive Training Course of English) では英語だけで様々な活動を楽しみ、英語漬けになることができます。40年近い歴史を持つITCは現在年間4回行われ、本学の学生に加え他大学の学生や社会人など多くの方が参加しています。その企画・運営の全てを担うのが本ゼミのTAと呼ばれる学生で、参加者の方により

楽しく、教育的に有意義な時間を提供すべく日々学習や準備に励んでいます。英語科教育学分野の高山芳樹先生がサポートくださっています。

■ゼミ参加学生からのコメント

TA間で議論を交わしゼロから活動を作る過程や、参加者の方と一緒に活動する時間を通して、楽しみながら授業づくりや指導のスキルを伸ばしている実感があります。また昨年度より高校生向けITCを大学内で行うなど活動の幅を広げられているのも嬉しいです。



ゼミ名 公共人類学

■ 公共人類学とは、社会・文化を捉えるための多様な論理を引き受けつつ、現実世界への具体的な働きかけを行いながら、知と実践の循環を生み出していく学問です。本ゼミでは、教育、開発、アートなど様々な分野でフィールドワークを重ね、現場の方々と活動を共にしな

がら思索を深めていきます。常識にとらわれない、豊かな発想を育むための思考力を鍛え、外に飛び出し、他者との出会いから様々な化学反応を生み出していきます。

■ゼミ参加学生からのコメント

このゼミは本当に色々な関心を持つ学生が分野を超えて集まってきます。しっかり議論したい。面白いことをしたい。未知の世界に飛び込みたい。価値観をぶち壊したい。教育について深く考え、学びたい。自分と向き合い、全力で「学問」を楽しむことができます。



サークル 図鑑

東京学芸大学には教員養成大学ならではの
教育系サークルもたくさん!

令和3年6月現在

やったことないこと、やってみたかったこと、
一緒にはじめてみませんか?

音楽・演劇・映像

アカペラサークル Infini
ウインドアンサンブル
音楽友之会
軽音楽部 JAZZ 研
東京学芸大学管弦楽団
東京学芸大学クラシックギタークラブ
東京学芸大学混声合唱団
フォークソング愛好会
邦楽サークル 白菊会
モダンフォークソングクラブ



モダンフォークソングクラブ



東京学芸大学
混声合唱団

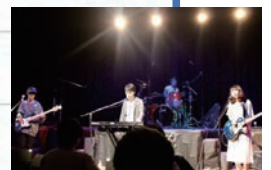


アカペラサークル Infini

東京学芸大学和太鼓サークル結
映画研究会
演鑑演劇部
演劇研究部 劇団漠
the@ter メトロ
劇団なきがお
放送研究会
創作視聴覚文化研究部
デジタル創作系サークル SSET



東京学芸大学
和太鼓サークル結

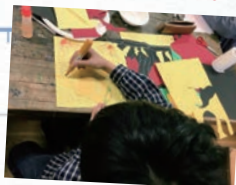


音楽友之会

教育

造形教室たけとんぼ
北多摩東 BBS 会
国分寺子どもクラブ
子ども学習支援サークル 小金井てらこや
サークルちえのわ
理科教育系サークル Aggressive!!
Pages
STEAMer

造形教室たけとんぼ



サークルちえのわ

学童サークル cococolors
Education club PoPo
教育を考える会@ 3ch
障害児と楽しく遊ぶ会 おこりんぼ
小学校ボランティアサークル Let's
地域子ども会活動サークル むぎのこ

武道・パフォーマンス

ラテンアメリカ研究会
 東京学芸大学ジャグリングサークル CHELSEA
 東京学芸大学お笑いサークル GOC
 柔道部
 剣道部
 東京学芸大学空手道部 空心会

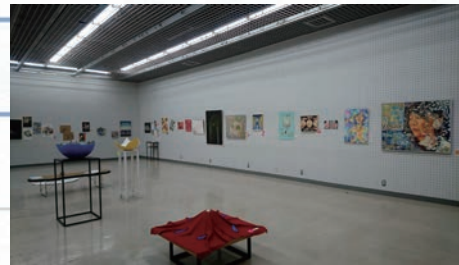
弓道部
 少林寺拳法部
 ストリートダンスサークル @fterbeer
 ダンス部
 チアリーダー部 Hydrangea



東京学芸大学お笑いサークル GOC

美術・食・文化・趣味・その他

絵本創作サークルきつねのしっぽ	東洋学術研究部
写真研究部	民俗学研究会
美術研究部	スイーツ同好会
漫画研究部	総合文藝サークル「拙作」
書道サークル 審美会	TGU ポケモンサークル
星空サークル シリウス	盤上遊戯研究会 (東京学芸大学麻雀部)
学芸CCC (キャンパス・クルセード・フォー・クライスト)	お散歩サークル みつあみ
総合史学研究会	東京学芸大学キリスト者学生会
小金井祭実行委員会	TRPG サークル卓上劇団ひゅぷのしず
生協学生委員会	東京学芸大学謎解きサークル Rätsel
生協留学生委員会	プロ野球ファンサークル
生協読書マラソン委員会	茶道部
東京学芸大将棋の会	TFT@gakugei
鉄道研究部	東京学芸大学かるた会



美術研究部

東京学芸大学アマチュア無線クラブ
 新奇表現文化
 ユーレイサークル
 学芸大クイズ同好会 NIWAKA
 カフェ巡りサークルさくらんぼ
 東京学芸大学新聞編集部
 学芸大入試研究会

アカペラサークル Infini



こんにちは！アカペラサークル、Infini (アンフィニ)です。アカペラと聞くと、「凄そう！！」「難しそう！！」というイメージがあるかもしれませんが、音楽が好きな学生が集まっている楽しいサークルです。アカペラは敷居が高そう...と思わず、一度サークルに遊びに来てみてください。一緒に音楽を、歌を、楽しみましょう。部員一同、心よりお待ちしております！

テニス・ホッケー
体操・水泳・レジャー
卓球・ラグビー



なかよしテニス愛好会



スキューバダイビングサークル
NEPTUNE

硬式テニスサークル elf
硬式テニスサークル「Double Fault」
T-CRUISE
なかよしテニス愛好会
Wonderland
ソフトテニスサークル なんてね
留学生硬式テニス同好会

男子硬式庭球部
女子硬式庭球部
ソフトテニス部
アイスホッケー部
体操競技部
器械運動クラブ
男子水泳部
女子水泳部

男子一般運動サークル (G.S.C.)
女子一般運動サークル (G.S.C.)
レクリエーションスポーツクラブ
東京学芸大学アルティメットフリスビーサークル BIG APPLE
ワンダーフォーゲル部
スキューバダイビングサークル NEPTUNE
熱気球倶楽部ホ〜ホケキョ
卓球部
ラグビーフットボール部

サッカー・ラクロス・陸上
ハンド・バスケ・バレー・バド
アメフト・野球



女子バスケットボール部

東京学芸大学蹴球部
女子サッカー部 DUMBO
F.C.LEO
FC.ALEX
FC.Beginners
東京学芸大学フットサル部
朝だけフットサークル Corazon (コラソン)
男子ラクロス部
女子ラクロス部



陸上競技部 (男子)
陸上競技部 (女子)
陸上同好会
男子ハンドボール部
東京学芸大学女子ハンドボール部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
REGULUS
S.B.C
男子バレーボール部
女子バレーボール部
バレーボールサークル BRAVO!

バドミントン部
バドミントンサークル LIBERTE
B.C.Wings
アメリカンフットボール部 SNAILS
男子ソフトボール部
女子ソフトボール部
東京学芸大学硬式野球部
軟式野球部
軟式野球サークル アンダーナツ
軟式野球サークル Vinvins
草野球サークル EGG



女子ラクロス部

こんにちは！女子ラクロス部です！みなさんは、本気で『日本一』を目指したことはありますか？私達は日本一を目指して日々活動しています。そんなラクロス部には一人一人が成長できる環境、そして何より輝く部員の姿があります。私達と一緒に最高の4年間を過ごしましょう！



西門

北門



▲晴れた日にはベンチでまったり読書したり、お弁当を食べたり。学生の癒しスポットです。

教材植物園 (農園)

北門テニスコート

名物 学芸大丼!



温室

サークル棟

第2おさしのホール

のじか学大には?



あはは

学生ラウンジ

〜棟

学芸カフェテリア

役立つ情報が満載! 楽しい講座も開かれています。キャリア支援や学修支援、就職支援の場です。

C棟

S棟



生協

第1おさしのホール



体育館

保健管理センター
ケガをしないように行こう!

万葉池

名前の由来は「万葉集」に登場する植物がいること! カモやアマミヤクシなどの動物も。

卒業生の長野パラリンピック金メダリストの松江美寿さんが植樹した桜です。

学務部 (学務課、学生課、国際課)

U棟

U110

けやき広場

2014年に改修され、ウッドデッキができました。彫刻作品も展示されている。みんなの憩いの場。

note cafe

附属図書館

2015年5月にリニューアル! 学内初の本格カフェ「note cafe」もオープン。

本部棟

入試課や広報室があります。

美術科の金工室前の広場は、菜の花がとってもきれい!



音楽科のすてきな演奏がきこえる芸術スポーツ1号館

芸術館

弓道場

ポストあそび



.. ネコ出没スポット



.. ツヌキ出没スポット



.. 気になる人と行ってみよう!

正門



学芸いいとこMAP

「学芸いいとこMAP」は学内広報誌「TGU」からの抜粋記事に修正を加えたものです。

総合グラウンド

陸上競技連盟第四種競技場として公認されました!

野球場

神宮球場と同じ様の人工芝グラウンドにリニューアル! 北海道日本ハムファイターズの栗山監督の碑もあります。

まっしー



コミュニティセンター

学生が利用できるラウンジがあります。



ローソン

学生証を提示すると5%OFF!



けやきの碑

秋にはきれいなイチョウ並木が。

プレイパーク

地域の子どもにちか遊んでいます。

プレイパーク隣の工手はかくれる花見スポット

グラウンド門

こどもモードハウス/学芸の森保育園 NPO学芸大こども未来研究所の活動拠点。隣接する保育園には芸術科の先生が制作されたフクロウの彫刻がみられます。

プール

若草研究室

薪ストーブがあります。

EXPLAYGROUND1号館

誰もが気軽にものづくりができる場所です。

附属幼稚園小金井園舎

マンホールにはかわいい地上絵が

舞踏場

柔道場

剣道場

新緑も紅葉もきれいなケヤキ並木

教職大学院棟

東門

附属小金井中学校

附属小金井小学校

学芸大生の多くが実習でお世話になります。よろしくおねがいします!

みんなもMAPを見ながら、学芸大学をおさんぽしてね☆

行くぞ!

学芸大学にはシャッターポイントがたくもん!

いってきまーす!

国際交流会館



▲桜並木がきれいな通り! 毎年たくさんの花を咲かせます。





学芸大の学食



学芸大には、学内に2つの学食（学生食堂）があります。昼休みは多くの学生で賑わっています。その他の時間は学生がのんびりのくつろげる場所となっています。



第1食堂（通称：大生）



第2食堂（通称コパン）

人気&おすすめメニュー

学芸大生人気No.1!



「学芸大丼」
473円（税込）

栄養とバランス重視!



「定食セット」
572円（税込）
※小鉢の組み合わせは自由!

麺類人気No.1!

「汁なし担々麺」
462円（税込）



カレーコーナーおすすめ

「ハッシュドビーフ
オムライス」
484円（税込）



※上記の他、多数メニューを取りそろえています。

※新型コロナウイルス感染防止のため、消毒やパネル設置などの対策を実施しています。学芸大の学食は「東京学芸大学生生活協同組合」が運営しています。

note cafe

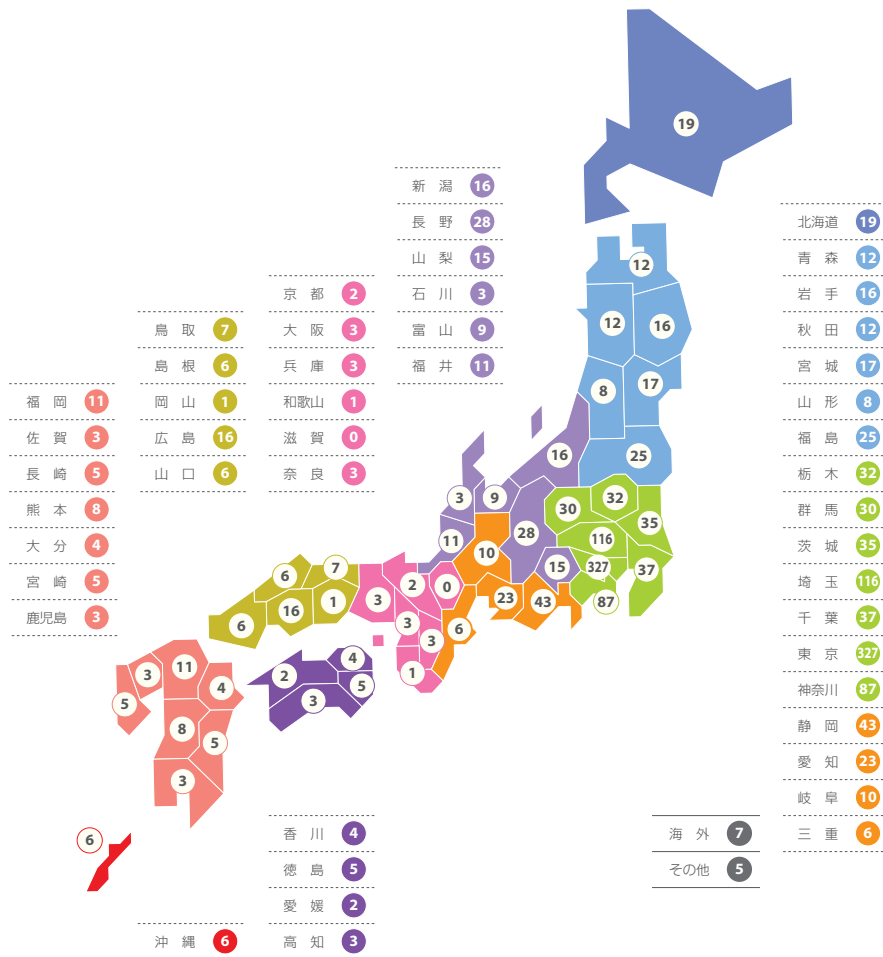
附属図書館1階のおしゃれなカフェです。大学と地域の人が交流するためのノートが置いてあり、壁に巨大な地域の地図もかかっています。焼きたてのパンとコーヒーが好評で、学生、教職員に人気のスポットです!





Gakugei

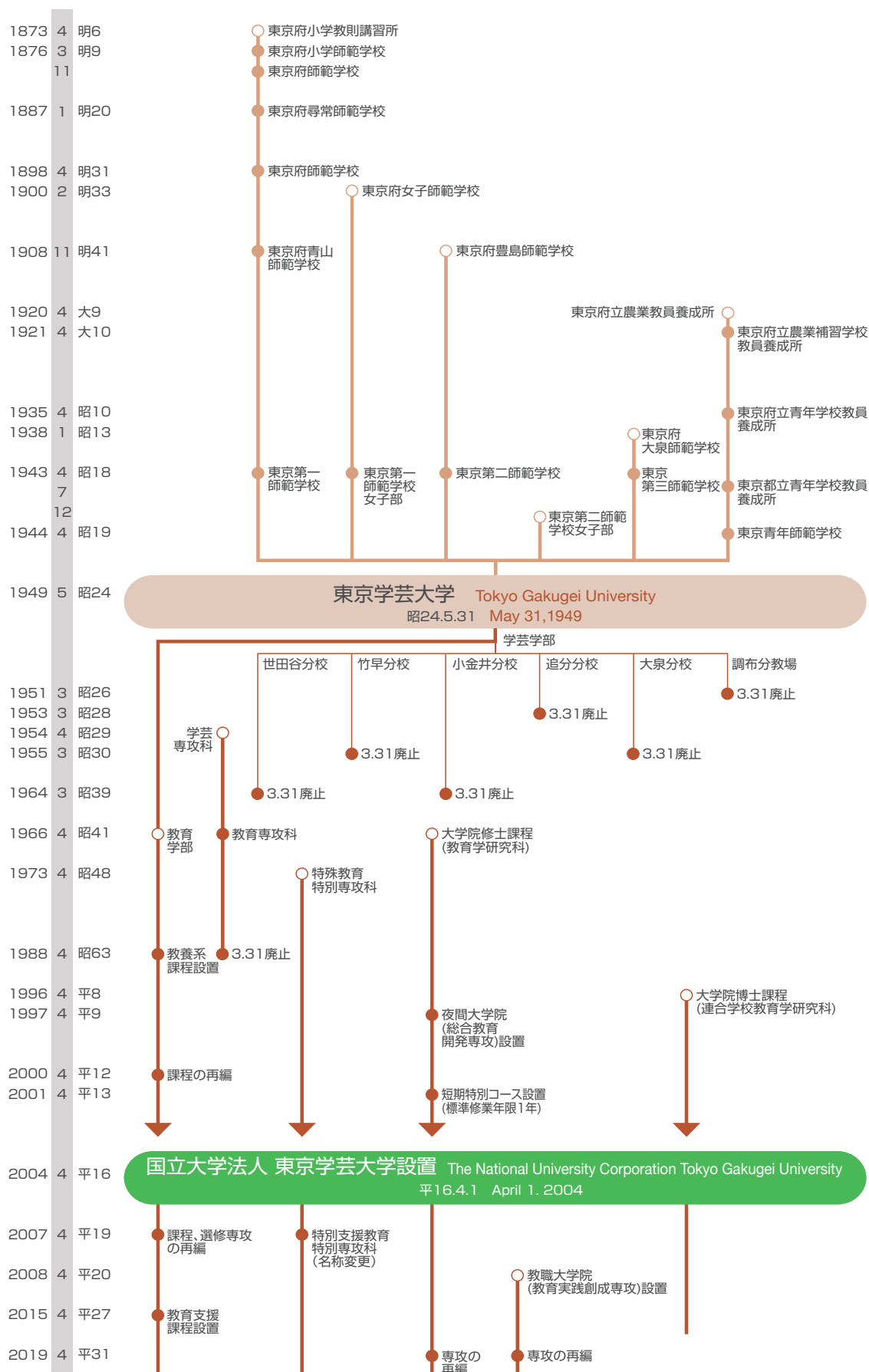
東京学芸大学概要



学芸大学には、全国から学生が集まってきます。
(2021年度入学生出身高校所在都道府県)

沿革表

History



☀️ 附属学校（園）

教育実習及び教育研究の場として、次の附属学校（園）が設置され、約5500人の幼児・児童・生徒が学んでいます。

これら児童等に普通教育を施すとともに、各学校園はそれぞれテーマを設定し、大学と連携して指導理論を踏まえた実証的・実践的研究に取り組んでいます。

また、年間約1400人の学生を受け入れ、教育実習を行っています。

● 小金井地区



● 世田谷地区



● 竹早地区



● 大泉地区



● 東久留米地区



学位授与数・学位論文数、専門学術論文数、 教員免許取得状況、諸資格取得者数

Number of Degrees Conferred / Number of Dissertations / Teacher's Licenses Obtained / Qualifications Obtained

学位授与数

Number of Degrees Conferred

(令和元年度修了生)
(Academic year 2019 graduates)

学位 Degree	専攻分野の名称等 Area of Specialization	大学院（修士課程） Graduate School of Education (master's course)	教職大学院（専門職学位課程） Graduate School of Teacher Education (professional degree program)	連合学校教育学研究所（博士課程） United Graduate School of Education (doctoral course)
修士 Master	教育学 Education	266		
	学術 Arts / Philosophy / Science	5		
	専門職 Education in Teaching		58	
博士 Doctor	教育学 Philosophy in Education			15
	学術 Philosophy			1

学位論文数又は特定の課題についての研究の成果（課題研究の成果）数

Number of Dissertations / Research Reports

	大学院（修士課程） Graduate School of Education (master's course)	教職大学院（専門職学位課程） Graduate School of Teacher Education (professional degree program)	連合学校教育学研究所（博士課程） United Graduate School of Education (doctoral course)
学位論文 Dissertation	271		16
課題研究の成果 Research Report	0		
専門学術論文 Academic papers		4	

(令和元年度修了生（論文博士を含めず。）)
(Academic year 2019 graduates (not including graduates of "dissertation only" doctoral programs))

教員免許状取得状況（学部）

Teacher's Licenses Obtained (Undergraduate)

(令和元年度卒業生)
(Academic year 2019 graduates)

選修・専攻 Program	卒業生数 Number of graduates	免許取得者数 Graduates who acquired license	免許種 License type							一人当たり免許状取得数 Distribution based on number of licenses per graduate				
			小学校 Elementary school	中学校 Lower secondary school	高校 Upper secondary school	幼稚園 Kindergarten	特別支援 School for special needs education	養護 School health care and education	計 Total	1枚 1	2枚 2	3枚 3	4枚 4	5枚以上 5
A類	569	541	539	393	446	124	8	-	1,510	97	64	251	114	15
B類	242	229	38	236	286	3	0	-	563	0	146	64	17	2
C類	41	37	37	19	17	23	37	-	133	0	6	13	8	10
D類	12	12	0	9	9	0	0	12	30	3	0	9	0	0
学校教育系・教育系・計 Teacher Preparation Course, total	864	819	614	657	758	150	45	12	2,236	100	216	337	139	27
E類	180	59	-	39	59	-	-	-	98	23	34	2	0	0
N類	2	0	-	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0
K類	2	0	-	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0
F類	0	0	-	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0
J類	1	0	-	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0
G類	3	1	-	0	1	-	-	-	1	1	0	0	0	0
教育支援系・教養系・計 Liberal Arts Course, total	188	60	-	39	60	-	-	-	99	24	34	2	0	0
総計 Total	1,052	879	614	696	818	150	45	12	2,335	124	250	339	139	27

教員免許状取得状況（大学院）

Teacher's Licenses Obtained (Graduate School)

(令和元年度修了生)
(Academic year 2019 graduates)

課程 Courses	修了生数 Number of Graduates	専修免許状取得者数 Graduates who acquired Specialized Certificate
修士課程 Master's Course	271	159
教職大学院 Professional Degree Program	58	53

諸資格取得者数

Qualifications Obtained

	令和元年度の内訳 Academic year 2019		令和元年度 Academic year 2019 total
	学校教育系・教育系・計 Teacher Preparation Course, total	教育支援系・教養系 Liberal Arts Course, total	
司書教諭 Librarian teacher	148	2	150
司書 Librarian	7	22	29
社会教育主事 Social education director	5	29	34
学芸員 Curator	12	23	35
社会福祉士（受験資格） Certified social worker (eligible for taking certification exam)	0	19	19
スクールソーシャルワーカー School social worker	0	6	6
保育士（幼児教育選修のみ） Nursery teacher (Early Childhood Education major only)	19		19

教員免許状取得状況（特別専攻科）

Teacher's Licenses Obtained (Postgraduate Course in Special Needs Education)

(令和元年度修了生)
(Academic year 2019 graduates)

専攻名 Major	修了生数 Number of Graduates	一種免許状取得者数 Graduates who acquired licence	専修免許状取得者数 Graduates who acquired Specialized Certificate
特別支援教育 Special Needs Education	21	16	2

免許取得者数等は一括申請分

Note: Figures for "Graduates who acquired license" and other figures are based on the collective applications made by the university.

学生募集要項等の請求方法

株式会社フロムページが運営するテレメールによるお届けとなります。

1 本学のウェブサイトを経由して請求する場合

- ① 本学のホームページにアクセスしてください。
<https://www.u-gakugei.ac.jp>
- ② 「入試について」>「入試情報」>「学部入試情報サイト」
- ③ 「大学案内及び学生募集要項等の資料請求について」のページからテレメールwebサイトに移動し、請求してください。

2 テレメール(インターネットまたは自動音声応答電話)で請求する場合

- ① インターネット

<https://telemail.jp>



- ・自動音声応答電話(※)

050-8601-0101 (24時間受け付け)

※ IP 電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

- ② 資料請求番号(6桁)を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(含送料)(※)
入学者選抜要項	582020	215円
一般選抜学生募集要項	582000	215円★
学校推薦型選抜・スーパーアスリート推薦選抜学生募集要項	582010	215円★
帰国生・私費外国人留学生選抜学生募集要項	562030	250円

※料金(含送料)は予定額であり、変更となることがあります。

- ③ ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。
- 資料は発送日からおおむね3~5日でお届けできます。受付時間や地域配達事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります。(発送開始日までの請求は予約受付となります。)
- 料金の後ろに★印のある資料については、追加料金200円で「1~2日後に届く発送サービス」をご利用になれます(予約受付期間中および自動音声応答電話による請求を除く)。本サービスをご利用の場合は、発送日のおおむね1~2日後にお届けできます。ただし、お届け先地域や郵便事情によっては3日以上かかる場合があります。
- ご利用になられたパスワード(数字4桁)は、必ず控えておいてください。
- 料金は、資料に同封されている料金支払い用紙の支払い方法に従いお支払いください。
- 一般選抜募集要項は、自動音声応答電話による請求を除き、通常受付終了後も引き続きテレメール速達対応(レターパックプラスによる発送で、ポスト投函ではなく手渡し)で請求受付を行います。

速達対応の料金は、上記②に記載の料金とは異なります。

料金は「一般選抜募集要項：600円」

「一般選抜募集要項、大学案内：650円」

となります。

【通常受付期限】2022年1月27日(木)正午まで

【速達対応受付期限】2022年1月30日(日)正午まで

資料請求方法についてのお問合せ先：

テレメールカスタマーセンター

IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)



授業料

※在学中に授業料の改定が行われた場合には改定時より新授業料が適用されます。

2021年度	学部生	大学院生	特別専攻科生	研究生	科目等履修生
授業料	年間 535,800円 (春学期 267,900円) (秋学期 267,900円)	年間 535,800円 (春学期 267,900円) (秋学期 267,900円)	年間 273,900円 (春学期 136,950円) (秋学期 136,950円)	年間 356,400円 (月額 29,700円)	1単位 14,800円
入学料	282,000円	282,000円	58,400円	84,600円	28,200円
検定料	17,000円	30,000円	16,500円	9,800円	9,800円

ノート型パソコンの必携について

●東京学芸大学ではノート型パソコンの必携をお願いしています。



本学ではノート型パソコンを活用した授業があり、各学生は、ノート型パソコンを持参することになっています。また、学生は、シラバス参照、履修登録、成績通知、教育実習の手続、キャリア支援に関する事項等、様々な手続においてパソコンを使用する必要があります。これらを踏まえ本学では、学生がノート型パソコンを必携することになっています。

経済的なご負担は小さくないかもしれませんが、すべての学生は、入学後はノート型パソコンを必ず所有して、大学に持参するという、本学の方針をご理解くださるようお願いいたします。

問い合わせ

●電話での問い合わせは、平日の9:00から17:00まで(12:00から13:00を除く)

東京学芸大学の住所 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

学務部
入試課

入学試験・入学手続き・受験に際して
配慮を必要とする志願者の事前相談

042-329-7204

入学料・授業料免除

042-329-7186

学務部学生課学生生活係

奨学金制度

042-329-7187

学務部学生課学生支援係

障がい学生支援室

西2号館1階

●TEL・FAX

042-329-7905
(直通)

●MAIL

gsupport@u-gakugei.ac.jp

学生寮について

042-329-7185

学務部学生課課外教育係

ノート型パソコンの必携

042-329-7194

学務部学務課教務第一係

www.u-gakugei.ac.jp

東京学芸 🔍 検索



twitter

@TokyoGakugei

東京学芸大学 大学案内2022

2021年7月5日発行

【編集】広報戦略推進本部、総務課広報室、教育インキュベーションセンター

【デザイン監修】教育インキュベーションセンター

【表紙イラスト】正木賢一 准教授

【編集協力スタッフ】朝妻菜、竹花春香、虫谷涼香

【印刷】サンプロセス

※本大学案内の著作権は東京学芸大学にあります。※内容の無断複写・転載は著作権法で禁じられています。2021©TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY



SIAA マークは ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University